

地方史情報 136

2018年7月

地域文化財の保存・活用とコミュニティ 森屋 雅幸

本書では、地域主義にもとづく文化財保存と活用の実態について、文献調査と事例研究を主体に、2段階に分けて研究を行う。

まず、地域主義にもとづく文化財保存と活用の実態を示すと考えられる事例を抽出する。事例の抽出にあたっては、地域住民が接点をもちやすい性質である文化財であり、すでに活用事例が確認でき、事例間の比較を行うため、同様の歴史的背景や類似した文化圏に成立した文化財を選定する。

本書では、こうした条件から山梨県で明治初期に成立した擬洋風建築を選定する。山梨県内の擬洋風建築は、県令藤村紫朗が奨励したことから藤村式建築と呼ばれる。この建物は学校建築であったものが、県内5か所に現存し、いずれも指定文化財である。選定した文化財について、自治体史等を中心に、文化財の成立と保存・活用について文献調査を行い、文献が散逸などして存在しない場合は関係者に聞き取り調査を実施する。また、この調査の結果を比較し、文化財保存と現在の活用における行為主体を明らかにした上で地域住民の関与を検証する。そして、文化財の成立と保存・活用に対し、地域住民の関与が確認できる文化財を地域主義にもとづく文化財保存と活用の実態を示す事例とする。

次に抽出した事例について、地域主義にもとづく文化財保存と活用の実態を明らかにするため、ここでは文化財活用事例として、文化財を拠点とするコミュニティの活動に焦点をあてる。具体的には、(1)文化財を拠点としたコミュニティ活動と地域づくりとの結びつき、(2)地域住民の文化財と文化財の保存・活用に対する意識、の2点を明らかにすることを目的に、各コミュニティの文化財保存と活用の関与と活動内容、地域住民の文化財の保存と活用への意識、各コミュニティにおけるキーパーソンの地域への想いについて調査・分析を行う。文化財を核としたコミュニティの活動内容やキーパーソンの地域への想いについては、コミュニティの刊行物および日誌や関係者の日記を用いて明らかにする。文化財保存・活用に対する地域住民の意識については、文化財の保存を求めた陳情書・要望書を用い、これらが存在しない場合は、アンケート調査と聞き取り調査を実施する。

(『地域文化財の保存・活用とコミュニティ』2018.2、小社刊、「序章」より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究

アイヌ語地名研究会（発売：北海道出版企画センター）

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目
1-1 コーポ望 TEL011-299-6834
年5000円 1998年創刊

◇20 2017.12 B5 158p 2000円
《20周年記念号》

| | |
|-------------------|-------|
| 豊頃町のアイヌ語地名 | 秋山 秀敏 |
| アイヌ語 yu の継受と変容 | 明石 一紀 |
| 旅来(たびこらい)はタブコプライ | |
| ベツ | 早田 国光 |
| タブコプ地名を考える | 渡辺隆・他 |
| 松浦丁巳日記にでてくる「タツコプ」 | 高橋 慎 |
| 地名解試行錯誤(2) | 伊藤せいち |
| 縄文時代の言葉探しの旅 | 杉山 武 |
| アイヌ語と英語 | |
| 一逮い言語間の比較 | 鳴海日出志 |
| アイヌコタンの集団移住 | 渡辺 隆 |



談話室 未調査のタブコプ地名
常呂川筋仁頃のタブコプ／網走
川筋上流のタツコプ(津別町最上)について／『津別町史』1954
の「タツコプチャシロ」 伊藤せいち

アイヌ語地名研究会20年の歩み
『アイヌ語地名研究』(研究論文)
バックナンバー
『アイヌ語地名研究会会報』
バックナンバー

*1997年10月に、「アイヌ語地名とそれに関わるアイヌ文化の研究と調査を通じて、地域における文化の向上に寄与することを目的」に設立されたアイヌ語地名研究会が20周年を迎えた。当初22名の会員が、2017年末で103名に達している。何よりのことだ。

会は、機関誌『アイヌ語地名研究』(年刊)と『アイヌ語地名研究会会報』(既刊68号)の刊行、毎年度の「アイヌ語地名研究大会(講演及び研究発表)」開催のほか、「アイヌ語地名現地探訪(巡検)」、「アイヌ語地名サロン(座談会)」、「アイヌ文化を読む会」、「古文書を読む会」、「アイヌ語勉強会」、「札幌のアイヌ語地名を考える会」の部会をもち、活発な活動を続けている。会員による著作も、秋葉實解説『蝦夷日誌 3編』、佐藤淳子『松浦武二郎佐渡日誌』、榎原正文『データベースアイヌ語研究 6巻』、伊藤せいち『アイヌ語地名 3巻』、高木崇世芝『近世日本の北方図研究』、尾崎功『東西蝦夷山川地理取調図を読む』など50冊にも及んでいる。

2017年の創立20周年記念研究大会のテーマは「タブコプ地名を考える」で、「タブコプ

tapkop」の解釈は従来、「①離れてぼつんと立っている丸山、孤山、孤峰、②尾根の先にたんこぶのように高まっているところ」(知里真志保『地名アイヌ語小辞典』)であったが、「平地を含む川の湾曲部の内側の小高い土地」との説が出されて大いに討論が弾んだという。道外の郷土史家からの反響もあり、「討論は結論を急がず」(伊藤せいち、渡辺隆「ATOG AKI」)、実証的に進めていこうとする会のオープンな姿勢が研究を活性化しているように思われる。

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目
1-1 コーポ望 TEL011-299-6834 年5000円

◇66 2018.2 B5 12p
糠部という地名について 杉山 武
「こぶ・タツ説」の中にある「無理」を考える 中野 良宣
◇67 2018.3 B5 8p
多古の地名考 柳川 明夫
試論、栗山と手稲の地名に関する神話的解釈—そこは悪神が跋扈する地獄 中野 良宣

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-271-4220
hokkaido-bunkazai.jp

◇364 2017.11 A4 8p
手作りの月見団子 伝承活動
北海道開拓の村 平井 郁
道天然記念物指定答申
ホベツア拉里キユウ
旅の余録 高岡市伏木「古國府」
との出会い 舟山 廣治
北海道の開拓と土族移住
北海道150年講演会 手稲郷土史研究会

自動車販売66年 札幌トヨペット
のあゆみ 札幌トヨペット
お雇い外国人指導
北海道リングスタート 富士田金輔
子ども文化財愛護活動推進事業
北海道の名付け親「松浦武二郎」
の授業 田山 修三
子ども文化財愛護活動推進事業
くっちゃんワンダーキッズ 矢吹 俊男
稚内市における歴史的建造物の保存
稚内市の取組 旧瀬戸邸一
般公開 斉藤 譲一

◇365 2018.1 A4 8p
表紙 平沢屏山(1822?~1876)
「アイヌ熊狩の図」(函館博物館所蔵) 門崎 允昭
第53回 北海道文化財保護功労
受賞契機に飛躍を期待 先祖の
偉業に感謝 新琴似屯田兵中隊本部
保存会会長 野間十三男
江戸時代から続くお祭り
姥神大神宮祭典協賛実行委員会
会長 打越東亜夫
増毛山道の再生を終えて
増毛郡掬間道の会会長 渡辺千秋
子ども達へ継承

紋別沖揚音頭保存会会長 阿部滋
幕末の蝦夷地における荘内藩の功績
タンチョウの舞う空 舟山 廣治
文化財を「文化資源」に
受け継がれる活動の精神 亀谷 隆
北海道高文連主催 郷土研究発表
本間 愛之
記念式典 8月5日
先人に学び未来につなぐ 今田 美幸
山道内初 国指定史跡答申
様似山道・猿留山道
国際交流の架け橋

時計台中国語ガイド 佐藤 勝也

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会
〒036-8560青森県弘前市文京町1 弘前大学
人文学部日本史研究室内 1956年創刊
◇143 2017.10 B5 62p
榎本武揚と幕府海軍 塚越 俊志
史資料紹介
青森県外ヶ浜町所在山本遺跡の
航空レーザ計測結果について
—三重の壕をもつ所謂「古代
防衛性集落」の紹介 小口 雅史
旧仙台藩士小野莊五郎の音楽論
—「音曲ノ不正ハ人民ノ品行
ヲ乱ル」 北原かな子／山下須美礼
書評と紹介
菊池勇夫編『近世北日本の生活
世界—北に向かう人々』 上田 哲司
友田昌宏編著『東北の近代と自
由民権—「白河以北」を越えて』
鈴木 啓孝
南勉著『近代の青森県における
企業家ネットワークの研究—
人間関係の数値化・視覚化の
視点から』 白井 泉
『青森県史 資料編 近現代8
日記』 田中 祐介

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
1970年創刊
◇273 2018.1 A4 12p
遺物が語る郷土の歴史 柳之御所
遺跡 差歯下駄(重要文化財) 鎌田 勉
埋蔵文化財センター創立四〇周年を
迎えて 佐々木一成
「岩手の伝統工芸」 佐々木繁美

南部紫根染と草紫堂 藤田 繁樹
岩手の伝統を引継ぐ 熊谷志衣子
「秀衡塗 今」 青柳 真
新指定岩手県指定有形文化財
「木造不動明王立像」・「木造阿
弥陀如来立像」について 畠山 篤雄
29年度県民俗芸能フェスティバル
多彩な芸能で観衆を魅了 事務局
北東北におけるクマガラの現状 藤井 忠志
国指定名勝 イーハトーブの風景
地(2)「種山ヶ原」 朴沢志津江
わが館の文化財 鯨と海の科学館
東日本大震災を乗り越えて—山
田町立鯨と海の科学館再開館ま
でのみちのりとこれから 湊 敏
被災地の発掘調査現場から(12)
宿戸遺跡 八木 勝枝

◆国史談話会雑誌 東北大学国史談話会
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大
学大学院文学研究科日本史研究室気付
TEL022-795-6064 1957年創刊
www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/
◇58 2017.12 A5 82p
「憲政の神様」と「常道」なき議會
—尾崎行雄の1930年代 高島 笙
1930年代における天津居留民団と
天津共益会 儲 欣予
特別史跡多賀城跡と調査研究所 吉野 武
熊本地震と歴史学 小川 弘和
紹介 熊谷公男編『アテルイと東
北古代史』 大堀 秀人
2017年度国史談話会大会記事
研究発表要旨(発表順)
承和年間の奥郡騒乱 大堀 秀人
戦国末期における島津氏の権
力構造 森田健太郎
明治天皇行幸と明治三十四年

特別大演習 伊藤 熙
山県系の研究—田健治郎を中心
に 呉 昇鍵
歴史資料としての明治五年式戸
籍(壬申戸籍) 今野 真
公開講演(講演順)
現代博物館の課題 高橋 修
伊達政宗の家督相続—戦国大
名伊達氏研究の再構築に向
けて 菅野 正道

◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大
学大学院文学研究科 TEL022-795-6022
2005年創刊
◇13 2017.12 A5 130p
山形県内の諸事例からみる葬送墓
制における遺体の取扱いの変遷
と現状 小田島建己
義民の祭祀・顕彰
—寛延三義民を事例に 劉 建華

◆ナジェージダ(希望)
石巻若宮丸漂流民の会
〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
大島幹雄方 TEL045-773-4643
deracine.fool.jp/wakamiya/
◇39 (vol.16) 2017.12 A4 40p
特集 下北と漂流民
『原始謾筆風土年表』に記され
た漂流譚とおろし盆踊唄考 佐藤ミドリ
佐井 竹内徳兵衛の多賀丸漂流
についての考察 松井 哲朗
「おろしや盆踊唄」と「田名部
おしまこ」 奥川 春美
下北出合いの旅 大島 幹雄
追悼 綿晋さんを偲ぶ
綿晋さんの死を悼む 木村 成忠

綿さんの笑顔 春名 徹
やってみっちゃ!やってみます
か! 齋藤 博
面白い呑兵衛のおじさん ダメじゃん小出
綿さんを偲んで 本間 英一
塩釜といえば綿さん 佐藤三寿夫
綿さんとの想い出 高橋幸三郎
遠島甚句の謎に答える 佐藤三寿夫
『環海異聞』の写本を訪ねて 大島 幹雄
『環海異聞』所蔵機関一覧
北海道岬めぐり
—53年ぶりの北海道 木村 成忠
小学生ヒロムがラップで伝える
「和宮丸を知ってるかい」 門脇 篤
映画『まだ見ぬまちへ—石巻・小
さなコミュニティの物語』 本間 英一
牡鹿郡陸方大肝入
御用留を解説する日々 庄司 恵一
私の旅 じじいの釣り 酒見 謙三
フェアバンクス便り
アウトハウスを移動した夏 河内 牧栄
牡鹿半島漂流記(3)
牡鹿半島観光 太田 和美
「ロシアから来た日本人(仮)」
新聞連載をはじめます 大島 幹雄

◆秋田近代史研究会会報
〒010-1414秋田市御所野元町6-13-1
柴田知彰方 TEL018-807-3290 1958年創刊
www.geocities.jp/akitakindai01/kaiho.htm
◇178 2018.1 A4 4p
2017/総会・秋季研究会終わる
2017年秋季研究会研究報告要旨
農村の青年達と日露戦争
—高橋吉之助の生涯 高橋 一倫
太平洋戦争末期における陸軍の
六郷飛行場造成について 高橋 邦幸

- ◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会
〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322 1974年創刊
◇120 2017.12 B5 4p
いわゆる山の神行事は女性参加によって変容は生じたのか？—秋田県由利本荘市石脇地区における山林祭にかかる祝祭について 阿部 克人
- ◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会
〒011-0909秋田市寺内見桜1-5-55 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333 1981年創刊
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
◇89 2017.12 B5 16p
真澄を顕彰する活動 小笹 鉄文
研究発表(平成29年度総会)
ふるさとの文化財を守り伝える『年輪』 床田 昭治
真澄が目撃したオーロラと思われる現象について 清水川 修
『高松日記』における植物等の雑感 佐藤 晋一
平成二十九年度菅江真澄足跡探訪会 『つきのおろちね』 太平山 清水川 修
真澄の一枚(21) 弥彦のミノムシとヤマオニ 『粉本稿』より(大館市立栗盛記念図書館提供) 菊地 利雄
図書紹介 『菅江真澄に見られる科学的記録—内田ハチ遺稿集—』 野呂昭著(私家版)
- ◆鷹巣地方史研究 鷹巣地方史研究会
〒018-3301秋田県北秋田市綴子字往還下53 佐藤要方 TEL0186-62-4463 年2000円 1977年創刊
◇73 2017.11 A4 76p 1000円

- この一年を顧みて 中嶋 俊彦
柴村摩当山分割事件—明治四十二年 六町村共有原野の分割問題 庄司 博信
般若院英泉撰述による山神縁起説の特徴(2)—『秋田加護山之記』について 佐藤 俊晃
続・戦国武士が築いた比内地方の文化 小塚 嘉七
歴史講座 江戸時代における小猿部村々の森林利用と問題 講師：栗原健一
地方史の手帳
故長岐準吉記〈長岐貞治日記抄録〉紹介(2) 明治四年～五年 佐藤 俊晃
堤防で消えた川端集落 桜田 俊
総会講演会 阿仁合線から内陸線へ鉄道と地域の結びつきを考える 講師：大穂耕一郎
現地研修 胡桃館遺跡見学 佐藤 要
歴史教室 胡桃館遺跡と米代川流域の埋没家屋 講師：高橋学
武将 藤原泰衡 澤田 昌治
さざれ石 桜田 俊
大いなる前進—伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド活動報告 中嶋 俊彦
子どもシンポジウム発表原稿
「ジュニアガイドから学んだこと」秋田県北秋田市立綴子小学校六年 梶原楓華／私の主張 2017発表原稿—第39回少年の主張秋田県大会 県北地区予選大会 「ボランティアガイドとして」北秋田市立鷹巣中学校三年 中嶋杏莉

- ◆北方風土 北方風土社 事務局
〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027 1980年創刊
◇75 2018.1 A5 157p 2000円
戊辰戦争秋田戦線で海路秋田入りした西南諸軍 神宮 滋
雪のアラカト(2) 稲 雄次
上位権力対立に翻弄され敵味方も変転 佐竹百年の乱と国人江戸氏の発展・向背 那珂 通義
鎮守府將軍「清原貞衡」の正体—通字「衡」から考える 加藤愼一郎
一遍上人の光—南部氏の菩提寺が曹洞宗大慈寺は疑問／大慈寺は中世の山伏の小堂から 松橋 由雄
吉川五明の連句集「小菜畑」より 第一、第二歌仙を読んでみた 新谷 正隆
続・七度半の使い —「しちどはん」は京言葉 松橋 由雄
史料編
進藤貞吉著『道中記』(7) 解説・翻刻・注記・編集 相馬登
我が村の歴史 第八号
深澤多市著 翻刻 森本 彌吉
- ◆ふおーらむ・F 福島県民俗学会
〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 2011年創刊
fukushimafolklore.jimdo.com
◇6 2017.12 A4 4p
平成29年度 総会報告／平成29年度公開講演会報告「日本の民家から見た福島県の民家」津山正幹氏 小澤 弘道
研究発表会報告
渡邊彩氏「学校見学における古民家と民俗資料の活用について」

- て」 山口 拓
金子祥之氏「なぜ災害研究に民俗学的アプローチが必要なのか—川内村での生活調査を通じて—」 大山 孝正
展示見学記 「北塩原の民具モノ語り」を見て 大里 正樹
「がらごり」ってなあに？ 佐々木長生
◇7 2018.2 A4 4p
研究会報告 平成29年度東北地方民俗学会合同研究会「民俗資料の『発見』と新たな『活用』の可能性を探る」 内山 大介
研究会報告 地域持ち回り研究会「伊達の養蚕文化をまなぶ」 大里 正樹
noteから シルクロード・ネットワーク・ふくしまフォーラム 2017 全国大会の開催 村川 友彦
展示見学会 三春町歴史民俗資料館 特別展「絵馬—社に残る三春の記憶」 内山 大介
未来へ植得る海辺の食文化—特別展での郷土料理展示から 川崎 悠
- ◆フークトープ通信 フークトープ通信社
〒960-8021福島市霞町9-38 メゾン吉川12号室 山田英明方 2015年創刊
◇21 2018.2 A4 2p
戊辰一五〇年にあたって 山田 英明
フークトープ紀行(21) 半田山(桑折町) 赤井 武史
- | |
|-----|
| 関 東 |
|-----|
- ◆茨城の民俗 茨城民俗学会
〒310-0036茨城県水戸市新荘2-8-16 今瀬文也方 TEL029-231-4665 年3000円 1963年創刊 http://www.minzoku.net
◇56 2017.12 B5 108p

《特集 正月》

「イモモチ」「亥の子餅」「サトイモ」をめぐる一考察 内山 雅子
 松迎え・門松・松送り 一松が尊ばれた理由 黒澤 雅博
 「まゆ玉集会」から「どんど火祭り」 大森 政美
 私の正月一戦後から隠居屋まで 久家けい子
 正月行事を中心とした特色ある民俗事象 清水 亨桐
 正月行事を中心とした特色ある民俗事象 清水 亨桐
 水戸市有賀神社の「お磯下り」(磯渡御) 近江 礼子
 寺社の大同年間創建伝承(1) 松崎健一郎
 茨城のまつり見聞録 長江 慶治

◆水戸史学 水戸史学会

〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
 但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊
 ◇87 2017.11 A5 110p
 水戸と会津の教育に学ぶ 荒川 絃
 忘れられた詩人 楓湾・藤田貞松

渡邊 拓也
 義公と心越の金沢八景詩 梶山 孝夫
 義公の足跡を訪ねて(31)
 塩子仏国寺と常陸名所図屏風 住谷 光一
 資料解説 尊王倒幕論 名越 時正
 一庵先生詩傳(4) 名越 漠然
 「水戸城下屋敷割圖」に水戸藩士を追う(3) 齋藤 郁子

◆那須文化研究 那須文化研究会

〒329-2752栃木県那須塩原市三島5-1
 那須野が原博物館 TEL0287-36-0949
 1987年創刊
 ◇31 2017.12 B5 123p
 下野那須資胤隠居後の呼称考 荒川 善夫

健武山湯泉神社(那須町芦野)の神職宛て寄進状について 池澤久美子
 卯年朝鮮通信使の断簡 海老原郁雄
 「鈴木重郷翁碑」碑文の読解とそこから見えてきたもの 大沼 美雄
 〈大田原市湯津上地区プロジェクト調査報告書〉
 湯津上地区の淡島信仰について 一生活文化史の一考察 木村 康夫
 絵葉書で見る那須地方の昔(9) 一笠石神社と那須国造碑 長谷川 操
 大名家文書(大関家文書)は語る(16) 一戊辰戦争下における大関増勤 宛民政取締命令書 新井 敦史
 地方文書は語る(16)一幕領村「鉄砲改め証文」について 高根沢広之
 新刊紹介 『那須塩原市遺跡分布地図』、『なす風土記の丘第二十四特別展 中世那須のあけぼのー那須神田城を考えるー』、『新語りべが書いた 下野の民話』中村 悟
 栃木県文献一覧(2016追録)(2017)

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
 年4000円 1991年創刊
 ◇106 2018.1 A4 4p
 《特集 明治百五十年》
 明治150年 とちぎの諸相 大越 惟弘
 宇都宮県庁の所在地を考える 木村真理子
 那須野が原と華族農場 金井 忠夫

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2
 宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊
 blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/
 ◇331 2017.12 A5 100p

上野三碑にみる石碑文化の伝播と受容 前澤 和之
 古代新田郡の蝦夷政策における役割 小宮 俊久
 上毛野真人をめぐる宗教状況 関口 功一
 世界文化遺産「荒船風穴」全国展開の背景と推移ー全国鉄道網等 広がりと春秋館の営業努力 秋池 武
 動向 群馬学センターの活動について 熊倉 浩靖
 ぐんま絹遺産紹介(6) 旧模範工場桐生燃糸合資会社事務棟 須藤 心一
 群馬県立日本絹の里 下田 恵一
 新刊紹介 宮崎俊弥著『近代まえばし史話』 星野 富夫
 館林市史誌編さん委員会編『館林市史 通史編3 館林の近代・現代』 宮崎 俊弥
 追悼 柳井久雄先生のご逝去を悼んで 手島 仁
 一倉喜好先生のご逝去を悼んで 宮崎 俊弥
 口絵 滝川一益書状(富岡家文書) 一群馬県立歴史博物館蔵品資料(132) 青木 裕美
 ◇332 2018.1 A5 110p
 《考古学特集2》
 “推定上野国府”周辺の古代景観 一元総社着海遺跡群の溝と道 中村 岳彦
 農耕集落遺跡の分布とその背景ー群馬県川場村生品小鳥沢遺跡の立地分析を通して 村上 章義
 天明三年と考古学 天明泥流による家屋の「泥入り」と「流失」ー群馬県玉村

町の発掘事例をもとにして 中島 直樹
 玉村町大字福島における天明三年の災害復旧ー明治の地引絵図との比較による復旧状況 青木 利文
 宮柴前遺跡のサトイモ石膏型から判るものー天明飢饉の考古学的分析 福田 徹
 群馬県内出土の「やまと琴」について 石守 晃
 農業用水路「女堀」の名称について 能登健/川道亨
 平成の古墳総合調査から見えてきた群馬の古墳 深澤 敦仁
 口絵 伊勢崎市 北米岡遺跡出土の岩版ー群馬県立歴史博物館蔵品資料(132) 石田 典子

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
 TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
 www16.plala.or.jp/kuzira226/
 ◇252 2018.1 A5 56p
 龍海院の謎を探る 井野 修二
 橋紀行 利根川(2) 一宮田橋から栄橋 輿水 泉
 群馬の市街地地学ハイキング(3) 富岡コース 鍋川の石の生い立ちをたずねて 中島啓治・矢島祐介・中村庄八
 れきさんサロン 『戦争中の暮らしの記録』を読んで(暮らしの手帖編)ー花森安治・大橋鎮子 山崎 正
 高山彦九郎日記による歴史散歩(60) 『北行日記』(19) 正田 喜久
 酒井家が姫路に作った即是堂について 井野 修二
 歴史散歩の報告(事務局企画) 新勝寺と香取神宮と観福寺

一佐原の町並みと伊能忠敬 山崎 正
川中古古戦場跡と城下町松代 山崎 正

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
板橋春夫方 1979年創刊

◇152 2017.12 B5 4p

撰関家出入りの主な上毛野氏 関口 功一
区有文書にみる正月飾りと社会生活 鈴木 英恵
第108回例会記事 市東真一氏「団扇の民俗—祭礼と日常の用途に注目して—」(市東)、長谷川明則氏「大谷道海と新田荘の在地領主」(長谷川)

◆熊谷市郷土文化会誌

〒360-0044埼玉県熊谷市弥生2-32 中村友多佳方 TEL048-521-1024 1957年創刊

◇73 2017.11 A5 64p

判断には法則を 来間 平八
荒川堤をめぐる百間出し争論とその後の百間出し 岡田 辰男
江戸時代後期の彫物師 小林源太郎の足跡(2) 小池 博
「下宿岩次郎」は「下宿の黒田岩二郎」だった 馬場 國夫
県下初の民権結社「七名社」のこ
と 鯨井 邦彦
熊谷の型紙職について 平井加余子
旧奈良村の神社・仏閣と遺跡 関口 一男
熊谷市消防団活動を省みて 中澤 隆夫
総務委員会 小池 博
研修委員会
平成28年度第三回研修会 竹井 澹如のふるさと・南牧 鯨井 邦彦
平成29年度第一回研修会 現地
研修会 大麻生地区の遺跡と

文化財について
第二回研修会 戦争体験者が語る一戦中・戦後の熊谷の生活の様子 鯨井 邦彦
旅行委員会
秋の研修旅行 上田城(真田丸)・松代・別所方面 小澤 勝之
春の研修旅行 板倉・佐野・館林方面、田中正造ゆかりの里
調査研究委員会 平井 隆
定期総会の記録 小池 博
「みかりや」資料が新・市有形文化財に指定
表紙写真 酒樽形の墓石
撮影・中田迪／解説・来間平八

◆昔風と当世風 古々路の会

〒343-0027埼玉県越谷市大房1006-4-410
津山正幹方 TEL048-976-9387 1973年創刊

◇102 2017.11 B5 154p

《宮城県気仙沼市羽田・四十二・水梨子地区合同調査特集》
ふるさとの茅葺き屋根—気仙沼市の山あいに暮らして 佐々木徳朗
第四三回合同調査を終えて 村山 翠
暮らしを支える道具を作る 西尾 嘉美
昭和期の結婚・出産事情—宮城県気仙沼市羽田・四十二・水梨子地区の事例 早川美奈子
気仙沼市羽田の芸能
—羽田神楽を中心に 北河 直子
山間地域の暮らしと信仰 河合 久和
気仙沼市山間部の住まいと暮らし
文 森隆男／図 宮崎勝弘・宮崎玲子
気仙沼市赤岩羽田地区の正月行事
と三峰神社 関 廣好
羽田神社と板倉を訪ねて 白井 正子

気仙沼市赤岩水梨子地域のホシノ
タマ習俗 鈴木 英恵
気仙沼市水梨の食
—昭和初期頃について 丸山 久子
水梨の景観と地形 下境 芳典
気仙沼市での太平洋戦争体験談 林 奈菜子
気仙沼市羽田地区の羽田神楽 樋口 航
通過儀礼と化粧 梶川 瞳
気仙沼市のオカミサマのクチヨセ
を中心として 鈴木 秋彦
宮城県気仙沼市羽田・四十二・水梨子 暮らしの百年—住宅改善・出産 むらき数子
羽田・四十二・水梨子地区の一年の暮らし 村山 翠
木挽きと大工—宮城県気仙沼市羽田・四十二・水梨子 津山 正幹
気仙沼市赤岩羽田・水梨子・四十二地区見聞抄 五十嵐 稔
民俗学と研究会活動(3)
南島談話会と北方文明研究会 今野 大輔
天空の村の調査から 第44回合同調査の報告 兵庫県美方郡香美町村岡区祖岡地区 森隆男／西尾嘉美
陽コあだネ村の調査へ 第45回合同調査のお知らせ 青森県東津軽郡今別町浜名地区と襲月地区 神 かほり

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
岡本方 TEL04-7149-6404

www.geocities.jp/abikosisiken/

◇190 (通497) 2018.1 A4 20p

『古文書はいかに歴史を語るか—
文献史料が持つ多面的な世界—』
歴史講演会に期待する 関口 一郎
水戸道中牛久宿と戦国時代の牛久

城跡、そして牛久シャトーを歩く 茂木 勝己
歴史探訪に初参加
—牛久城跡と牛久宿 加藤マリ子
2017「市民のチカラまつり」ブースを担当して
鈴木江里子／脇明子／関口眞喜子
我孫子の社寺を訪ねる(24)
中峠地区(4) 中澤 雅夫
日曜部会
川船いろいろ—「船鑑」より 萩原 正美
「日光街道を歩く」(6)
(杉戸宿～幸手宿) 矢野 朝永
◇191 (通498) 2018.1 A4 14p
我孫子の社寺を訪ねる(25) 中峠地区(5) 亀田森稲荷神社／順道塚 田中由紀／中澤雅夫
「萬日記」を読み終えて 東 日出夫
◇192 (通499) 2018.2 A4 10p
歴史講演会「古文書はいかに歴史を語るか」開催結果報告 講師：白水智氏
歴史講演会「古文書はいかに歴史を語るか」を聴いて 丹羽 鼎
歴史講演会「古文書はいかに歴史を語るか」を聴いて 竹森 真直
歴史探訪「相馬霊場の札所参り」感想文 渡鹿島幸雄

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0843千葉県佐倉市中志津6-21-13
田中征志方 TEL043-489-7439 年2000円
2012年創刊

◇18 2018.1 A4 12p

志津の地名について(7) 田中 征志
佐倉学リレー講座 講演会 熱演
野村会長「佐倉の地名」を語る 編集局
佐倉市の難読苗字

さて幾つ読めますか 森 康世
初代佐倉城主土井利勝築城から四
百年 小川 眞資
佐倉惣五郎はどのように語られた
か(1) 滝口 昭二
土偶 土偶は土で作った人形 瀬田 華貴
弥富史あれこれ(1) 弥富簡略史 伊藤 清

◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会

〒276-0046千葉県八千代市大和田新田
452-20 鈴木康彦方 TEL047-459-2506
年3000円 1976年創刊

◇41 2017.12 B5 136p

《特集

大和田宿(大和田村と萱田町)の総合研究》
大和田宿の総合研究まとめ 牧野 光男
成田街道と大和田宿
大和田宿 菅野 貞男
大和田宿見取図 村田 一男
天保14年5月の大和田宿往来御
用 青田 博之
大和田宿の助郷 菅野 貞男
文久3年5、6月の大和田宿の
宿泊状況 青田 博之
成田山新勝寺の江戸出開帳と大
和田宿 青田 博之
明治天皇の習志野原・下志津原
陸軍演習場行幸 小林 詔三
正岡子規と大和田宿 畠山 隆
大和田村と萱田町
大和田村と萱田町の概要 菅野 貞男
大和田村と萱田町の村高と年貢 斎藤 惇
大和田村と萱田町の神社と寺院
時平神社 田中 巖
大和田村と萱田町の寺院 畠山 隆
大和田・萱田町のムラの講の石造
物 巖 由美

大和田宿周辺古代遺跡 田中 巖
大和田宿の信仰
95年も続く大和田の成田講 畠山 隆
大和田と萱田町の民俗行事 畠山 隆
大和田村・萱田町の筆子塚につい
て 菅原 賢男
特集 歴史遺産めぐり散歩コース 田中 巖

特集 歴史を楽しむ会

日本橋から中川船番所跡までを
歩く 青田 博之
今井の渡しから本行徳までを歩
く 畠山 隆
旧大多喜城下町散策 山口 忠
深川散策と深川八幡祭り紀行 鈴木 康彦
日光道中千住宿散策 山口 忠
佐野市安蘇地区の古代製鉄遺跡 田中 巖

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学文学部内 TEL043-251-1111
年4000円 1982年創刊
chibareki.blog.fc2.com

◇71 2017.11 A5 114p

巻頭随想 アーカイブズ機関の専
門職員と専門性 大友 一雄
歴史随想 小川國彦さんのこと 中村 政弘
里見氏上総国没収の背景について
の一考察 江澤 一樹
近世中後期における中規模城下の
祭礼一下総国佐倉城下麻賀多明
神祭礼を素材として 白谷 茉莉
祭りのはじまり 村の歴史ーオビ
シャ文書の発見と課題 水谷 類
堀忠俊と下野国足利 田嶋 悠佑
書評 松沢裕著作『自由民権運動
ー〈デモクラシー〉の夢と挫折』 飯塚 彬

新刊紹介

野口実著『列島を翔ける平安武
士 九州・京都・東国』 林 聡香
松尾章一著『歴史家 服部之總
日記・書翰・回想で迎える軌跡』 筑紫 敏夫
千葉県企業土地管理局発行『千
葉県企業庁事業の軌跡』本編
・別編 丹治 雄一
近世史部会 4月例会 大関真由
美「旗本阿部氏知行所の在り地代
官」 文責・大関真由美
近世史部会 7月例会 澤村怜薫
「大関真由美報告「旗本阿部氏
知行所の在り地代官」によせて」
文責・澤村怜薫
民俗部会活動報告 6月例会
文責・菅根幸裕

◆利根川文化研究 利根川文化研究会

〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学史資料センター 阿部裕樹気付
TEL03-3296-4329 1991年創刊
www.7a.biglobe.ne.jp/~tonebun/

◇41 2018.1 B5 84p

近代移行期における「行徳船」終
焉後の行徳航路一競争から内国
通運会社の航路独占へ 村越 博茂
明治初年における新河岸川舟運の
動向 阿部 裕樹
災害レポート 平成29年7月九州
北部豪雨災害の特徴についてー
福岡県朝倉市・東峰村・大分県
日田市 古賀 邦雄
巡検報告
栗橋・元栗橋巡検「利根川東遷
現場を歩く」 阿部 裕樹
横浜市歴史博物館の見学 柳田久美子

川越市立博物館企画展示と川越
城下町の巡検 川名 禎
書評・新刊紹介
池田宏樹著『戦争と地方政治
戦中期の千葉県政』 山村 一成
煎本増夫・有史会著『史料が語
る江戸時代の飢饉ー公助・共
助・自助の実態』 原 淳二
高橋敏編『近世遊侠列伝』 坂本 達彦
近世村落史研究会編『武州直直
し一揆』 青木 敏雄
丹治健蔵著『近世関東の水運と
商品取引 続々ー鬼怒川・利
根川上中流地域を中心に』 筑紫 敏夫
岡田清一著『相馬氏の成立と発
展 名門千葉一族の雄』 石渡 洋平
新井鎮久著『近世関東畑作農村
の商品生産と舟運ー江戸地廻
り経済圏の成立と商品生産地
帯の形成』 阿部 裕樹
築瀬大輔著『関東平野の中世ー
政治と環境』 川名 禎

◆房総古代道研究 房総古代道研究会会誌

〒299-0123千葉県市原市桜台3-25-25
2016年創刊

◇2 2017.12 A4 84p

インタビュー 更級日記『いまた
ち』と嶋穴郷について 谷島 一馬
雄略天皇の料理への関心と中国南
朝貴族の料理趣味 前之園亮一
海を渡る東海道/安房・上総国と
相模国を結ぶ駅船 佐々木虔一
市原市稲荷台遺跡の円丘祭祀 西野 雅人
大海人皇子と源頼朝 西山 勝裕
養老川の流路変遷と上総国府の空
間分析 小関 勇次
私の見た『柳橋神事』 賀来 道生

上総国と下総国の『更級日記』の
考察 濱田 惟代
『更級日記』千年紀によせて 相川 浩
鎮座伝承からみた飯香岡八幡宮 平澤 牧人
足利氏第二のふるさと『上総国い
ちはら』 山本 勝彦

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-
404 木原律子方 TEL047-473-3540
年3000円 1980年創刊

◇136 2018.1 B5 6p

順天堂第三代堂主「佐藤進」の石
碑 田中 征志
戊の年コラム 三峯神社の山戌 木原 律子

◆房総の郷土史

千葉県郷土史研究連絡協議会
〒299-3233千葉県大網白里市永田1641
秋葉輝夫方 年5000円 1974年創刊

◇45 2017.6 A5 123p

《川村優先生追悼特集》
巻頭言 蟻螂の斧 秋葉 輝夫
研究発表大会 共通テーマ「房総
の旗本知行」趣旨説明 事務局
記念講演会 上総・下総における
旗本知行所に相給村落—川村優
氏の業績によせて 渡辺 尚志
研究報告
旗本安藤氏の墓所について 岸波 宗岳
旗本たちの明治維新—旗本三嶋
氏を中心に(要旨) 筑紫 敏夫
総会記念講演会
新島に残る房総沖の海難記録 段木 一行
印旛官員「共立学舎」についての
一考察 神尾 武則
荻生徂徠の兄・春竹の書簡につい
て 小川 力也

地域経済博物館(特別展 房総の旅
と交通2)見学会に参加して 外山日出男
史跡探訪会「江戸時代の名人彫物
師島村圓鉄とその末裔の作品を
訪ねる」 山口 文
房総の窓—「地方史研究」から 井上 隆男
追悼特集 川村優先生を偲んで
川村博士追悼の歌 秋葉 輝夫
白子町で出会った川村優博士 秋谷 忍
川村優先生 荒井 信司
郷土の先哲を悼む 川合雄二郎
川村優先生を偲んで 高森 良昌
Loss ということ 外山日出男
川村先生を偲んで 中関 邦夫
古武士の風貌 中谷 順子
川村優先生を偲んで 松井 清子
川村優氏の人物と風貌 三浦 茂一
川村優先生を偲んで 横山 鈴子
川村優先生略年譜／川村優先生
著作目録 事務局

◆松戸史談 松戸史談会

〒270-0021千葉県松戸市小金原7-10-20
松田孝史方 TEL047-342-1764 年5000円
1961年創刊 www.matsudoshidankai.net

◇57 2017.11 B5 103p

身近な地域—郷土を学ぶ 松田 孝史
幸谷村の年貢—関家のにこの勘定
目録を読み解く 棚井 行隆
プリンスとサーカス 徳川昭武と
高野廣八のパリ万博 古木 均
松戸の東海道と太日河 花輪 茂道
馬橋の俳人大川立砂について・小
林一茶との交流 松田 孝史
松戸市内の戦争遺跡(補遺) 田嶋 昌治
明治維新と小金牧・佐倉牧の開墾
(1) 瀧川 敦子
千葉氏と「原・高城氏」と木曾氏

—松戸城主原信濃守の実態 國定美津子
金石文の旅 塩尻 英児
地域観光を模索する 佐藤敬一郎
トビックス・短信 松龍山山門の
木柱部材 市の有形文化財に指
定／松戸市観光協会 観光案内
所兼事務所オープン／「チバニ
アン！」～地方紙・千葉日報を
見て／松戸市初 古民家「旧齋
藤邸」主屋 国登録有形文化財
に登録／河原塚「郷土史」地域
住民達で刊行 勝部 建一
総会記念講演「年貢の通り道利根
川」 岡 隆雄
会員勉強会「松戸の文化について
考える」 松田 孝史
第68回松戸市文化祭文化講演「江
戸時代の交通と宿場の実像」北
原進氏 山中 健司
第68回松戸市文化祭記録と第69回
文化祭速報 山中・古木
松戸市民参加の勉強会(要旨)「楽
しい地図(古い地図も)の見方」
藤澤進三氏 沖 福松
松戸史談会会員勉強会「萬満寺の
宝物拝観と住職の法話」青野逸
堂氏 沖 福松

◆アーカイブ通信

ネットワーク・市民アーカイブ
〒190-0022東京都立川市錦町3-1-28-301
TEL042-540-1663 年6000円 2014年創刊
www.c-archive.jp
◇11 2017.11 A4 8p
新代表ご挨拶 ひとびとの「思い」
と「行動」の歴史を次の世代へ
町村 敬志
シリーズ「現場」を訪ねる(2)

浪江虔の思想を場と資料から辿
る—旧「私立南多摩農村図書館」
を鶴川を訪ねて
第3期緑蔭トーク報告
第2回「市民の学びの拠点は何
こに?—戦後八王子の足跡を
辿って」増沢航 (増沢)
第3回「手作りパンの店・ポム
の20年」中野政子さん 記録・佐藤啓子
私と市民活動資料(9) 各地の活
動の資料に励まされながら—市
民活動サービスコーナーから、
市民アーカイブ多摩へ 山口 ゆみ
ミニコミ紹介
共働学舎だより 桑木なつみ
区画整理反対ニュース 神屋敷和子
記憶と記録の場をめぐる旅(10)
八王子平和・原爆資料館 原爆
の「実感」から戦争と平和の意
味を考える場
市民アーカイブ多摩の資料棚から
(7) 平和(1) 長島祐基

◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2
塩野谷明夫方 TEL048-465-7818 年5000円
1939年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~sanmin/

◇311 2018.2 B5 16p

表紙解説 谷文晁画筆「熱海港」
図(部分)(『公余探勝図』下巻、
所収) (岡倉)
松平定信制作・谷文晁画筆『公余
探勝図』—誕生の時代的背景と、
描かれた風景をさぐる 鷺頭 隆
菅江真澄の万葉仮名—「ニハナカ」
の歌と地名「ヒロサキ」 関 啓司
山里だより(28)
「雪ん坊」の降雪予報

一丹波美山から 西浦 左門
「軽井沢」は火山・金属地名か
一静岡県函南町東部山地(2) 山立 虎魚
旅の草ぐさ(24) 賽の河原の風ぐ
るまー下北半島・恐山 杉崎満寿雄
文献紹介 柳田国男入門ー伊那民
研叢書(2) 福田アジオ著 福田アジオ

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇597 2017.11 A4 4p
千住ゆかりの日本画家 高橋廣湖
をめぐると新資料 小林 優
二五〇年も続いてきた六部供養祭
姫街道で行き倒れた本木の回國
修行僧 矢沢幸一朗
千住掃部宿の「旧書留」から(10)
脇差と町人・百姓 多田 文夫
◇598 2017.12 A4 4p
整理中の水野家浮世絵から 歌川
国貞(三代豊国)の役者絵『児雷
也豪傑譚話』 畑江 麻里
綾瀬・吉田家文書について 郷土博物館
◇599 2018.1 A4 4p
新出資料が伝える日本画家、高橋
廣湖の落款印 小林 優
千住掃部宿の「旧書留」から(11)
(終) 袴を着用する宿役人 多田 文夫
羽裏の富士 郷土博物館
◇600 2018.2 A4 4p
小特集 勝海舟の扁額と足立 郷土博物館
近松松次郎の資料 矢沢幸一朗
近松松次郎表彰碑の翻刻 木嶋 孝行
惜別 安藤義雄さん (編)
文化遺産調査企画展「谷文晁と二
人の文一」 文化遺産調査担当

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇356 2017.11 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(19) 堀川 和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町
の歴史 観音寺、綾瀬稲荷
10月探訪 蔵の街栃木
千住研究資料 元宿の名を後生に
伝えるために 宇田川元造さん
の覚え書
足立の俳句先人追慕(2) 菖蒲園
句集 為成菖蒲園(為成善太郎
さん)
◇357 2017.12 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(20)
都道府県庁の権限(承前) 堀川 和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町
の歴史 イチヨウ 扇二丁目民
家、常禅院、興野神社
築地・発祥地探し
花畑川が無くなるらしい みんな
で考えてみたい課題の提起です
安藤義雄氏がまとめた 五「花畑
川開削の背景」 「堀川と花畑川
の盛衰ー河川への関心を高める
ためにー」講義資料のうち 後
半部分
中川歴史さんぽ 地域包括支援セ
ンター中川のとりくみ 善養寺千夏
◇358 2018.1 A4 14p
足立史談会五十周年記念業の成功
を！ 堀川 和夫
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(21) 堀川 和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町

の歴史 ケヤキ 舎人氷川神社
亀戸七福神 画・添田善雄氏
資料紹介 利根川・荒川流路変遷
図(八潮資料館資料から)／綾瀬
川改修の様子 小島 勲
12月2日区民教養講座 講師・小
山正見先生の資料から「俳句が
自己肯定感につながった」「A
の細道」
一文字が生み出すドラマ 土田 翔之
訃報 足立史談会名誉会長
安藤義雄先生
安藤義雄先生を悼む 堀川 和夫
安藤義雄先生を偲んで「足立史
談会だより」から抜き刷り 東
京電機大学同窓会・千住キャン
パス開校記念講演「講演レジュ
メ」 東京電気大学を迎えた千
住の郷土史的考察 平成24年5
月13日 安藤 義雄
◇359 2018.2 A4 8p
祝 足立史談会創立五〇周年・「足
立史談」六〇〇号
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(22) 堀川 和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町
の歴史 クスノキ 鹿島押部八
幡神社
大学入試センター試験・出題文に
「河合栄治郎」が登場／河合栄
治郎について
公務員安藤義雄氏…… 神田さん
の記憶 「史談会だより」274号
平成23年1月 安藤 義雄
内務省東京土木出張所 大正13年
10月「荒川下流改修工事概要」
から 南洲「留魂碑」の行方

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇122 2017.12 A4 8p
徳川御殿@府中 その参
家康の神柩来る 深澤 靖幸
開館30周年記念 特別展
徳川御殿@府中 深澤 靖幸
NOTE 変身！紅葉マジック 中村 武史
たまがわ野鳥セレクション(7)
河原の KILLER モズ 中村 武史
最近の発掘調査 平安時代の横櫛
が出土しました 府中町一丁目
塚原 二郎
開館30周年を迎えての…あれこれ
(3) 博物館は情報の蔵！でも
蔵はパンク寸前 佐藤 智敬
◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3
大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682 1966年創刊
www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/
◇294 2017.11 B5 35p
表紙写真解説 「板橋七福神めぐり」
写真と文・井上富夫
国家神道の解体
ー神道指令の意味するもの 小林 保男
「我が家の行事と食」覚え書き(6)
ー昭和三〇年代向原の農家を振
り返って 三原寿太郎
板橋区史編さんと公文書館運営に
関わって(8) 最終回ー板橋史談
会と私の縁 松浦 勉
板橋史談会瓦版 旧粕谷住宅の解
体・復元工事がまもなく終了 井上 富夫
◇295 2018.2 B5 23p
表紙写真解説 「文化財防火デー

消防演習」安養院 写真と文・井上富夫
「我が家の行事と食」覚え書き(7・
終)—昭和三〇年代向原の農家
を振り返って 三原寿太郎
戦時中の板橋区内不発弾の戦後処
理 石塚 輝雄
泉貞代会員(元副会長)「板橋史談
会」とわたしを発行
板橋文化財瓦版 都内最古級の古
民家「旧粕谷家住宅」の公開は
じまる
地域図書紹介 松崎憲三著『民俗
信仰の位相 変質と多様性をさ
ぐる』 文責・井上富夫

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092東京都板橋区赤塚7-18-7
<https://www.okumusashi.club>

◇418 2017.11 B5 18p
もう一度見たい奥武蔵の風景 小泉 重光
慈光寺裏参道今昔 町田 尚夫
奥武蔵の山名・峠名三大発見 藤本 一美
奥武蔵・秩父の獅子舞(71)

—西本宿、富士浅間神社の舞 関口 洋介
柴崎善治さん逝く 加藤 恒彦

◇419 2018.1 B5 27p
新しい年を迎えて 小泉 重光
慈光寺と伊豆国 匠の縁 酒井 昌樹
岡部屋敷と要害山城 小泉 重光
奥武蔵・秩父の獅子舞(72)

—兄玉、吉田林の舞 関口 洋介
渡良瀬遊水地に学ぶ地理と歴史 町田 尚夫
17年度 河田賞/17年度 山行賞
/17年度 集会賞

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇127 2017.11 B5 10p
第414回 月例研究会
古今戸人形の再現をめざして 吉田 義和
第416回 月例研究会
雑談会 終戦前後 報告・馬場永子
第417回 月例見学会
鎌倉見学会報告 報告・室岡裕之
飛鳥山碑文 王子田楽衆代表 高木基雄

◇128 2018.2 B5 10p
第36回定期総会 報告・山田美登里
第420回 月例研究会
赤羽文化センターまつり報告 川上 明
第421回 月例研究会
「製麻の池」と「製麻のポー」
—日本製麻赤羽工場 有馬 純雄

◆郷土史 八王子市川口郷土史研究会

〒192-0151東京都八王子市上川町3160-9
車田勝彦方 TEL042-654-3101

◇39 2018.2 B5 12p
伝統行事の復活 表紙：どんど焼
き(川口町唐松町会) 撮影・伊
藤勝之 瀬沼 秀雄

平成29年度総会・新年会
会員の活躍ぶりに感心 秋山 勝男

八王子市市制100周年記念「市民
提案事業」平成の甲冑七領の
輝き 金子 信一

平成29年度 春の見て歩き
甲州道中・日野宿探訪 古坂 容子

第24回透谷祭 高長寺で明治の詩
人を偲ぶ 竹下 富子

市民自由講座 八王子市生涯学習
センター川口分館共催 大久保
長安による八王子周辺のまちお
こし 福島 忠治

困民党指導者 塩野倉之助屋敷跡
に思いを馳せて 車田 勝彦

市制施行100周年・開館50周年記
念 郷土資料館特別展「百年の
彩り」から 名誉市民 瀧井孝
作 小林 央
平成29年度川口中学校の総合的な
学習を指導 第一学年地域学習
への協力 斎藤 三男
秋の史跡めぐり
晩秋の西多摩を訪ねて 中嶋 丈史

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
TEL03-3355-4188

◇208 2017.12 A4 8p
催事スケッチ 三吉ぼんでん祭り
ぼんでんを捧げ持ち、力強く競
う合う新春の祭り 秋田市赤沼
三吉神社 写真・文 渡辺良正

特集 奥三河の花祭り(2) 山崎 一司
会員を訪ねる 愛知縣護國神社/
二見興玉神社

レポート 生活芸術講座(第1回)

(儀礼文化講座 平成29年度第
3回) フラワーデザイン「フ
ラワーデザインの魅力について」

講師：川崎景介/生活芸
術講座(第2回)(儀礼文化講座
平成29年度第4回) 料理「手

仕事の和食—伝統を残す、日々
の力— 講師：柳原一成

◆記録管理学会ニュースレター

〒267-0066千葉県緑区あすみが丘5-54-8
船越幸夫方 <http://www.rmsj.jp>

◇81 2018.1 A4 16p
2018 年頭のご挨拶 菅 真城
2018年記録管理学会研究大会の開

催について 大会テーマ「記録

管理の研究・教育に関する現状
と課題(仮) 荒 俊樹
個人情報保護への取り組み(2) 石井 幸雄
記録管理学会主催行事 第157回
記録管理学会例会報告 テーマ
「行政文書の管理に関するガイ
ドライン」の見直しについて考
える! 報告者:記録管理学会
石井幸雄 石井 幸雄

◆月刊神田画報 カンガデザイン

〒101-0064東京都千代田区神田猿楽町2-2
澤田ビル206 TEL03-3296-7121

◇121 2018.1 A4 4p

岩本町三丁目会が「岩三史」を發
刊/鍛冶町もちつき大会開催/
豊潤稲荷神社創建百年祭

ライトアップに綺麗に照らされた
神田の町々/神田明神神職の岸
川雅範氏が「江戸天下祭の研究」

を出版!!/新島襄生誕記念「碑
前祭」と「初春縁日広場」を開
催します

昔むかしの神田探訪(39) 河鍋暁
斎の逸話と神田明神の衝立 酔馬 主水

◇122 2018.2 A4 4p

お玉が池子供会の初詣歩こう会
180人が神田明神と湯島天神へ
/「井政・神田の家」門前にて

江戸町火消しの伝統の技を披露
迎春 平成三〇年を迎える午前〇
時の神田明神 太鼓がなり神田

囃子と木遣りで初詣参拝/寒中
禊 神田明神だいこくまつり
恒例の「寒中禊がまん会」

昔むかしの神田探訪(40) 柳森稲
荷神社境内の力石と重量挙げ發
祥の地 酔馬 主水

◆国立公文書館ニュース

〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp

◇12 2017.12 A4 8p

特集 海をわたる異国の地の記憶
オーストラリア国立公文書館所
蔵日系企業記録受入プロジェク
ト

N A A所蔵日系企業記録とは？

「企業アーカイブズ」は、貴重な「社
会的資源」企業がその価値を
再認識するきっかけになってほ
しい 大島 久幸

展示会を見に行こう！ 平成29年
度第3回企画展 江戸の花だよ
り／平成29年度第4回企画展
太田道灌と江戸／館外展示(福
井) 国立公文書館所蔵 明治
日本とふくい軌跡

北の丸プレイバック 平成29年度
秋の特別展「日本とデンマーク
文書でたどる交流の歴史」終了
／館主催見学ツアー(中高生対
象)実施／企画展「ふしぎなふ
しぎな百人一首」終了

あの日の公文書 12月20日 道路
交通法施行記念日 時代の要請
に応じて「変化」

◆石神井公園ふるさと文化館ニュース

練馬区立石神井公園ふるさと文化館
〒177-0041東京都練馬区石神井町5-12-16
TEL03-3996-4060
www.neribun.or.jp/furusato.html

◇27 2017.12 A4 4p

練馬区独立70周年記念展 藤沢周
平、生誕90年を記念する展覧会
を2つの会場で同時開催 特別

展「生誕90年記念 藤沢周平
展」、分室特別展「生誕90年記
念 藤沢周平と練馬」／特別展
「見て、触れて、撮って楽しむ
—トリックアートの世界」／収
蔵品紹介 石神井西尋常小学校
のリードオルガン(練馬区登録
文化財)

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 年6000円
1993年創刊

◇100 2018.1 A4 6p

延岡城木図が見つかる
—丸岡城下の旧家に保存
浦賀奉行所跡地について—江戸湾
口を監視した幕府の出先拠点
最近の城郭ニュースから
最近の注目される城郭図書から
小野寺靖著『茨城の城門』、飯
村均・室町野秀文編『東北の名
城を歩く』二冊、竹井英文編著
『最上義光』、池享ほか著『東北
の歴史』通史編1
一〇〇号の刊行にあたって 西ヶ谷恭弘

◆書籍文化史 鈴木俊幸

〒192-0393東京都八王子市東中野742-1
中央大学文学部3833号室
TEL042-674-3789 2000年創刊

◇19 2018.1 A5 162+20p

古活字版悉皆調査目録稿(9) 高木 浩明
藤尾景秀編『近江國新古名所和歌
集』の行方 中澤 伸弘
大行寺信暁と施本 膽吹 覚
「拓本」と毛筆文化研究 岩坪 充雄
明治前期の出版法制と『西国立志

編』 稲岡 勝
『近世・近代初期 書籍研究文献
目録』補遺(4) 鈴木 俊幸

◆白子川源流通信

「白子川源流・水辺の会」会報
〒178-0064東京都練馬区南大泉1-10-5
菅沢博方 TEL03-3923-8430
www.geocities.jp/sirako_river/

◇51 2017.8 B5 8p

リレー表紙(6) 文・岡崎一成
白子川の西武線下流におけるアユ
調査 井口 卓磨
WE LOVE 白子川の会
—泉新小6年生の総合学習
電柱物語(中)「見返」の由来 東谷 篤
源流探歩(11) 全国水生生物調査
岡崎 一成
白子川の生き物(50)
メリケンガヤツリ 横山 松栄

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/

◇266 2017.11 A4 10p 400円

路面電車西武軌道線～都電杉並線
(2) 木村 輝郎
過ぎ行く旧高円寺二丁目／和田三
丁目西町会の変遷 原田 弘
第547回講演会記「江戸時代の武
蔵野と新田開発」小酒井大悟先
生 新村 康敏
第558回見学会記 松陰神社から
猫が招いた豪徳寺 世田谷代官
屋敷を訪ねる 服部 建人
公文書館訪問 新村 康敏
◇267 2018.1 A4 10p 400円

桐村といわれた获雀(1) 寺田 格郎
“徳川ミュージアム”他を訪ねて
“杉並文化団体連合会”主催
—日帰りバス見学会の記 大場 良枝
私の本棚から(54)「月給百円」
サラリーマン 戦前日本の「平
和」な生活 岩瀬彰著 講談社
現代新書 新村 康敏

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
seikouminzoku.sakura.ne.jp

◇241 2017.12 B5 29p

茨城県龍ヶ崎市若柴町の祇園祭 近江 礼子
青森県の生業を支える女性の
“稼ぎ”(1)—漁村地域 長谷川方子
ニュータウン開発後の年中行事の
維持—東京都多摩市山王下のセ
—ノカミ 松尾あずさ
流行歌と替え歌 大島 建彦
川崎市宮前区東有馬の下有馬不動
尊 清水 亨桐

◆戦国史研究

戦国史研究会(発売:吉川弘文館)
〒215-0017川崎市麻生区王禅寺西1-4-7
小川方 1981年創刊
www.sengokushi-kenkyukai.jp

◇75 2018.2 A5 52p 649円

織田・上杉開戦への過程と展開
—その政治要因の追究 柴 裕之
賀茂別雷神社文書中の丹羽長秀・
織田信長文書について 金子 拓
日野富子と山名宗全との連繫の発
端 家永 遵嗣
第四次川中島合戦直前の武田氏—
新出の武田信玄自筆書状から 海老沼貞治

内容が判明した大道寺政繁書状 黒田 基樹
戦国史関係論文目録(平成28年7月
～12月)

例会記録 第451回～第456回

第451回例会報告要旨

戦国大名武田氏と曹洞宗一武田

信虎の大泉寺開創を中心に 長谷川幸一
第452回例会報告要旨

色部領の水運と湊町 新保 稔
第453回例会報告要旨

シンポジウム 戦国期における
大名と国衆 文責・事務局

第454回例会報告要旨

依田松平氏の信濃佐久郡支配 鈴木 将典
第455回例会報告要旨

戦国期における語彙と用法
一『出雲鰐淵文書』二九号

を手がかりとして 戸谷 穂高
毛利氏の出雲富田城攻めと西伯

耆村上氏 岡村 吉彦
松江歴史館所蔵・寄託文書見学

会 文責・事務局
第456回参加記 東美濃遠山氏か

ら見た戦国期地域間交流 岩永 紘和

◆全日本郷土芸能協会会報

〒106-0032東京都港区六本木4-3-6
三河台ハイツ206 TEL03-6434-9434
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp

◇90 2018.1 A4 24p

善光寺木遣り 長野県長野市 市
指定無形文化財

茨城県「真家のみたま踊」、石川
県「白峰のかんこ踊むの調査報

告書作成業務／「大手町・丸の
内JAPAN市 東北復興編」

東北応援パフォーマンス 都民
がおどる東北郷土芸能

「獅子よ集まれ!東北宮城へ」レ
ポート

「全日本獅子舞フェスティバル白
岡'17」開催される

かながわ伝統芸能祭 地芝居2018
／葛生伝承館「羽子板展」

地芝居見聞(27) 「第30回 新城
歌舞伎定期公演」、人形芝居観

覧記「八王子車人形ロマンス」北河 直子
地芝居あれこれ(28)

「鬘のはなし」 蒲池 卓巳
空白の沖縄芸能史(17)

嗚呼!我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄
伊勢大神楽と現代日本を歩く(3)

風の暮らし、土の暮らし 神野 知恵
『廻り神楽』公開記念〈交又する

震災と芸能〉映画2部上映 遠藤 協
人々はなぜ椎原神楽に魅せられる

のか 中坪 功雄
BOOK良書紹介 『写真で辿る折

口信夫の古代』芳賀日出男著 (笹生)

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146

www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/

◇311 2017.12 A4 2p 100円
或る大道商人の足跡

ヴァイオリン演歌(4) 石田一松
と桜井敏雄 石田一松(1902～

1956) ♪酋長の娘 石田一松
／桜井敏雄(1909～1996) 演歌

師たちの唄った唄／その他の演
歌師たち 楽四季一生

◇312 2018.1 A4 2p 100円

バンソロ おおじめ(算盤)元
大締(大メ)師・藤本康男(甲南)

氏取材 小生の質問／以下、藤

本氏が述べたもの

◇313 2018.2 A4 2p 100円

かんかんのう／落語の中のかんか
んのう

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1-
103 梶原方 1991年創刊

tamatiken.web.fc2.com

◇128 2017.11 B5 26p

第97回例会報告

第97回例会参加記 三村 章

第97回例会

旧日立航空機立川工場の歴史と
戦災建造物の保存運動一『戦

災変電所の奇跡』より 中野志乃夫
立川陸軍航空工廠五日市分廠倉

庫の発見一あきる野市水草木
遺跡の調査成果より 中西 充

第96回例会

多摩の飯盛旅籠 高木まどか
旗本領における領主の死と鳴物

停止令一高家長沢氏と知行所
を事例に 佐藤 麻里

◇129 2018.1 B5 16p

第98回例会報告 遺跡の発掘調査
成果から見た「カスミ」地名の

歴史的背景の検討 内野 正
新刊紹介

峰岸純夫著『享徳の乱一中世東

国の「三十年戦争」一』梶原 勝
西股総生著『杉山城の時代』角

川選書592 梶原 勝

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686東京都国立市中1-9-52

TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

www.tamashin.or.jp

◇168 2017.11 A5 114p

《特集 江戸時代の日記を紐解く》

『指田日記』から見た村の陰陽師 林 淳
伊勢参宮をめぐる旅日記

一府中に残る日記から 花木 知子
鈴木平九郎伊勢参宮期間の日記代

筆者 奈倉 哲三
名主・村役人の文化活動一「県居

井蛙録」・「富澤家日記」より 清水 裕介
將軍上洛と八王子千人同心の日記

久住 真也
洋風建築への誘い(57)

中央線高尾駅 伊藤 龍也
建物雑想記(52) 猪子叔首はどこ

へ? 高尾駅北口駅舎 酒井 哲
古文書は語る(47) 井の頭池と周

辺の土地をめぐる争論一高橋家
所蔵文書「久ヶ山村無礼村井之

頭池廻出入訴状」より 馬場 憲一
多摩の食文化誌(26)

砂川牛蒡の歴史を紐解く 増田 昭子
多摩の金融史(3) 明治・大正期

の西多摩郡における金融機関間
の関係一企業家ネットワーク試

論 小島 庸平
多摩のみほとけ(31) 多摩市 白

山神社 木造十一面観音及び男



女神像 齊藤 経生
本の紹介
ぶんしん出版編『井の頭公園100
年写真集』 米崎 清実
稲城市教育部生涯学習課編『稲
城市の民具 第4集』 尾上 一明
新井智一著『大都市圏郊外の新
しい政治・行政地理学—米軍
基地・環境・ジェンダー』 矢部 直人
*編集後記に、「江戸時代の名主たちの日記
には、数多くの事柄が書き込まれています。
代官所からの触書や廻達、村方よりの上申
書・嘆願書や訴状などの公的職務に関わるも
の。自家の経営・金銭出入り、奉公人や職人、
地震・火事・水害などの天変地異、年中行事、
講、お日待、参詣、喧嘩・口論の仲裁、文化
活動など、村の生活に関わるものまで多岐に
わたります。」とある。まったくその精細さ
には驚くばかりである。それによる歴史資料
としての有用性や面白さもさることながら、
名主という公の立場にあるものの勤勉実直さ
や責任感の強さを感じ取ることができ、改竄、
隠蔽で信頼の揺らぐ現在の官僚たちに学んで
欲しいとすら思う。

同志では早くに日記の価値に着目し、1983
年の32号で「日記にみる近世の多摩」を特集、
五日市・石川家の「歳中日記」など9件の日
記を紹介した。その後、多摩地域での日記の
盛んな翻刻・刊行と研究を促すきっかけとな
ったといってもいいだろう。本特集「江戸時
代の日記を紐解く」では村の陰陽師、伊勢参
宮の旅、名主の伊勢参宮中の代筆者、名主・
村役人の文化活動、八王子千人同心の5件を
紹介する。この中で、奈倉哲三「鈴木平九郎
伊勢参宮期間の日記代筆者」は、88日間の名
主の不在中も途切れず書き綴られた日記の代
筆者が、当初考えられた名主の妻ではなかつ
たことを明らかにするものであるが、それと

は別に、名主の妻が独自の金融活動をしてい
たことが実証され、大変に興味深い。

◇169 2018.2 A5 96p
《特集 デジタル地図でみる多摩の歴史》
デジタル遺跡地図のつくりかた 近藤 康久
「明治二四年徴発物件一覧表」に
記載される関東地方における水
車場の分布 渡邊 敬逸
関東平野における子ノ神社・第
六天神社の分布 榎原 信夫
歴史研究におけるデジタル地図利
用の現状 川口 洋
洋風建築への誘い(58)
多摩市 旧多摩聖蹟記念館 伊藤 龍也
建物雑想記(53) 榎円の殿堂・旧
多摩聖蹟記念館 酒井 哲
多摩の食文化誌(27) 大根の記—
世田谷区の大蔵大根・雪国奥会
津の大根 増田 昭子
多摩の金融史(4) 国立の学園都
市開発と地域銀行—高田農商銀
行を中心に 堀 峰生
多摩のみほとけ(32) 町田市 養
運寺 木造阿弥陀三尊像 齊藤 経生
本の紹介
瑞穂町郷土資料館けやき館編
『瑞穂町の消防団いま・むか
し』 三村 章
くにたち郷土文化館編『国指定
重要文化財 緑川東遺跡出土
石棒展』 佐賀 桃子
調布市教育委員会編『野口一平
家資料目録』 石橋 督和

◆T-Cha 東京文化資源会議ニューズレター
〒101-0054東京都千代田区神田錦町2-1
TEL03-5244-5450 2017年創刊 tohbun.jp
◇1 2017.9 A4 4p

2年に1度、神田祭で体験する歴
史と今 @神田明神
岸川雅範／中村雄祐／真鍋陸太郎
T-Cha NOW TOKYO PROJE
CT 谷中のまちの未来を考え
るプロジェクトスクール@谷中
／旅館街・本郷の記憶をたどる
本郷のキオクの未来／東京文化
資源会議の第1回総会が開催さ
れました／上野スクエア構想／
リノベーションまちづくり研究
会／オリピックの文化発信拠
点「ナショナル・ハウス」設置
プロジェクト

◆伝え 日本口承文芸学会
〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
國學院大學文学部 飯倉義之研究室
FAX03-5466-0368 年4000円 1987年創刊
ko-sho.org
◇62 2018.2 B5 4p
卵生神話と袋子 飯島 吉晴
第73回日本口承文芸学会研究例会
「逃げる！「恐怖」をめぐる口
承文芸学」 報告・小堀光夫
各地の語り・語り手・語りの場の
紹介(6) 個人誌『津軽の民話
落ち穂拾い』のこと 佐々木達司

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER
〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮
根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548
／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43
柚須絃一方 FAX048-479-7490 年2000円
tias3.web.fc2.com
◇127 2017.11 A4 6p
報告 見学会「足尾銅山の産業遺
産」 文・写真 奥原一三

東京農工大で図面展示中—虎ノ門
にあった官営製糸場 文・写真 奥原一三
文献紹介 『工場見学がファンを
つくる』中嶋康博他著、『第17
回 伝統工芸展 いたばしの職
人—モノと人—』齊藤千秋編 多田 統一
産業遺産を訪ねて(12)
旧米沢高等工業学校本館 平井 東幸
新刊紹介 『科学と産業の発展を
支えた分析機器・科学機器遺産』
発行：日本分析機器工業会・日
本科学機器協会 平井 東幸
茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(8)
「常陸国総社宮の煉瓦造高燈籠」
(3) 文・写真 八木司郎
◇128 2018.1 A4 6p
報告 講演会・見学会「横須賀
製鉄所の事蹟を訪ねて—錦糸紡
績所へ設置した国産初の動力用
タービン水車」 文・写真 奥原一三
報告 講演会「一般缶製造業の歩
みと課題」 多田 統一
見学会「エコプロ2017—環境とエ
ネルギーの未来展—」 多田 統一
横須賀市「逸見波止場衛門」
文・写真 白石健一
新刊紹介 『まっふる 工場見学
社会科見学 首都圏』白木信彦
編集 昭文社 多田 統一
新刊紹介 『東京カイシャハッケ
ン伝ガイド』東京都産業労働局
雇用就業部就業推進課編集・発
行 多田 統一
産業遺産を訪ねて(13)
わが国初の人造繊維の史料 平井 東幸
茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(9)
「冷水(ひやみず)酒造煉瓦塀」
文・写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース
〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4 政治経済研究所 TEL03-5857-5631 年2000円
2002年創刊 www.tokyo-sensai.net

◇32 2018.2 A4 8p
わかりやすさと、感動的な… 早乙女勝元
リニューアルの進捗状況 比江島大和
お話すきっかけから 今へ

—センターで体験を語って 元木キサ子
展示改修事業計画案をまとまりま
した 展示検討委員会

2017年 夏休み特別企画
開催報告 比江島大和
霊名簿研究会の活動—報告書の発
行と特別展の開催 青木 哲夫

早乙女勝元 新刊紹介『アンネ
・フランク』、児童書(絵本)『赤
ちゃんと母の火の夜』
来館者の目線で活動を!

—戦争を始めさせないために 中野 英次
空襲被災者運動研究会の活動報告
大岡 聡

空襲被災者運動研究会 第17回公
開研究会「戦争被害者運動の資
料をめぐって—日本被団協と全
傷連」参加記 石橋 星志

空襲被災者運動研究会 第18回公
開研究会「民間人戦争被害者援
護問題の日独比較」参加記 松田 英里
語り継ぐ

資料は語る—罹災証明書 山辺 昌彦

◆練馬郷土史研究会会報
〒179-0072東京都練馬区光が丘5-2-3-806
鎌田茂男方 TEL03-3977-3091
1956年創刊

◇367 2018.1 A4 4p
石神井川の歴史(3)

—その源流から河口まで 葛城 明彦
練馬の城を往く(19)

とうか山の陣所(推定説) 八巻 孝夫
豊島氏関係史料を読む(21) 丁
丑(天正五年)七月十三日付け北
条家印判状を読む(2) 伊藤 一美

◆練馬区地名研究会会報
〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊

◇120 2017.12 B5 4p
第121回例会 現代に生きる縄文
文化—現代に受け継がれた縄文
文化 富樫 雅彦

◆練馬区立石神井公園ふるさと文化館
分室だより
〒177-0045東京都練馬区石神井台1-33-44
石神井松の風文化公園管理棟内
TEL03-5372-2572
www.neribun.or.jp/furusato.html

◇17 2017.10 A4 4p
分室企画展「作家の手紙」
河骨の花によせて 赤迫 齊雄

五味オーディオ通信♪ 五味氏の
エアチェック・テープについて
次回・展覧会 練馬区独立70周年
記念展 石神井公園ふるさと文
化館分室特別展『生誕90年記念
藤沢周平と練馬』

今月の作品『四百字のデッサン』
野見山暁治・著/河出文庫

◆練馬古文書研究会会報
〒176-0022練馬区向山3-21 保戸塚太地方
TEL03-3999-8871 1985年創刊
www.7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/

◇59 2017.12 B5 4p
戸外学習 石神井公園周辺の史跡
を巡って 寒河江耕作
研究会報告 土支田村上組・村方
出入文書の解説 町田家文書か
ら
天の意思 tenno eshi 武田 健作

◆東日本部落解放研究所ニュース
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1863 1986年創刊
www.hblri.org

◇93 2018.2 A4 16p
第31回研究・交流集会開催
全体会《地元報告》千葉の部落
解放運動の現状と課題 吉田あ
けみさん 文責・石井昭一郎

全体会《記念講演》千葉県部の
落史—千葉県部落の記録保存運
動の取組みにふれつつ 坂井康
人さん 文責・渡邊泰男

第1分科会【歴史A】
佐倉市内の差別戒名墓石をめぐ
って 報告「佐倉領・飯田村
の被差別民—発見された差別
戒名墓石群—」坂井康人さん

／「差別戒名問題に取り組ん
で」我孫子高宏さん 文責・大澤一秋
本佐倉城築城と部落のはじまり
報告「千葉市の歴史と本佐倉
城築城」木内達彦さん／「本
佐倉城築城と部落のはじま

り」鎌田行平さん 文責・村田浩司
第1分科会【フィールドワーク】
本佐倉城跡フィールドワーク
ガイド：木内達彦さん 文責・増田公夫

第2分科会【教育】差別と向き
合う—子ども、若者たちに部落

のことをどう伝えるか 文責・松浦利貞
特集『東日本の部落史』完成!

◆府中市史編さんだより
府中市文化スポーツふるさと文化財課市
史編さん担当 〒183-0023東京都府中市宮
町3-1 ふるさと歴史館 TEL042-335-4376

2016年創刊
www.city.fuchu.tokyo.jp/bunka/bunka/shishihensan/
◇1 2016.3 A4 4p
新市史の編さんに期待するもの 高野 律雄
新しい市史を編さんするにあたっ

て 坂詰 秀一
最近の話題から 2月27日「府中
市遺跡調査会40周年記念事業
発掘でわかった昔の府中」

市史編さんコラム「武蔵府中郷
土かるた」
◇2 2016.11 A4 8p
ふちゅう温故知新(1)

分倍河原駅
部会長インタビュー「地域の歴史
を将来につなげる市史編さん
を」近世専門部会長・東京外
国語大学大学院教授 吉田ゆり
子先生

はっけん!ふちゅうのひと(1)
かぶらぎみなこさん
◇3 2017.3 A4 8p
ふちゅう温故知新(2)

朝日町周辺
部会長インタビュー(2)「さまざ
まな視点から地域の歴史を考え
てみる」中世専門部会長・早
稲田大学文学学術院教授 海老
澤衷先生

市史講演会開催報告 講座・パネ
ル展示「史料でみる近世府中の

歴史～四谷村と多摩川～
はっけん！ふちゅうのひと(2)
市川千秋さん

◇4 2017.11 A4 8p

ふちゅう温故知新(3)
四谷(よつや)

部会長インタビュー(3)「古代の
役人たちの生きざまから武蔵国
府を考える」 原始・古代専門
部会長・日本大学文理学部教授
中村順昭先生

講演会 平和のつどい講演会「命
の便り」といえる軍事郵便を説
む」を聴いて 近・現代担当
はっけん！ふちゅうのひと(3)
市川裕太さん

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学日本常民文化研究所内
TEL045-481-5661 年5000円
mingu-gakkai.com

◇156 2017.11 B5 108p

〈第41回日本民具学会大会報告〉

第41回大会公開講演・シンポジウ

ム「民具研究と民俗文化財」の

趣旨 小川 直之
基調報告 民俗文化財の誕生 菊池 健策
報告

民俗文化財と博物館、民具研究
ーコレクションをどう活かす
か 内田 幸彦

博物館と民俗文化財ー「野州麻
の生産用具」(国指定重要有
形民俗文化財)の調査・収集・

活用を通して 篠崎 茂雄
民俗文化財整備の中の民具実測
ー問われる技術 外立ますみ

第41回日本民具学会シンポジウ
ム「民具研究と民俗文化財」
をとおして 榎 美香

『会津農書』唐箕使用初出否定説
批判ー『和漢三才図会』・『会津
農書』の解説 内藤 大海

島根県とその周辺の伝統的養蜂ー
ミッドウの設置方法と形態に視
点をおいて 宅野 幸徳

学校内歴史資料室における民具の
現状とこれからー学校文化財が
つなぐ学校・地域・博物館 羽毛田智幸

◆民俗建築 日本民俗建築学会

〒162-0843東京都新宿区市谷田町2-33
法政大学デザイン工学部建築学科内
TEL03-5228-1496 年9000円
www.folkhouse.org

◇152 2017.11 B5 133p

巻頭言 円い家展望 杉本 尚次
旧横浜生糸検査所の敷地における
施設利用の変遷に関する研究 石渡 雄士

2017年度大会発表研究論文
床暖房材による温熱環境改善と
遮音効果の研究ーアクアレイ
ヤーの実験 朴 賛弼

南伊アマルフィ海岸における集
落型市街地の住空間ーコン
カ・デイ・マリーニ市のバル
コニー付き住宅を事例として

稲益 祐太

事例研究 台湾黄金博物館区の
現状と祭礼 関 英夫
「すまい」としての京町家と祭

礼ー長江家住宅と祇園祭船鉾
との関係を中心に 佐藤弘隆／高木良枝

南アフリカの黒人居住区とその
生活様式 鈴木あるの

2016年度大会発表研究論文 ペチ
カ暖房を現代に応用した建物の
冬季における温熱効果ー温熱実

測による考察 金田正夫／出口清孝
聖福寺仏殿と古絵図 佐藤 正彦
民家野外博物館「紀伊風土記の丘」

での家庭科関連体験学習からの
一考察 千森 督子
陸前高田の民家における柱番付 菊地 憲夫

2017年度大会報告 一般社団法人
日本民俗建築学会第44回大会報
告 鈴木あるの

シンポジウム 基調講演
安房の分棟型民家(2) 日塔 和彦
民俗建築アーカイブ(13)

肇国記念館建設計画の挫折
民俗建築アーカイブ担当
One Shot Minka(20) 広島県八幡

高原のかあだて(茅立て) 長岡 正宏
View 民家(48)
広島屋根屋の棟造り 長岡 正宏

2016年度日本民俗建築学会学会賞
(佐藤重夫賞) 事務局
紙碑 塩谷壽翁先生を偲んで 谷内麻里子

新刊紹介
『巻雲一思谷・佐藤重夫賞の光跡』
佐藤重夫著 古川修文編 田口 和夫

『クチとオク 住まいの民俗学的
研究の一視座』 森隆男著 出口 清孝

◆洋学史通信 洋学史学会

〒182-8585東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電
気通信大学電気通信学部 佐藤賢一研究室
気付 TEL0424-43-5512 yogakushi.jp.org

◇29 2017.12 A4 12p

私と洋学 杉田玄白と心の旅 片桐 一男
私の研究 江戸時代の女医 鈴木 則子
自著紹介・私の研究 『備前岡山の

在村医 中島家の歴史』 松村 紀明
『洋学史研究事典』検討状況報告
／『洋学史研究事典』項目(案)

◆厚木市史たより

〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17
厚木市教育委員会文化財保護課
TEL046-225-2060 2010年創刊

◇17 2017.11 A4 4p

『厚木市史』民俗編(2)
村の暮らしについて 内藤 佳康
講の年次変化からみえるもの 平本 元一

◆馬の博物館研究紀要

馬事文化財団・馬の博物館
〒231-0853横浜市中区根岸台1-3 根岸競馬
記念公苑 TEL045-662-7581 1987年創刊
www.bajibunkajrao.ne.jp

◇20 2017.12 B5 80p

織田権力の交通・流通政策
ーその展開と実態 柴 裕之
伊達政宗と具足

ー「雪下胴」を中心として 竹村 雅夫
子規がルーツ、二人の競馬人に継
承された俳句秘話 日高 嘉継

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0013神奈川県小田原市南町4-1-24
松島俊樹方 年3000円 1961年創刊
odawara-shidan.hustle.ne.jp

◇252 2018.1 A4 28p

小田原紡績と神原富文(上) 植田 士郎
多古の地名考 柳川 明夫
明治の地図で井細田めぐり 話し

手・別生憲一さん／田浦湯の石
川ミツ子さんの話／飾屋の横溝
留さんの話

多古の悪ガキの思い出(3) 中村 泰良

小田原の郷土史再発見 伊勢宗瑞
 の小田原入城その秋は明応九年
 石井 啓文

二宮尊徳と『論語』(4) 岩越 豊雄
 旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝
 片岡日記 昭和編(12)
 昭和3年6月 片岡永左衛門
 「北条氏所縁の城」史跡巡り紀行 田中 豊

◆まくら女性史の会 Newsletter
 〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
 NPOセンター鎌倉気付
 メールボックス26 2013年創刊
 ◇48 2017.10 A4 2p
 方言の力、朗読の力 石崎 和子
 戦後初めて、小学校道徳教科書採
 択(1)
 文書館がほし〜い(11)
 文書館さまざま
 ◇49 2017.11 A4 2p
 《柴崎牛乳店の明治・大正・昭和
 ー歴史のクロスポイントを探る
 ー》を発表して 高階志津江
 文書館がほし〜い(12) 文書館と
 図書館…機能の分化と連携 (多和田)
 戦後初めて、小学校道徳教科書採
 択(2) (郡司)
 図書紹介 『アンナ・アーレント
 全体主義の起源』(NHK100分
 de 名著テキスト) 仲正昌樹著 (西)
 ◇50 2017.12 A4 2p
 Newsletter 50号になりました 曾原 糸子
 映画紹介 『ドリーム』 (高階)
 鎌倉婦人子供会館主催講演会「鎌
 倉近現代史をひもとく パヴロ
 バ姉妹の足跡ー女性史の視点か
 らー」報告 (曾原)
 図書紹介 『アンナ・アーレント

全体主義の起源』(NHK100分
 de 名著テキスト) 仲正昌樹著
 (2) (西)
 ◇51 2018.1 A4 2p
 寒中雑感 横松佐智子
 文書館がほし〜い(13) 人びとの
 「生存」を支える資料と歴史 (多和田)
 ◇52 2018.2 A4 2p
 核兵器廃絶へー理性とハートを結
 ぶ核兵器禁止条約 浦野 昭子
 文書館がほし〜い(14) 人びとの
 「生存」を支える資料と歴史(2)
 旧神奈川県立美術館鎌倉の近況 (横松)

◆県史談 県史談会
 〒243-0033神奈川県厚木市温水342
 内藤佳康方 TEL046-247-1751 1961年創刊
 ◇57 2018.1 A5 72p
 本厚木駅の南を走っていた鍋トロ
 千葉 弘
 鈴木房五郎の生涯とその人物像ー
 大磯町寺坂の墓碑(碑文)から 岩崎 稔
 厚木市小学校教育史(試案)
 ーミッシングリンクを求めて 小池 正春
 きりんど橋と桐堤堤 橋川 明
 民家の屋根葺材の茅入手について
 ー厚木市林の真茅講台帳から 平本 元一
 小野澤龍吉の筆跡とその周辺 荻田 豊

◆クロス 常民文化研究会
 〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
 西海賢二方 年1000円 1979年創刊
 ◇151 2017.11 B5 6p
 江戸・東京・東京の祭礼文化に民
 俗を読む(6) 富賀神社のまわ
 り(めぐり)御輿(富賀神社夏大
 祭) 西海 賢二
 ◇152 2018.1 B5 6p

江戸・東京・東京の祭礼文化に民
 俗を読む(7) 奥沢神社のお練
 り行事 西海 賢二

◆市史通信 横浜市史編集室
 〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中
 央図書館地下1階 TEL045-251-3260
 2008年創刊
 www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/
 ◇30 2017.11 A4 12p
 写真で見る横浜の戦後 羽田 博昭
 小型自動車競走・競艇・競犬
 ー開催されなかった公営競技 百瀬 敏夫
 ー100年前のエネルギー革新
 ー石油と発動機をめぐって 平野 正裕
 関係資料紹介 蚕業関係業界誌 平野 正裕

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会
 〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開
 港資料館気付(吉田律人・西村健)
 TEL045-201-2169 年3000円
 ◇78 2017.11 B5 4p
 第106回例会 合評会&企画展示
 見学会 第I部 石樽督和『戦
 後東京と闇市ー新宿・池袋・渋
 谷の形成過程と都市組織ー』合
 評会、第II部 横浜開港資料
 館平成29年度第3回企画展示
 「開港場横浜の原風景ー350年の
 歴史を探るー」見学会・横浜都
 市発展記念館平成29年企画展
 「ウォーターフロント・シティ
 横浜 みなとみらいの誕生」見
 学会/小研究会 首都圏災害史
 研究会、首都西郊研究会
 情報ネットワーク 展覧会情報
 会員インフォメーション 石樽督
 和『戦後東京と闇市』、牛米努『近

代日本の課税と徴収』
 ◇79 2018.2 B5 4p
 研究例会 第107回例会 報告
 鎮目良文 栗倉大輔『日本茶の
 近代史』の書評、櫻井良樹 横
 浜における最初期の茶貿易につ
 いてー中山元成とG・R・ホー
 ル、西澤美穂子・上山和雄 中
 山元成史料中のペリー来航関係
 記録について/2018年度総会&
 第108回例会 近現代遺産・戦争
 遺跡に関するシンポジウム(予
 定)/第109回例会 首都圏災害
 史研究会公開シンポジウム(予
 定)/小研究会 首都圏災害史
 研究会 首都圏災害史年表の作
 成準備、シンポジウム開催にむ
 けた準備/小研究会 首都西郊
 研究会
 情報ネットワーク 展覧会情報
 会員インフォメーション
 前橋学ブックレット(紹介) 手島 仁

◆湘南考古学同好会々報
 〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
 19-104 寺田兼方方 1980年復刊
 shounankouko.jimbo.com
 ◇149 2017.12 B5 28p
 奈良での幸運な出会い 染谷 七重
 続・卒論要約 中世鎌倉における
 転用陶片の用途の検討(2)ー「磨
 り常滑」を中心に 金馬 義郎
 心の考古学まで(13)-5 前方後円
 墳の築造に関する考察(5) 古要 祐慶
 心の考古学まで 付記 寺田 兼方
 「弥生人GO・濠・業!」ー権田原
 遺跡の環濠集落と方形周溝墓を
 見学して 菅野 博仁

『発掘された日本列島2017—旧石器時代から現代まで』見学記 梶山 昇
下寺尾官衙遺跡巡検記 成澤 亮
秋の勉強会 『古墳と埴輪の研究と発掘調査』を聴いて 原 喜一郎
2016年度藤沢市・隣接市町考古学関係主要出版物一覧 伊藤郭・編
◇150 2018.1 B5 20p
『第35回 藤沢市遺跡調査発表会』を迎えて 寺田 兼方
藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業区域内遺跡群 円行上
河内遺跡(No.359)遺跡 第3次調査 齊藤 武士
大庭引地(藤沢市No.464)遺跡 第一次調査 大坪 宣雄
誌上発表 用田大河内(藤沢市No.328)遺跡IV 土本 医
特別講演 イラクの遺跡の現状 —メソポタミア文明を訪ねて 小泉 龍人

◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106 1993年創刊 chimeipeople.co.jp
◇89 2017.12 B5 8p
時空という言葉に惹かれて 関 和彦
地名の誕生と消滅 岡松荘一郎
研究会発足一〇周年に新加入の方を迎えて出発 吉開 知治
県境を越えた「武田信玄狼煙会」の活動 原 董
金石乃交 村本外志雄
横浜市の「小字」を整理 井上 正明
初めて床下浸水を経験して 田中 弘倫

◆日本の石仏

日本石仏協会(発売:青娥書房)

〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-409 TEL0452-943-4409 年8000円
1977年創刊 ur0.work/su9s/
◇163 2018.1 A5 64p 2000円
里山の在所に映える石仏群(表紙の写真)(岐阜県下呂市田口交差点南路傍) 写真と文 中森勝之
巻頭随想 “日本の石仏”誌40年の足跡を振りかえる一目次・項目別分類索引一の完成から 坂口 和子
《特集 生祠・生祀》
生祠としての岩本石見守感恩塔 石田 年子
生祀となった即身仏と義民 加藤 和徳
昌言社・甘利社 岡村 知彦
桐生の生祀「三社明神」 平田トシ子
人見塚開鑿 仙石因幡守久俊(久
邦)の生祠 伊丹 伸七
柴山様一行田市の生祠 寺田 武司
石仏論考 鹿児島県の石造仁王像 高野 幸司
調査報告
埼玉県内に鳥の石像を訪ねて 長島 誠
石仏入門(17) 日待 門間 勇
名号塔の知識(28) 東北の名号塔 岡村 庄造
会員の広場
東信濃の女人釜念仏塔 岡村 知彦
「熊野勸心十界曼荼羅」と如意輪観音 三明 弘
各地の半僧様紹介 平井 一雄
第115回石仏見学会報告
東京都東村山市
日本石仏協会一泊見学会報告
静岡県富士山南麓 中森 勝之
第39回 石仏公開講座を終えて
第1講「板碑から知る中世」 講師:門間勇氏 中森 勝之
第2講「石に刻まれた文字の楽

しみ方—神仏に関わる漢字」
講師:大野邦弘氏 前川 勲
第3講「真宗と石仏」—聖徳太子南無仏と法蔵菩薩の造像の意図について神仏に関わる漢字 講師:尾田武雄氏 中森 勝之
第4講「アジア獅子像の展開」—中国の石獅を中心に 講師:川野明正氏 中野 高通

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 TEL0465-22-8852
年2500円 2003年創刊
hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/
◇58 2017.12 A5 120p 500円
甥に語る私の小伝
—少年期・教師期 岩本 実
日秀尼を訪ねて近江八幡市へ 今川 徳子
小田原仕法における天保十年の意義 尾上 武
国府津今昔(明治から昭和まで)(6)
森村商会ゆかりの森村別荘 武井 秀夫
私と柔道(1) 寒中初稽古 武田 敏治
川崎長太郎日誌(3)
抹香町カフェ街組合事務所 芳賀喜久雄
真言の人・空海(3) 茂木 光春
新刊紹介
『戦国姫様四〇話』あとがき(今川徳子著) 今川 徳子
『始まりの人』助言(茂木光春著) 岸 達志

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
◇597 (50-9) 2017.12 A5 24p 350円

安野唐箕について(一) 桂 眞幸
気仙沼地方のコリヨウと漁撈民具(1)—ハコメガネ(カガミ) 小野寺佑紀
民具短信 続・硝子製の刃を持つ 鑿節削り器 松本 友里
施設紹介
隠岐・西ノ島ふるさと館 樫村 賢二
◇598 (50-10) 2018.1 A5 24p 350円
らっきょう栽培農家の規模拡大と出荷調整用具 土田 拓
伝統工芸の記録化の現状 —原方刺し子を中心に 阿部 宇洋
下野敏見の民具研究—シリーズ 民具と出会う(3) 聞き手・本文構成 佐野賢治
民具短信
志鷹屋の家伝薬「万全湯」について 森 俊
わらび粉等の産業化による新しい山村振興 杉山 是清
◇599 (50-11) 2018.2 A5 24p 350円
小規模博物館の常設展示リニューアルに携わって 富田三紗子
安野唐箕について(2) 桂 眞幸

◆大和市史研究

大和市役所文化スポーツ部文化振興課
市史・文化財担当
〒242-0001神奈川県大和市下鶴間1-1-1
TEL046-260-5336 1975年創刊
◇40 2017.3 A5 90p
福田新道下外記明地蔵講中
廻り地蔵及び講中道具一式 坂本 要
大和市下和田の天津家長屋門について 津田 良樹
大和市の桶職人と道具について 鈴木通大/柏柳豊
講座 地震のはなし

一大和周辺の成り立ちと地盤 森 慎一

◆悠久
鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊

◇151 2017.11 A5 130p 680円
《特集 軍記物語Ⅱ》
口絵解説 絵で楽しむ軍記物語 松尾 葦江
エッセイ 悠久の中今 涼 恵
諸本論から文学史へ
—多様性の時代の代表文学 松尾 葦江
『将門記』と坂東平氏—不戦を尊
ぶ文学が描いた武人 佐倉 由泰
軍記物語の成立 野中 哲照
異端の軍記物語
—慈光寺本『承久記』考 大津 雄一
『大館持房行状』に見る五山僧の
『太平記』受容—『太平記』を利
用した家伝の作成 和田 琢磨
新田岩松家旧蔵の異本『鎌倉大草
紙』と上杉禪秀の乱—「東国」
の軍記・軍記物語 田口 寛
戦国軍記から実録物へ
—脇坂家の貂の皮をめぐる 山上登志美
武家と館 菱沼 一憲
八幡宮紹介 浜松八幡宮(静岡県
浜松市中区八幡町)
新刊紹介 『梁塵秘抄詳解 神分
編』永池健二編／『斎王研究の
史的展開』伊勢斎宮と賀茂斎院
の世界 所京子著
◇152 2018.2 A5 120p 680円
《特集 妙見信仰》
エッセイ 日本犬往事片片 卯木 照邦
妙見信仰—“星”の日本文化論 佐野 賢治
妙見信仰とその造像 林 温
秩父大宮妙見宮 甲田 豊治

千葉氏と妙見信仰—妙見縁起の成
立とその像容の変化について 丸井 敬司
八代妙見社 安田 宗生
相馬氏と妙見信仰 二本松文雄
大内氏と妙見信仰 平瀬 直樹
口絵解説 キトラ古墳天文図 若杉 智宏
八幡宮紹介 御器所八幡宮（愛知
県名古屋市中区和区御器所）
新刊紹介 『よくわかる皇室制度』
藤本頼生著／『富士に祈る』城
崎陽子著

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会
〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21
加藤導男方 1984年創刊

◇記念誌 2017.11 B5 101p
《創立35周年記念誌 壮志》
創立35周年記念誌『壮志』発行に
あたって 加藤 導男
創立35周年記念式典・祝賀会 (編・記)
創立35周年記念旅行 渡辺 京子
日々研究にいそしむあなたへのエ
ール 松尾 光
創立35周年記念レポート
特別寄稿 東国御野・大宝二年
戸籍にみるいわゆる高齢出産
者の年齢 松尾 光
常盤御前と子三人の末路 加藤 導男
『魏志』倭人伝と『日本書紀』蛭田 喬樹
鎌倉戦乱シリーズ(8) 宝治合
戦(三浦の乱—三浦一族の滅
亡)(中)—小競り合い“宮騒
動”とは 山崎 宣晴
「始皇帝の死」と「始皇帝陵考」
栗 光行

横浜歴史研究会思い出の記
横歴回顧録 竹村 絃一
我が横歴を語る 菅原啓一郎／

石関貞治 文責・高尾隆
横浜歴研二十五年一時のかたみ
藤盛 詔子
古歌を訪ねて(5)
「むらさき」の武蔵野 丹下 重明
「二宮尊徳」発表を終えて 大岩 泰
創立35周年記念旅行に参加して
楠木 静山
歴史に学ぶ 大瀬 克博
会員のひろば
横浜歴史研究会活動報告 竹村絃一・記
初めての「こども歴史教室」開
催 (編・記)
平成28・29年度行事報告
平成28年度定期総会開催 (編・記)
平成29年度春季歴史散歩
戦国の小田原城を訪ねる 佐々木文江
第6回横浜歴研落語会開催の報
告 (編・記)
創立35周年記念レポート
幻の宰相・宇垣一成 竹村 絃一
戦国期における諏訪家の滅亡 高野 賢彦
明治期の横浜の謡曲・能楽 近藤 政次
宇都宮城つり天井事件 熊川 誠
創立35周年記念エッセイ
ピンコロ倶楽部 瀬谷俊二郎
海軍オタク・海軍バカ始末記 古谷 多聞
雨の都筑区歴史散歩 丸山 雅子
三十五年・貴族とサラリーマン
西沢 昭
追悼文集
前部健三さんの思い出 藤盛 詔子
小野寺健司さんを偲ぶ 加藤 導男
横内重之さんへの追悼文 竹村 絃一
横浜歴研三十五年の足跡 (編・記)

中 部

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
www.geocities.jp/niigata_minzokugaku/
◇406 2017.11 A5 75p
村落の芸能として受容された門付
芸春駒—新潟県上越市三和区岡
田に伝わる春駒を事例に 西川 桂史
相撲取りと土地争いのための論点
整理—越後国蒲原郡花見村の
「水かけ地蔵」を導入に代えて 星野 岳義
幸福の国、中央アジア ブータン
の民俗紀行 広井 忠男
信濃川・阿賀野川流域の白髪水・
白髪水伝承 鶴巻 武則
十日町市峠の秋祭礼—農業環境の
変化と祭日の移動 石本 敏也
山形県鶴岡市で見た神社など 金田 文男
「軍貝之巻 松平流法螺大成素書」
について 野村 憲一
会員出版物 柄澤衛著『続・あい
や日本語—ことばノメモ帳—』
有志見学会 新潟鉄道資料館とに
いつ屋台まつり 鶴巻 武則
表紙写真 新潟県上越市三和区岡
田の春駒

◆新潟史学 新潟史学会
〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050
新潟大学人文学部史学研究室内
TEL025-262-6289 1968年創刊
◇75 2017.11 A5 138p 1000円
戦国期武田氏分国における戦争と
文書 武田 郁也
『和名抄』高本になく急本にみえ
る郷名の累計・再論 桑原 正史
春日社越後御師と上杉氏・直江氏
—「大宮家文書」所収文書の紹介 片桐 昭彦

三つの没落史観—『労働と日』、古
代エジプト第一中間期文芸、
『平家物語』 高橋 秀樹
資料紹介
北方文化博物館所蔵 長尾右門
文書 田嶋 悠佑
溝口家文書「高田城内御詰之面
々御米受取帳」の紹介 浅倉 有子
開港直後の新潟の状況—オラン
ダ国立文書館資料より 西田 泰民
動 向
新川底樋試掘調査概報
朝岡政康／諫山えりか
文化財保存全国協議会第48回新
潟大会「次代に引き継ぐ文化
財保存運動」が提起したこと
木村 英祐
公開市民シンポジウム「新潟か
ら戦争を考える」参加記 菅野 葉月

◆ふるまち良寛でまり庵通信

〒951-8063新潟市中央区古町通2-538
TEL025-378-2202

◇23 2018.1 A4 6p

種月寺坐禅会に参加して／良寛さ
んと種月寺／良寛さんゆかりの
石榴

付録 良寛遺墨シート 短歌

父の書けるものを見て 解説・小島正芳
一期一会 新潟良寛会

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊

◇159 2018.1 A4 20p

リレーエッセイ 良寛つれづれ(8)
良寛書「法華讃」 本間 勲

良寛遺墨鑑賞(7)

「とやま」宛書簡 此あはせ 小島 正芳

折々の良寛(48) 全国良寛会の法

人化について提案 長谷川義明

良寛の母おのぶと佐渡 山本 修巳

相馬御風の良寛(8)

孤独死がふさわしい 金子善八郎

良寛を敬慕した、悲劇の天才画家

・深林人(下) 柳本 雄司

備中良寛さん こころの寺めぐり

〔第四番〕高峰山大通寺 柴口 成浩

西行と良寛—その世俗との差(3) 山上 健

良寛 読書 勉学の詩歌 素描 吉田 福恵

大森子陽の子息求古について 竹内 登

岡山、玉島を歩く 柳本 雄司

二十年の歩みに感無量 岩室良寛

会が記念式典 土田 正栄

発足二十五周年記念で「貞心尼展」

を開催 中村由紀子

修行地の玉島で良寛展を開催 本間 勲

新刊紹介

新潟市所蔵『良寛・法華讃』—

中国と日本を通して禅文学の

至宝— 一仏向上の人・良寛

—初版(加藤儂一著)、『良寛

と貞心尼』新装版(加藤儂一

著) 坂上 義興

『良寛と会津八一』増補新装版

(小島正芳著) 柳本 雄司

良寛を訪ねて(8)

父以南の死地 京都・桂川 吉井 清一

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文
書館内 TEL076-434-4050 1954年創刊

◇184 2017.12 A5 70p 1300円

南砺市(旧井口村)所在の阿弥陀如
来立像について—平安中期天台

系如来像の一作例とその伝世環

境 杉崎 貴英

飛騨街道一里塚の検証 古川 知明

戦国期の布勢潟について 奥田 直文

史料紹介 現存最古の芦峠寺系

『立山大縁起』—『漸得雜記』所

収『越中立山縁起』について 山吉 頌平

史料紹介 天正十一年四月の羽柴

秀吉禁制 松山 充宏

研究余滴

本能寺の変・山崎合戦の周辺 高岡 徹

平成二十九年度研究発表大会発表要旨

越中国から見た律令期祭祀遺物

堀沢 祐一

白山麓の一向一揆と鳥越城 小阪 大

慶長期にいたる前田家中の分裂

と統合 岡嶋 大峰

江戸時代後期の富山・加賀両藩

の売薬商売について 兼子 心

最近の地方史情報 中条 充子

◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民
俗資料館内 年4000円 1974年創刊

◇89 2018.1 A5 20p

辺見じゅんの「民俗学」 中田 亮

気仙沼で見たこと、雑感 萱岡 雅光

富山県南砺市(旧福光町)刀利村、

下小屋の信仰生活 加藤 享子

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315富山県砺波市太田1770

尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1993年創刊

◇53 2017.12 A4 8p

富山市万願寺の兵法靈験加護不動

尊と丸岡善太郎 平井 一雄

日本石仏教会主催「第三十九回石

仏講座」に参加して 尾田 武雄

福井市毛矢白山神社の石祠など 滝本やすし

輪島市門前町にて 池田 紀子

「布施谷の石仏めぐり」報告

文山純子／松井兵英

バット地藏(福富地藏尊) 滝本やすし

◆日本学研究 金沢工業大学日本学研究所

〒921-8501石川県石川郡野々町扇が丘

7-1 TEL076-248-1100 1998年創刊

◇20 2017.12 A5 396p

『日本学研究』第二十号の発刊に

際して 平泉 隆房

中世前期における白山信仰日吉信

仰全国伝播についての一考察

(1)—畿内・山陽道を中心とし

て・補論 平泉 隆房

近世初頭における神宮御師の「御

師家」の相続と「御師職」の継

承について—幸福氏と村山氏と

の養子縁組を例に 谷戸 佑紀

C I E宗教課カンファレンスレポ

ートの研究(1) 清水 節

神社御幸における一員供奉につい

て 平泉 紀房

清水澄博士の君主観・元首観 川田 敬一

金沢工業大学における生涯学習特

別講義「教養のすすめ：しなや

かなコミュニケーション術」に

関する事例報告 長山 恵子

敬語表現学習と手紙作文作成を組

み合わせた単元づくり 石川 倫子

史料

熱田神宮編年史料(稿本)

中世十二 藤本 元啓

津軽版『中朝事実』 秋山 一実

『日本学研究』既刊総目次

◆地域と社会 佐藤弘

〒402-0005山梨県都留市四日市場902-3
2017年創刊
◇2 2017.12 B5 30p
勝山城にみる城郭から「歴史的公
共空間」への史の変遷 森屋 雅幸
古代・中世の都留氏について 佐藤 弘
近代山梨経済における日清戦後恐
慌(1897-1901年)の状況 深澤 竜人
書評
杉本仁著『民俗選挙のゆくえ』影山 正美

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803長野県飯田市鼎下山538
TEL0265-53-4670
www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html
◇91 2017.12 A4 4p
資料展示コーナーの紹介 飯田町
と水路―飯田に残る絵図から 千葉 拓真
飯田・下伊那の歴史と景観(6)
天龍村平岡のタテ道 樋口 貴彦
中学生職場体験学習
リレーミニエッセイ(11)
遠山地震から300年に思う 前澤 健
1枚の史料から
―職分を渡り歩く人 羽田 真也
◇92 2018.2 A4 4p
歴史研究所 移転先のお披露目式
を開催しました／地域史講座
「山里の景観と木材利用」を開
催しました
飯田・下伊那の歴史と景観(7)
清内路の水路と路地 樋口 貴彦
リレーミニエッセイ(12) あの夏
の日 in 飯田 山田風太郎「戦
中派不戦日記」 橋部 進
大平の歴史と古文書
―大平紙屋文書をよみとく 千葉 拓真

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円
◇1074 (65-11) 2017.11 A5 50p 550円
口絵 神子谷像は南信州最古の双
体道祖神 岡田 正彦
信州松岡氏と遠州井伊氏を繋ぐも
の―互いの存亡の危機を救い合
った二氏 手塚 勝昭
慶応三年上新井大火一周辺村々の
救済と援助を中心に 伊坪 達郎
宮下相次郎「事務日誌」(2) 下伊
那中学校(飯田高校の前身)開設
の舞台裏 松澤 英男
大鹿銅山公害事件と下伊那の青年
たち(1) 清水 迪夫
下伊那日録(2012年9～11月) 寺田 一雄
◇1075 (65-12) 2017.12 A5 50p 550円
口絵 北極星をつかさどる神
広拯院・妙見菩薩倚像 織田 顕行
和算と建白書草案―幕末維新期
田中多賀吉が遺したもの 原 一三
信濃の提碇 桐原 健
大鹿銅山鉱害事件と下伊那の青年
たち(1) 清水 迪夫
天竜川右岸の御社宮司神(3)
―伊那谷南部の小字から(3) 今村 理則
史蹟を訪ねて緑の旗は行く
伊那史学会史蹟探訪
南九州 宮崎・鹿児島の旅 原田 望
感動した南九州の研修 山内 尚巳
西都原古墳群と地下式横穴墓 岡田 正彦
知覧特攻記念館にて涙の再会 丸山 俊一
大西郷を憶う 鎌倉 貞男
南九州の旅に参加して 中島 逍遙
伊那 第65巻総目録
〈2017.1〉より〈2017.12〉まで
◇1076 (66-1) 2018.1 A5 50p 550円

《民俗特集》

口絵 七〇年前の飯田大火を今に
伝える土蔵 中山 京子
『遠山奇談』をめぐる史実と伝承
―東本願寺建築用材の供出をめ
ぐって 櫻井 弘人
松尾・森本家の正月行事 平栗 豊久
飯島町・桃澤家の正月行事―大正
から昭和中期までの覚え書 桃澤 匡勝
新嫁に贈るオソツツとショヲウブ
ハダキ 片桐みどり
上村下栗の自宅葬 中島 悦子
生家にみる生活の知恵一家のまわ
りに実のなるものを 神村 透
◇1077 (66-2) 2018.2 A5 50p 550円
口絵 帯川関所の女作場札のお手
つき石 山内 尚巳
飯田市上郷黒田原ノ城にあった飯
田の陸軍防空監視哨 原英章／中島正韶
天竜川右岸の御社宮司神
―伊那谷南部の小字から(5) 今村 理則
旧南信濃村南和田小学校での思い
出―校舎解体の時を迎えたこの
時に 竹村 元志
内山花火工場移転計画のこと 寺岡 義治
久保田正文氏の愛唱した 山霧狭
霧 桃澤 匡行
ルポ「飯田線の踏切」(11)
戦国の武将知久氏 佐古 新一
史蹟を訪ねて緑の旗は行く
第462回郷土巡礼 阿南町新野
と和合の歴史と地名を訪ねて

◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒399-4501長野県伊那市西箕輪3180
山口通之方 TEL0265-73-5538 年5000円
◇730 (61-11) 2017.11 A5 40p 500円
高遠に残る刀剣―高遠町歴史博物

館収蔵品などを概観する 林 洋一
『古今書院』創設者・西春近村出
身の橋本福松(6)―教員から実
業家へと歩んだその波乱の生涯
に学ぶ 三上 徹也
「青葉の笛」俳諧に学ぶ
―井月の詠句との関連 矢島 太郎
伊那谷のライチョウ
―民俗の窓を通して(30) 吉田 保晴
思い出の人・思い出の事(22)
山下清展の顛末 桃澤 匡行
ふるさとの子育て(31) 劣等感 大槻 武治
図説・上伊那の民俗(8)
ザザムシ漁(箕輪町) 三石 稔
◇731 (61-12) 2017.12 A5 40p 500円
《広域特集》
〈第42回上伊那歴史研究会県外実地踏査報
告 近江国と上伊那とのつながりを探る
―木地師発祥の地と近江の売薬を視点に〉
滋賀県への旅 田村 栄作
木地師発祥の地から学べる地域の
あり方 福澤 浩之
木地師資料館を訪ねて 氣賀澤厚典
台風の鈴鹿山地での思いがけない
出合い 久保田 誼
近江売薬と上伊那との関係や如何
に? 矢澤 静二
近江配置薬行商人・父のルーツを
訪ねて 竹若 康雄
紫香楽宮跡を訪ねて 内藤りつ子
信楽伝統産業会館を訪ねて 矢島 信之
目から鱗の銅鐸博物館 高木 幸伸
雑感 松澤英太郎
永源氏の里・紫香楽宮・大岩山銅
鐸博物館を巡って 橋爪 平治
歴史研究の進歩を実感 池上 昭
文化短信 美郷地区に残る戦争遺
物の活用 矢島 信之

『伊那路』第61巻総目次 平成29
 (2017)年/訂正 上伊那郷土研究会
 図説・上伊那の民俗(9)
 かさんぼこ(飯島町日曾利) 三石 稔
 ◇732 (62-1) 2018.1 A5 40p 500円
 《井月特集》
 二人の風狂俳諧師一路通と井月 正津 勉
 幕末の高遠文化と進徳館一井月を
 受け入れた文化的流れ 笹本 正治
 2016・2017年の井月発見句 矢島 太郎
 伊那における相馬御風と良寛さん
 小原 洋一
 古文書の窓(131) 村の参使、山
 の口明け日の伝達を失念 三浦 孝美
 文化短信「全校囲碁教室」伊那
 西小学校 有賀 弘
 会長退任のごあいさつ 清水 満
 ◇733 62-2 2018.2 A5 40p 500円
 描く紋、縫う紋 中崎 隆生
 信州の石工たち一天明の大飢饉供
 養碑の日本史上の白眉 飯嶋増
 右衛門の生涯と名もなき石工の
 優れた石仏 松橋 由雄
 戦国時代の殿島城(伊那市東春近)
 築城時期の推測 北原 昌弘
 思い出の人・思い出の事(23)
 飯島町の「お陣屋まつり」 桃澤 匡行
 伊那市が取り組む古い地名調査(9)
 竹松 亨
 図説・上伊那の民俗(10)
 ホンダレ様(箕輪町富田) 三石 稔

◆伊那民俗
 柳田国男記念伊那民俗学研究所
 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
 飯田市美術館内 TEL0265-22-8118
 年3000円 1990年創刊
 inaminkenhome/blogspot.jp

◇111 2017.12 B5 8p
 表紙 専照寺の豊川稻荷/専照寺
 (飯田市伝馬町)の除夜の鐘 今井 啓
 板木が語る地域のコミュニケーション
 ヨーナー飯田市座光寺の事例から
 松上 清志
 飯田下伊那の足型ストップマーク
 一道路に対する住民意識と安全
 への祈り 今井 啓
 第1回伊那民俗研究集会を開催 宮下 英治
 下清内路の手作り花火を訪ねて 内山 文世
 報告「新野の雪祭りと折口信夫」
 近藤 大知

◆信濃 信濃史学会
 〒399-0036長野県松本市村井町南1-28-35
 年10200円 TEL0263-58-1213
 www.shinano-shigakukai.jp
 ◇814 (69-11) 2017.11 A5 78p 1150円
 満洲開拓青年義勇隊教学奉仕隊と
 教員たち(上)―『宮下功「満洲
 紀行』を通しての検討 本島 和人
 富岡式蒸気機械製糸技術を地域移
 転した長野県西條村製糸場(下)
 一指導的役割を果たした横田教
 馬・大里忠一郎・海沼房太郎を
 中心に 上條 宏之
 古代信濃における瓦窯の検討 倉澤 正幸
 戦国期武田氏による下伊那地域の
 領主支配 早苗 寿雄
 ◇815 (69-12) 2017.12 A5 86p 1150円
 地域特集「高井郡の中世」
 一族一揆再考―一門評定の再検
 討を中心に 呉座 勇一
 市河信房の生涯と計見郷への本
 拠地移動 樋口 和雄
 一六世紀後半高井郡における地
 域間交流―上州境を中心に 村石 正行
 室町～戦国初期の須田氏について

て 花岡 康隆
 戦国期武田氏発給文書の右筆につ
 いて 柴辻 俊六
 『信濃』第69巻総目次
 ◇816 (70-1) 2018.1 A5 80p 1150円
 《民俗学特集号》
 胡桃沢勘内の郷土教育論 伊藤 純郎
 屋敷神と稲荷信仰
 一関東地方の事例を中心に 牧野 眞一
 衝考―時間と空間の境界に立つ
 異人 加藤 秀雄
 十夜の歴史性と民俗性―千葉県富
 津市竹岡・松翁院を例に 芳野 貴典
 第三回地方史講座 武田将士起請
 文の提出とその後の肅清 市川 包雄
 地域情報 柳沢遺跡発掘調査報告
 書刊行五周年記念展示会「掘る
 しん in 中野」開催のお知らせ
 ◇817 (70-2) 2018.2 A5 84p 1150円
 日本近世花火の分析基準
 一技術書・触書・浮世絵 福澤 徹三
 満洲開拓青年義勇隊教学奉仕隊と
 教員たち(下)―『宮下功「満洲
 紀行』を通しての検討 本島 和人
 島津忠久の出生伝承を考える(上)
 石川 勝義
 群馬県碓氷川流域における古墳時
 代中期の展開―古東山道ルート
 の検討 石丸 敦史
 古代日本の自然観―自然と人間の
 かかわりあいの歴史 櫻井 秀雄

◆辰野町資料 辰野町文化財保護審議会
 〒399-0427長野県上伊那郡辰野町中央1
 辰野町教育委員会事務局文化係
 TEL0266-41-1681 1951年創刊
 ◇116 2018.1 B5 23p
 忍び・隠密 小池 悟志

伝統を守り、時代が求める技を磨
 く 横田 栄一

◆千曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
 〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
 上小教育会館内 TEL0268-24-2182
 年3000円 1974年創刊
 ◇164 2017.11 A5 57p
 豪農早川権弥と明治の自由民権運
 動 北原 明文
 真田・仙石時代における上田城の
 一考察 倉澤 正幸
 中山道鉄道開通を見こした明治中
 期の軽井沢における開発行為―
 軍馬育成牧場と避暑・別荘地 江川 良武
 歴史随想
 信州を過ぐ(1) 小林 正男
 太郎山山麓の農村災害史 芦田 哲明
 古文書解読講座 第155回 寺島 隆史
 扉写真と解説 小諸市指定文化財
 小諸城建物絵図 小諸市教育委
 員会所蔵 牧野 和人

◆長野 長野郷土史研究会
 〒380-0905長野市七瀬南部14-7
 TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
 www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
 ◇308 2017.12 A5 64p 800円
 表紙解説
 上田映劇(上田映画劇場) 小林竜太郎
 口絵 特集 記憶の風景 松本に
 映画館があった10の場所
 特集 長野県各地の映画館
 戦後長野県における映画館の開
 館・閉館・名称変更―長野市
 ・松本市の地域について 小林竜太郎
 松本にあった映画館 蒲原みつき
 瀬下敬忠の未刊稿本(4)

長月日記 矢羽 勝幸
漱石夫人の熊本時代の写真
一信州人の遺品から見つかる 中田 敬三
郷土史の視界(11)
弥勒信仰と善光寺 小林 一郎
生きた町の歴史を知ろう(14)
山とつながった長野の町 小林竜太郎
京都・浄福寺と三河スーパー絵解
き座の絵解き 小林 玲子

◆長野県民俗の会会報

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐
2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
年5000円 1978年創刊
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇40 2017.11 A5 141+64p
民俗学における女性研究—長野県
民俗の会総会講演覚書 倉石あつ子
花と盆そして…—愛知県北設楽郡
東栄町におけるくらしと芸能 浅野 久枝
松本市安曇稲核諏訪神社祭典で上
演される村芝居(稲核座)につい
て 小原 稔
鬼無里神社春季例大祭における曳
き子の変化 樋口 明里
都市祭礼における鳶の変貌
一熊谷うちわ祭を事例に 市東 真一
松本地方の御柱祭にみる地域性
一山辺谷の木作りを中心に 太田 真理
上巳節句贈答の変遷
一安曇郡大町村の場合 小野 和英
「安曇野は道祖神のふるさと」と
いうイメージの形成 窪田 雅之
石のイメージ—石神と道祖神 倉石 忠彦
長野県民俗の会 活動年表

◆長野県民俗の会通信

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐

2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇262 2017.12 B5 10p
小林寛二氏の逝去を悼む 酒井 依
シルバータイムテレビドラマ『や
すらぎの郷』にみる老人の生き
方像 安藤 有希
第207回例会 倉石忠彦氏の研究
発表を拝聴して 窪田 雅之
松本市今井の仁王塚 木下 守
◇263 2018.1 B5 10p
都市化する老人(3)
一老熟の力再考 倉石 忠彦
平成29年度総会記念講演会参加記
平成29年度総会記念講演会に参
加して 市東 真一
『長野県道祖神碑一覽』の刊行に
ついて 福澤 昭司
自然石道祖神探訪顛末記—『長野
県道祖神碑一覽』のための写真
撮影 小原 稔
平成29年度総会概要報告 (三石)

◆長野市公文書館便り

〒380-0801長野市箱清水1-3-8
長野市城山分室内 TEL026-232-8050
www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/
◇30 2017.4 A4 4p
長野市インターネットテレビ番組
「ふるさと長野～カイズくんの
歴史探訪～」紹介 各回のテー
マ/番組の動画画面の紹介
長野市インターネットテレビ番組
「ふるさと長野～カイズくんの
歴史探訪～」の場面より
祝 来館者1万人達成!!/旧和紙
公園のデジタル化始まる!
◇31 2017.7 A4 2p

水内郡下駒沢村の善光寺地震の被
害
長野市制120周年記念パネル展開
催
古文書紹介 「南部図書館文書」
から『各藩馬印』
◇32 2017.10 A4 2p
古文書の修復
パネル展の案内 「市制120周年に
寄せて 長野市の歩みとひろが
り」/講演会の案内 「ふるさと
のアーカイブ(保存記録) 長野
の社寺建築と彫刻」
古文書紹介 大正13年(1924)箱清
水の湯福神社境内で行われた奉
納相撲(草)で行われた奉納相撲
(草)で行われた奉納相撲(草相
撲)の番付表と、大関藤ノ川と
若常陸の取組図です。依田康資
文書

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜県岐阜市大宮町2-18-1
岐阜公園内 TEL058-265-0010 1985年創刊
◇98 2018.2 A4 8p
表紙 企画展「ちょっと昔の道具
たち」
加藤栄三・東一記念美術館での26
年間を振り返って 熊崎 勝利
企画展「ちょっと昔の道具たち」
企画展「タイムスリップ!大むか
しのくらし」
加藤栄三・東一記念美術館「制作
の舞台裏から本画へつづる 所
蔵作品展」
博物館ニュース 特別展「レオナ
ルド×ミケランジェロ展」を終
えて

館蔵資料紹介 唐花象嵌鏡(吉田
コレクション) 桃山時代 長
さ30.5cm・高さ25.5cm

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 年2000円 2007年創刊
www4.tokai.or.jp/~child-c-j/
◇124 2017.9 A4 4p 300円
勅祭 石清水祭 吉川 祐子
◇125 2017.10 A4 4p 300円
島田大祭の衣裳について 鈴木 利明
◇126 2017.11 A4 4p 300円
島田大祭と例祭
一三百年後をみつめて… 片川 徹
◇127 2017.12 A4 4p 300円
続・島田大祭の衣裳について 鈴木 利明
川越制度ミニ知識 島田市博物館
◇128 2018.1 A4 4p 300円
日野法界寺の裸踊り
冬が本番裸踊りや裸参り 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡県市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円
◇471 2017.12 B5 4p 100円
宮城県東部域往来記(2) 海軍の
地下潜伏は早い!と思いません
か?(2) 一條 三子
鷲尾家資料調査に参加して 羽間 昭夫
論文紹介 千地健太氏「静岡の
塔」建設運動と沖縄戦認識」
(『史海』第64号 2017年5月) 村瀬 隆彦
◇472 2018.1 B5 4p 100円
1月例会レジュメ 静岡育英会の
研究—徳川宗家・旧幕臣・静岡

県 原口 大輔
雑誌・図書紹介 『地域と社会』
No.1、戦争遺跡研究会『年魚市
風土記』2017 第9号、清水啓
介氏『東海軍管区の防空陣地』村瀬 隆彦
下伊那訪問記 小池 善之
◇473 2018.2 B5 4p 100円
2月例会レジュメ 「啓蒙時代」
の日本：真の中立国家を目指せ
るのか？ 国民の意思はどこに
あり得るのか？ ダリウス・グレニジ
紹介 大沼俱夫『三島市・清水町・
沼津市住民の石油化学コンビナ
ート阻止運動と三島市の今後の
課題 東レ公害の解決をめざし
て』などで出版、2017年 沼尻 晃伸
『2017 平和のための富士戦争展
の記録』

◆静岡県地域史研究会報

〒421-3103静岡市清水区由比750-306
北村啓気付 年4000円 2011年創刊
◇216 2018.1 B5 4p
三条西家の呼称について 土屋比都司
10月例会報告要旨
在国の公家正親町三条公兄の足
跡 土屋比都司
「小山評定」再々論
一白峰旬氏の新説に接して 本多 隆成
11月例会報告要旨
王権と遠江井伊氏 原田 千尋
堀川一揆の真実 森田 香司
◇217 2018.2 B5 4p
駿河大河内氏の追加報告 小林輝久彦
12月例会報告要旨
「給主」からみた伊勢神宮領荘
園の構造―御厨・御園を中心

に 山本 倫弘
野田浩子著『井伊直政』を読ん
で 小和田哲男
1月例会報告要旨
明治初年の旧韭山代官江川氏と
「御囲地」 今村 直樹
戦国期における今川氏の城館に
ついて―主に発掘調査・縄張
研究からみた今川氏の城館の
特徴に関する一考察 望月 保宏

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
web.thn.jp/s-folklore/
◇166 2018.1 A4 6p
平成29年度第2回例会
富士毘沙門天大祭見学会 (松田)
第1回例会報告 大村和男「松野
のポッカ様と別所―中世の産
鉄、産金開発をめぐる―」、
富山昭「地名の話―小字名の成
立事例―」 (大嶋)
平成29年度 ジュニア講座報告 (外立)
雑録 静岡県方言語彙集録―静岡
県史民俗調査報告書1～20集よ
り 富山 昭

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方 TEL054-286-8659
◇150 2017.12 B5 16p
おかげさまで150号！
みんなの力でつなげた150号！
会報第一五〇号を祝う 太田 晴道
祝 一五〇号発刊 鈴木 康弘
会報第一五〇号を祝して 篠原 旭
第117回研究会 福島隆氏の「今
城塚古墳を訪ねて」(今城塚古

墳と継体天皇とその時代)の概
要／佐藤吉男氏の「お地蔵さん
について」の概要／松本検氏の
「物語にみる『安寿と厨子王』」
の概要
晩秋の東駿河路を楽しむ 古代浮
島沼周辺巡り 日帰り史跡めぐ
り 大川 誠一

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
◇256 2017.11 A5 32p
熱田雑集(12) 太田 正弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧
(13) 小久保雅広
今出川実種の紀行と献詠 辻村 全弘
◇257 2018.1 A5 28p
年頭の御挨拶 小串 和夫
熱田雑集(13) 太田 正弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧
(13) 小久保雅広

◆蓬左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市中区徳川町1001
TEL052-935-2173 1980年創刊
housa.city.nagoya.jp
◇95 2017.12 A4 8p
蓬左文庫典籍研究会の発足 手嶋 大侑
展示室1・2 企画展 奇才、我
が道をゆく―達磨・布袋・一休…
展示室1・2
企画展 ひなを楽しむ
柳河春三は伊藤圭介の養子だった
のか？ 木村 慎平
表紙 金城温古録 奥村得義・定
編 66冊 31.0×21.3cm 木村 慎平

◆まつり まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円 1961年創刊
◇79 2017.12 A5 120p 3000円
《特集 天王信仰》
戦国・織豊期における津島社の動
向と信仰のひろがり 羽柴 亜弥
天王信仰の展開と全国の天王祭礼
行事 佐藤 路子
津島代官に宛てられた尾張津島天
王祭関連文書一同文書による造
花献上儀礼 江木 淳人
尾張津島天王祭の閏六月祭礼につ
いて 黒田 剛司

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇592 (57-6) 2017.11 B5 8p 600円
天念寺修正鬼会 天野 卓哉
靈遊岩繪にみる史前の宗教的観照
―北海道フゴッペ洞窟の綾刻岩
繪の解讀上の問題(6) 水原 渭江
民俗芸能情報 神楽のなかの祭
儀・呪術・神話(公開講演会と
シンポジウム)
新刊紹介 南信州民俗芸能調査報
告書1 新野の雪祭り 南信州阿
南町新野雪祭等資産化事業実行
委員会刊／新修豊田市史17 別
編 民俗Ⅲ 民俗の諸相 新修
豊田市史編さん専門委員会編集
民俗芸能情報
椎葉村嶽の枝尾神楽の演目
表紙写真のことは 西表島祖納の
シティ(節)アンガー 沖縄県竹
富町祖納 坂本 要
資料情報

能登アエノコト関係資料
 ◇593 (58-1) 2018.1 B5 8p 600円
 表紙写真のことは
 長野善光寺朝拝式堂童子儀礼 坂本 要
 埼玉・元旦の獅子舞 桑崎の獅子
 舞/池上の獅子舞 石川 博司
 史前岩繪にみる鳥神の散華唄一北
 海道フゴッペ洞窟の綫刻岩繪の
 解讀上の問題(8) 水原 渭江
 トヨタ自動車にみる顕彰習俗
 一佐吉と喜一郎と 天野 卓哉

◆もりやま 守山郷土史研究会
 〒463-0075名古屋市守山区市場15-12
 道木正信方 TEL052-791-2304
 年3000円 1982年創刊

◇37 2018.1 B5 176p
 口絵 昭和五十三年の新聞折り込
 み広告
 守山城の西の防衛線(堀切)と「明
 和の洪水」 加藤 武彦
 本地ヶ原の名古屋飛行訓練所 伊東 重光
 山田郡彷徨(5)一桑の木連想 徳田百合子
 算法稽古大成 西尾 春子
 資料紹介
 寛文七年 尾張藩条々 道木 正信
 小幡村御觸留(28)一明治八年
 御用留(5) 守山古文書の会
 春日井郡大森村文書(2) 道木 正信
 守山郷土史研究会の歩み(37)
 守山郷土史研究会
 変貌する瀬戸線(9) 荒川 康彦

◆皇學館大学研究開発推進センター年報
 〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
 TEL0596-22-6466 2015年創刊
 www.kogakkan-u.ac.jp

◇4 2017.11 A4 145p *事業報告のみ

近 畿

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団
 〒520-0806大津市打出浜15-1
 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊
 www.biwako-arts.or.jp
 ◇162 (42-1) 2018.1 B5 96p 584円
 《特集 近江商人の知恵》
 情報にいち早く着目した近江商人
 木村 至宏
 近江商人の新しい見方 宇佐美英機
 現代近江屋考 加藤 賢治
 近江商人屋敷の知恵
 聚心庵、野口忠藏家、萬松園
 文・植田耕司/写真・長井泰彦
 大津京、万葉をうたう(7) 天智
 天皇鎮魂の歌
 文と曲・林博通/画・鈴木靖将
 談話室(21)「FMおおつ」開局 古田 誠
 ぶらり近江はっけん伝(3) 地名
 を解くと歴史が甦ってくる。昔
 のむかし、セピア色のふるさと
 …… 岸野 洋
 インタビュー 湖と生きる 千日
 回峰行を達成した 釜掘浩元さ
 ん 聞き手・植田耕司/写真・長井泰彦
 みちくさ近江(4) 万人に宇宙を
 伝えた人たち(大津市桐生〜岡
 山・長島愛生園) 三宅 貴江
 おもしろ近江考古学(14)
 大津城と金箔瓦 松浦 俊和
 北から南から
 『車石』のお話しに昔を偲ぶ 松村 太平
 お地藏さんの社が壊れる 大木 文雄
 笑顔をテーマに洋服を制作 伊東 晃
 曳山の舞台上で名演技 眞壁 四郎
 歴史の玉手箱(6)
 「国宝」誕生の軌跡 県政史料室

近江の懐(5) 北国街道長浜宿
 加藤賢治/石川亮
 芸術研究家 待(まつ)文麻呂の芸
 能話(3) 南京玉すだれ
 三角点の山と私(15) 身近な山
 泰川山(松尾寺山) 久保 豊和
 蓬萊山尾山(沖島) 鬼頭 剛

◆戦国史と人 女風林火山
 戦国史と人を学ぶ会/武田勝頼・松姫探究
 会 〒520-0528滋賀県大津市和辻高城289-
 11 首藤義之方 年1400円 1987年創刊

◇61 2018.1 B5 86p
 《特集 続・本能寺の変と武田松姫(下)》
 本能寺の変に遭遇した「彌助」
 一織田信長・信忠父子の首は何
 処に葬られたのか 首藤 義之
 本能寺の変と茶屋四郎次郎清延
 一京都屋敷の位置と彼の役割に
 ついて考える 首藤 義之
 戦国史・重要史料紹介―[呉服師
 由緒書(茶屋四郎次郎の項)]を
 読む 首藤 義之
 虚構だった「神君(徳川家康)伊賀
 越え」伝説―三通の徳川家康感
 状を読み説く 首藤 義之
 本能寺の変と春日局一八切止夫説
 (徳川家光の生母説)の復権 首藤 義之
 戦国史新聞記事の切り抜き(2017
 年5月~2017年10月)(19件)

◆彦根城博物館だより
 〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
 TEL0749-22-6100 1988年創刊
 www.hikone-castle-museum.jp
 ◇119 2017.11 A4 4p
 テーマ展 麗しの雅楽器
 筆築 銘梅薫丸 当館蔵

展示案内 12月~3月 常設展示
 “ほんもの”との出会い彦根
 藩井伊家伝来の大名道具を中心
 に八〇点あまりを展示、テーマ
 展 展示室1 麗しの雅楽器、
 テーマ展 展示室1 彦根藩主
 井伊家の印章、特別公開 展示
 室1 雛と雛道具、テーマ展
 展示室1 柳桜をこきまぜて一
 柳と桜のデザイン
 直彌、花押作成の工夫 早川 駿治

◆京都民俗 京都民俗学談話会
 〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96
 仏教大学文学部 八木透研究室気付
 TEL075-491-2141 年4000円 1984年創刊

◇35 2017.11 A5 227p
 折口信夫、戦後「神道宗教文化論」
 を読み直す―「神社本庁」との
 かかわりを起点に 斎藤 英喜
 小田内通敏の郷土研究の再検討
 『綜合郷土研究 茨城県』に注目
 して 由谷 裕哉
 「清光館哀史」の旅―柳田國男の
 女性史学の転換点 武笠 俊一
 中世後期京都における談義の展開
 長崎 健吾
 浄土神楽と法性神―蘭牟田神舞
 「花舞」をめぐる 星 優也
 「家の名」の名付け
 一祖名継承の再検討 柿本 雅美
 災害からみる現代的な村の共同供
 養―滋賀県甲賀市信楽町多羅尾
 を事例として 湯 紹玲
 現代の神社祭礼におけるダンジリ
 の再検討―南河内の二神社の事
 例から 濱田 時実
 北野上七軒花街(かがい)の芸の実

態 中原 逸郎
笠鉾とその流れ—山・鉾・屋台の
祭り研究拾遺 I 植木 行宣

◆古代史の海 「古代史の海」の会
〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9
上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊
www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/

◇90 2018.1 A5 64p 1500円
私の邪馬台国九州説 中村 修
公孫氏政府による東夷支配の正統
論的根拠 三浦 啓伯
「方～里」表記をめぐる(4) 中村 修
アンデス通信(43) 宗教画修復技
師ハイメ・ロサンさんとの出会
い 市木 尚利
大化前代の河川両岸「同一地域」
感への新知見 尾関 章
記紀神話の歴史的形成過程の考察
(2)一主構造と従構造 河越 尚司
百済観音の飛鳥時代(13)
飛鳥時代の政治と仏教(4) 山下 輝幸

◆史迹と美術 史迹美術同致会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
https://www.shibikai1930.com
◇880 (87-10) 2017.12 A5 36p 916円
山川均著『石塔造立』を評する
—伊派石大工・大蔵派石大工・
宝篋印塔の起源を中心として 木下 浩良
塔心礎の排水機能に関する研究(3) 内藤 仁
第1036回例会
丹後・天橋立を訪ねて 藪田 夏雄
史迹美術同致会「石造美術勉強会」
第39回 大津市 坂本里坊の石

造美術
史迹と美術 第87輯(871~88号)
総合目録
◇881 (88-1) 2018.01 A5 36p 916円
日本庭園・石造美術あれこれ(1)
椿山荘般若寺型石燈籠(上) 尼崎 博正
塔心礎の排水機能に関する研究(4) 内藤 仁
第1037回例会 新緑の丹波篠山の
文化財を訪ねる 畚野 博行
第27回「石造美術勉強会」報告
滋賀県石山から京都府宇治田原
へ 山根 祥司
◇882 (88-2) 2018.2 A5 34p 916円
桓武天皇柏原陵の所在について
(上) 加藤 繁生
塔心礎の排水機能に関する研究(5) 内藤 仁
第1038回例会 東三河の在銘仏と
鳳来寺を訪ねて 水野 孝文
第28回「石造美術勉強会」報告
石川県能登半島の石造美術と庭
園 安田 成

◆史談福智山 福知山史談会
〒620-0883京都府福知山市本堀1430
中村邦夫方 TEL0773-22-2737
◇784 2017.7 B5 4p
追鳥狩(おいとりがり)について 塩見 昭吾
歴史街道余話(3) 芦田 精一
コラム 大垣家所蔵「祈祷師の版
木」など 岡垣 清己
歴史に学ぶ「人の生き様」
—歴史と地縁と知縁なり 芦田 八郎
◇785 2017.8 B5 4p
福知山史談会・緑陰講座(一宮神社
・8月27日)「一宮さんと朽木綱
貞」について 講師:史談会会

長 山口正世司 文責・岡垣清己
深泥一人百首「本能寺の変」の
発端?(3)「本能寺の変」の発
端?(4) 尾松 克己
◇786 2017.9 B5 4p
川狩り・狩猟の好きな殿様、松平
忠房 塩見 昭吾
コラム
鳥獣供養塔について 岡垣 清己
光秀が返した茶杓 大槻 伸
深泥一人百首「本能寺の変」の
発端?(5)「本能寺の変」の発
端?(6) 尾松 克己
◇787 2017.10 B5 4p
「鼻ぐり」について 岡垣 清己
高吉神社の九鬼隆一扁額について 大槻 伸
◇788 2017.11 B5 4p
丹後二俣村の庄屋 佐古田廣文

◆丹波 丹波史談会
〒622-0042京都府南丹市園部町栄町3-3-2
上野榮二方 1999年創刊
◇19 2017.11 A5 106p 1000円
藁無高山城物語の謎 河原 信之
天正十二年小牧・長久手合戦と丹
波国衆 福島 克彦
龍隠寺蔵『五百羅漢像』復刻版 小島 寛
室町期丹波国の権力構造に関する
一考察—丹波国隼人保を事例と
して 飛鳥井 拓
年表 延徳の丹波一揆(後) 若江 茂
塩谷古墳と丹波畿内の古墳 湊 友三郎
丹波猿楽梅若家の日吉を訪ねる 山本 和美
牧山の松明行事 浅田 徹雄
菅原修長『誠意』について 上野 榮二
資料紹介
天神伝説と生身天満宮(3) 上野 榮二

「天下橋掛替之儀 覚」・「御巡見
様御通光相働候一件」 浅井 義久

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町
14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2002年創刊
kyotochimei.wix.com/kyotochimei/
◇60 2017.12 A4 7p
第47回地名フォーラム報告
講演 宇治茶と地名 桑原善助
商店社長 桑原秀樹 桑原 秀樹
第48回地名フォーラム開催案内
発表「宇治を歩く」(前回フォ
ーラムの続き) 梅山秀幸氏
開催報告 2017年度 地名ウォー
ク 宇治木幡に藤原氏遺構を訪
ねる (い)
地名随想
北山の山名(9) 小寺 慶昭
寺のつく地名(13)
妙満寺町と妙満寺前町 清水 弘
寺のつく地名(14) 万寿寺町 清水 弘
開催報告 高槻市三箇牧公民館主
催 講演会「高槻の地名あれこ
れ」 小寺慶昭氏

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/
◇360 2017.12 B5 12p
「根来出城図」覚書—安井澄彦氏
旧蔵文書の内容確認 海津 一朗
佐野と近辺の里謡(後) 北山 理
岡本町歴史散策(4)
船岡神社の祭神について 立石 元
和泉の中世城郭(53) 井田 寿邦

たそがれの泉州弁(34) 中野 恒一
◇361 2018.1 B5 12p

戦国期の供養帳と供養塔―根来寺
岩本坊と長滝竹ノ花墓地板碑 廣田 浩治
史料紹介 幕末の判じ物 井田 寿邦
明治初期の地誌書に見る泉州(8)
―日本地誌提要 (2)「日本地誌
提要」に見る泉州地域(1) 岸田 修一
岡本町歴史散策(5)

船岡神社を調べました 立石 元
たそがれの泉州弁(35) 中野 恒一

◇362 2018.2 B5 12p
鳥取自動車旅行の思い出(1) 仲谷 栄一
岡本町歴史散策(6)

船岡神社の祭礼、行事、宮座 立石 元
和泉の中世城郭(54) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(36) 中野 恒一

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所
〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2
大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333
1980年創刊
www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=871

◇86 2017.12 A5 97p 700円
表紙 絵はがき「大阪御堂筋全景」
(大阪市史編纂所所蔵)

建物にみる御堂筋の80年 橋寺 知子
四天王寺別当の成立と十禅師 山口 哲史
伊能忠敬の神崎川通測量
―大坂・淀川から神崎川へ 片山 早紀
日本に初めて映画を持ち込んだ男
―大阪の実業家、荒木和 武部 好伸
史料紹介 遺稿「志乃婦草」

關 一/解題・堀田暁生
みおつくし 千日前の火災 相良真理子
史料収集彙報 雨宮原村文書/樋
屋製菓文書/平野小学校学校通
信/松寄家文書/鹿島正右衛門

文書
◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com

◇400 (34-12) 2017.12 B5 8p
巻頭言「神のおやしらのこと」(26)
「御霊神社」 和久 敦也
平成29年11月例会報告(第375回)
「漂流史話」―漂流から見た日本
人の知恵(古代編①) 片倉穰氏
(報告 小池・井川)

平成29年秋の見学会 大阪歴史懇
談会・兵庫県歴史研究会合同見
学会「京都の御霊と応仁の乱」
(報告・和久)

会員の書評「室町幕府崩壊 将
軍義教の野望と挫折」(森茂暁
著 角川選書) 加藤 照也

◆かいづか文化財だより テンブス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1
TEL072-433-7126 1996年創刊

◇64 2018.2 A4 8p
岸和田藩と関係のあった貝塚市域
の寺院
民俗芸能の課題に関する意見交換
会・交流会 第59回近畿・東海・
北陸ブロック民俗芸能大会(大
阪大会)
第112回かいづか歴史文化セミナ
ー 貝塚市立善兵衛ランド開館
25周年事業プレイベント 講演
会「岩橋善兵衛ゆかりの浪花
“知”の巨人 博物学から文人画

まで―木村兼葎堂とその生涯」
を開催/『貝塚市の70年』を読
む会 秋の記念講演会 今井小
の実さん「貝塚市における織維
工業の軌跡と女性労働者―『貝
塚市の70年』編纂の調査を通じ
て」

岩橋善兵衛と望遠鏡(4)―善兵衛
をめぐる人びと(2)/貝塚市立
善兵衛ランド開館25周年イベン
トを開催
古文書講座―市内にのこる身近な
古文書 殿様御成/相良城請取
と七人庄屋―開催中

◆家系研究協議会会報
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/

◇63 2018.1 B5 8p
菊池氏と菊地氏 馬原 浩一
家系研究協議会 平成29年度 総
会及び春の例会報告「石田三
成と佐和山城」田附清子氏 (馬原)
珍名さんいらっしやい(56) 眞野 幹也

◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円

◇817 2017.12 A4 8p 300円
下北山探訪―修験を支えた山村 池田 淳
乙訓古墳群とその周辺の古社寺(2)

―小畑川下流域の遺跡探訪 泉森 皎
◇818 2018.1 A4 10p 300円
志摩観光ホテル―その誕生と建築

川島 智生

大和国中の文化財 森下 恵介
◇819 2018.2 A4 12p 300円
百舌鳥と古市、二つの古墳群をつ
なぐもの 一瀬 和夫
倭姫命の伊勢巡幸(2)―伊賀国 岡田 登

◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/

◇588 2017.12 B5 20p
11月・第649回例会の報告 近江
日野 鎌掛城と音羽城を訪ねて
担当幹事：坂本昇・中西徹 中西 徹
高腰(たかうす)グスクを訪ねて 坂本 昇

別冊 第650回 平成29(2017)12
月3日 近江信楽 多羅尾の城
を訪ねて 案内講師：中井均教
授(滋賀県立大学) 担当幹事：
森田又一・藪西旭

◇589 2018.1 B5 22p
11月・第650回例会の報告 近江
信楽 多羅尾代官陣屋と砦跡を
訪ねて 担当幹事：森田又一・
藪西旭 森田 又一

伝統的の石積み技術からみた織豊系
城郭石垣の変遷 藪西 旭

◇590 2018.2 B5 24p
1月・第651回例会(総会)の報告
1月・講演会の報告「大和郡山
城天守台改修・発掘工事成果に
ついて」講演：十文字健氏

報告・川端義憲
第651回例会 研究発表の報告
「福井城はこんなにおもしろい

！」 報告・栢木隆
肥前 名護屋城を訪ねて 木下 修二
別冊 第652回例会 平成30年2月

4日 大和 高取城を訪ねて
担当幹事：中西徹・平川大輔

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208
小川滋方 月1000円 1988年創刊
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇358 2017.11 B5 20p
帝紀・旧辞とは何か 塚口 義信
『播磨国風土記』とその神々(上)
一在地神と異境の神 荊木 美行
◇359 2017.12 B5 14p
女帝と讓位～皇位継承の展開 水谷 千秋
狭山池博物館を訪ねて 加藤 豊子
◇360 2018.1 B5 18p
片山神社(吹田市出口町)の絵馬と
ご由緒
葛城氏研究の現状と課題一考古学
からみた葛城集団の実像 藤田 和尊
2017年7月バス旅行
桜井・宇陀の遺跡を訪ねる 山口 久幸
◇361 2018.2 B5 18p
「山陵田」の存在と五条野丸山古墳
今尾 文昭
馬見古墳群南部の諸古墳を訪ねる
古高 邦子
読書室 小田康徳『川西の歴史今
昔』一猪名川からみた人とくら
し 紹介・西川寿勝
宣教師のDNA 石塚 一郎

◆ヒストリア 大阪歴史学会
〒558-8585大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪
市立大学大学院文学研究科 岸本直文研究
室気付 1951年創刊
www.historia-osaka.on.arena.ne.jp
◇265 2017.12 A5 254p 1800円
《2017年度大会特集号》

部会報告 考古
古代西日本の集落遺跡 道上 祥武
南河内における七世紀の集落変
遷 安村 俊史
ミニシンポジウム 討論記録 山田 暁
部会報告 古代
平安時代の仁王会 内田 敦士
部会報告 中世
南北朝・室町期における醍醐寺
三宝院と根来寺 橘 悠太
室町幕府侍所と京都 松井 直人
部会報告 近世
近世大坂市中と大坂湾における
舟運の構造一上荷船・茶船の
実態を通して 井戸田史子
明治初期東京における町会所の
解体と貧困救済=統制 ジョン・ポーター
部会報告 近代
一八八〇年代における旧刑法改
正案と条約改正交渉一司法省
と外務省を中心に 大庭 裕介
犬養毅・立憲国民党の地方基盤
一大正期「第三党」構想の前
提 久野 洋
報告
『文化審議会文化財分科会企画
調査会 中間まとめ』に関す
る見解』の公表にあたって
大阪歴史学会
旧真田山陸軍墓地、落下した墓
碑片の調査と保管 小田 康徳
ピースおおさか展示リニューアル
ル続報(14) ピースおおさか
リニューアル裁判と実行委の
取組 実行委員
◇266 2018.2 A5 109p 900円
細川持賢と室町幕府
一幕府一地域権力交渉と在京活

動の検討から 川口 成人
明治初期の備荒貯蓄と民間社会
一滋賀県の事例を中心に 大月 英雄
評制の展開と国司・国造 堀川 徹
わたしたちの文化財
東弓削遺跡(由義寺跡) 樋口 薫
書評 片山正彦著『豊臣政権の東
国政策と徳川氏』 中村 博司
新刊紹介
稲葉伸道編『中世寺社と国家・
地域・史料』 三好 俊
牛込努著『近代日本の課税と徴
収』 藤田 裕介
報告 淡輪ニサンザイ古墳の護岸
工事の見学 大澤 嶺

◆歴史考古学 歴史考古学研究会
〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16
奥村隆彦方 TEL072-331-6679
年3000円 1978年創刊
◇74 2017.11 B5 84p
匠瑛市西光寺の石造資料とその背
景 早川 正司
福知山市小牧の荒神跡石造物に
ついて 崎山 正人
京都・大阪の七墓参りについて 奥村 隆彦
瓦の考古学
一動作連鎖の概念で観る 栗田 薫
韓国梵字資料調査(2013・2014年調
査)(上) 東アジア梵字文化研究会
紹介 『縣敏夫板碑拓本集成図録』
PDF版 全三巻 村田 和義

◆史料ネット NEWS LETTER
歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部内 TEL078-803-5565
年1000円 siryo-net.jp

◇86 2018.2 A4 16p
ある資料整理作業の現場から考え
たこと 吉原 大志
文化財保護法改正にむけての動き
をめぐって 若尾 政希
文化財保護法改正問題をめぐって
「文化審議会文化財分科会企画
調査会中間まとめ」について
(パブリックコメント)
歴史資料ネットワーク運営委員会
文化財保護法の改定に対し、よ
り慎重な議論を求める声明
日本歴史学協会ほか27学協会
2017年度歴史資料ネットワーク総
会・シンポジウムの記録「被
災資料整理ボランティアのあり
方を考える」に参加して 新宮 由真
第12回地域史卒論報告会 参加記
地域史卒論報告会を経た今 福永 志摩
地域史卒論報告会に参加して 上原 駿一
「第19回火垂るの墓を歩く会」に
参加して 川内 淳史
大船渡被災資料整理作業 継続中
です! 吉原 大志

◆撰播歴史研究 撰播歴史研究会
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊
◇74 2017.11 B5 4p
撰播歴史研究会 創立三十五周年
記念式典を開催 廣瀬 明正
「創立三十五周年記念式典を開く」
(「神社新報」平成29年11月6日)

◆地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要
〒660-0881兵庫県尼崎市昭和通2-7-16
総合文化センター7階 TEL06-6482-5246
1971年創刊

www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp
 ◇117 2017.11 A5 193p 850円
 「尼崎長吏文書」からわかること
 一解説にかえて 藤本清二郎
 「俳諧之連歌」に見る維新期の哀
 感—尼崎長吏文芸史料の紹介 松本 充弘
 大学COC+シンポジウムの記録
 地域歴史遺産としての怪異伝
 承—『尼崎百物語』を起点に
 「COC+事業『地域創生に応
 える実践力養成 ひょうご神
 戸プラットフォーム』〈歴史と
 文化〉領域」の取り組みにつ
 いて 村井 良介
 怪を語れば“ふるさと”へ至る
 一怪異学と地域創生 大江 篤
 尼崎の耳なし芳一伝説 堤 邦彦
 怪異・妖怪伝承とデータベース
 一『尼崎百物語』の意義 久禮 旦雄
 伝説の継承とその主体 小池 淳一
 尼崎のこと 寺内 邦夫
 画家・荻原一青氏—山下栄図書館
 長と阪本勝知事 藤井 千年
 加賀藩の武術流派「無拍子流」と
 石田太郎氏文書 小泉美江子
 史料紹介
 史料編 尼崎の古代・中世—史
 料と研究(4) 尼崎市史古代・
 中世史料補遺(4) 天野忠幸／樋口健太郎
 新出の杭瀬庄絵図をめぐって 樋口健太郎
 応仁の乱と尼崎 天野 忠幸
 寛文期の尼崎城及び城下町改修
 について 室谷 公一
 『尼崎市史』を読む会特別企画—講
 演とシンポジウム
 記念講演 市制一〇〇周年記念
 の新「尼崎市史」ってどんな
 本? 岩城 卓二

質疑応答とディスカッション
 岩城卓二／大江篤／
 三宅奈緒子／網本武雄
 書評 尼崎市制一〇〇周年記念
 新「尼崎市史」『たどる調べ
 る尼崎の歴史』『尼崎の歴史
 ダイジェスト版』
 市史のつくり方
 一深化する尼崎の歴史 荒武賢一郎
 「新市史」を通して考える—自
 治体史をめぐる歴史実践 人見佐知子
 「新市史」をひもとく 武田 壽夫
 書評『尼崎の歴史ダイジェスト
 版』—「分かりやすく、コンパ
 クトに」をめぐる 森本 米紀
 あまおぶね連載(1)
 武庫庄旧春日神社跡地 田中 敦
 ◆西宮文化協会会報
 〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
 西宮神社内 ℡0798-33-0321
 ◇597 2017.12 B5 8p
 未振出に終わったのか展□造銀目
 札? 藤田卯三郎
 「西宮」保存箱、玉手箱(48) 奉祝
 の仮装—情報公開課資料より 豊田 みか
 西宮ゆかりの人物—ノーベル平和
 ・文学賞候補だった賀川豊彦 山下 忠男
 香榎園浜・御前浜今昔物語(3)
 海岸の移り変わり 村岡 和繁
 ◇598 2018.1 B5 8p
 『四足歩行の道中記』秋の見学会
 一西播粟の森と歴史の旅 小野 篁
 西播粟の森と歴史の旅 西宮文
 化協会、秋の見学会 江寄健一郎
 「西宮」保存箱、玉手箱(49) 会
 館ビル—情報公開課資料より 豊田 みか
 ◇599 2018.2 B5 8p

ゑびす音頭 藤田卯三郎
 香榎園浜・御前浜今昔物語(4)
 海岸の移り変わり 村岡 和繁
 「西宮」保存箱、玉手箱(50)
 市民館—情報公開課資料より 豊田 みか
 『一遍上人絵伝』を紐解く
 一上人と産宮参り 堀川 利弘
 ◆LINK 地域・大学・文化 神戸大学大学院
 人文学研究科地域連携センター年報
 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
 ℡078-803-5566 2009年創刊
 www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/
 ◇9 2017.12 B5 144p
 《特集 地域歴史文化をめぐる〈場〉
 一つながりを生み出す環境づくり》
 特集にあたって 編集委員会
 村が経糸、会が緯糸となって織り
 成す〈場〉としての栄村歴史文
 化館 石野 律子
 三木市における地域歴史文化の
 〈場〉—三木古文書研究会と市史
 編さん 進藤輝司／川内淳史
 石川家文書をとりまく〈場〉—朝
 来市生野町の取り組みから 井上 舞
 青野原をめぐる地域連携とハブス
 ブルグ史研究—15年目の総括 大津 留厚
 史料紹介 明石市立文化博物館所
 蔵黒田家文書「慶応四戊辰年日
 記」 前田 結城
 フィールドレポート
 永上古文書同好会の活動の経緯
 一結成から区有文書目録の完
 成まで 永上古文書同好会
 尼崎市制一〇〇周年記念『たど
 る調べる尼崎の歴史』に刊行
 一尼崎市の市史編集事業の総
 括として 辻川 敦

富松城跡の保存と活用による地
 域づくりの取り組み 善見 壽男
 LINKを読む
 外国史は地域に貢献しうるか?
 大黒 俊二
 生きられる場としての地域社会
 木原 弘恵
 時評・書評・展示評
 『たどる調べる尼崎の歴史』—自
 治体史編さんの視点から 大槻 守
 地域史を通じた「専門知の民主
 化」の結晶—『たどる調べる
 尼崎の歴史』を読んで 佐藤 大介
 『石川道子著作集 近世西摂津
 の都市と農村』 八木 透
 白水智著『古文書はいかに歴史
 を描くのか—フィールドワー
 クがつなぐ過去と未来』 小野塚航一
 活動報告
 『阪神・淡路大震災資料集Ⅱ
 住吉の記憶「住吉西区」と阿
 弥陀寺』の刊行 水本 有香
 人文学研究科古文書室架蔵文書
 群の紹介(6) 木村 修二
 人文学研究科古文書室収蔵文書
 一覧(2016年度購入分) 木村 修二
 ◆歴史と神戸 神戸史学会
 〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
 田中印刷出版内 ℡078-871-0551
 年3000円 1962年創刊
 ◇325 (56-6) 2017.12 A5 49p 600円
 《特集 ひょうごの中世史研究》
 永和の播磨国矢野荘惣荘一揆—惣
 結合と守護勢力浸透の再検討 金子 琴子
 近衛家を救った藤原邦綱と平信範
 中島 豊
 増位山は姫路城を支えている—一速

報 近世・増位山石切丁場概要
報告 増田 行雄
地域から
「下張り」が伝える明治の空気 武田 壽夫
新聞新聞地域版を読む 神戸新聞
の文化財記事(2014年3月27日～
4月17日) 大國正美/有吉康徳

◆大美和 大神神社

〒633-8538奈良県桜井市三輪
TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp
◇134 2018.1 B5 80p
古事記と日本書紀と一二書の相違
点を捉えて、その意味を問う 菅野 雅雄
古墳時代の祭祀と信仰 森下 章司
南北朝期の興福寺強訴と戒重西阿
一いわゆる三輪勝房をめぐる
大藪 海
第14回三輪山セミナーイン東京講
演録 古代の大三輪と伊勢・出
雲の神々 岡田 莊司

◆熊野 紀南文化財研究会

〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657 年3000円
1969年創刊
◇153 2017.12 A5 59p
『熊野古道をゆくⅢ—私の備忘録』
(4)「田辺の言葉(方言)には、
敬語が存在しないのか?」とい
うことについて 宮本 恵司
史料翻刻・解題 南方熊楠宛野手
耐書簡(下)—昭和天皇の神島臨
幸をめぐる県知事からの手紙 岸本 昌也

◆熊野情報 熊野歴史研究会

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
新宮市役所商工観光課 山本殖生

TEL0735-23-3333 年3000円
◇208 2017.11 B5 2p
名取に行ってきました 9月30日
から10月2日/那智山記念シン
ポジウム/シン垣サミット in
熊野 2017/シンポジウム「中
世熊野の港湾遺跡、新宮津を考
える」

◆高野山大学図書館紀要

〒648-0280和歌山県伊都郡高野町高野山
385 TEL0736-56-3835 1997年創刊
◇1 2017.3 B5 85p
『高野山大学図書館紀要』発刊に
寄せて 前谷 彰
岡本かの子と「遍路」—「円融無碍
の諦め」(高野山大学図書館蔵
『遍路』所収)をめぐる 野田 直恵
資料紹介
「高野山之図」
一寺院名と描かれた人物 石原友希恵
「高野山圖書館開館式之辭」 吉川 慧
平安・鎌倉時代の古典席奥書拾
遺—その1 木下 浩良
菅家史—氏所蔵の満洲高野開拓
団及び高野山開拓団古写真 木下 浩良
新刊紹介
『遍路』復刻版 全三巻・別冊
(解説:下西忠)
前川彰著『ブッダの教え—真訳
・スッタニパータ』
加藤咄堂編『現代知識教化講習
録』復刻版 全五巻(解説:
山口幸照・宮城洋一郎)
Kazuo Kano, *Buddha-nature and
Emptiness: rNgog Blo-Idan-shes-
rab and a Transmission of the Ratn
agotravibhīga from India to Tibet.* 可能 和雄

◆国際熊野学会会報

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市
教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
年3000円 2005年創刊
◇28 2018.1 B5 4p
木のもとのすみか 中西 満義

◆和歌山地方史研究 和歌山地方研究会

〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312
江本英雄方 年3000円 1980年創刊
wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp
◇74 2017.12 A5 76p
特集1 蘭田香融先生の業績をふ
りかえる
特集にあたって
古代史研究の手法と構想力 西本 昌弘
仏教史研究の成果と特色 原田 正俊
岩橋千塚の成立とその背景 富加見泰彦
紀伊半島の宗教と文化財 竹中 康彦
蘭田香融先生「和歌の浦史」の
研究 藤本清二郎
特集2 芸芸員のおしごと
特集にあたって 近藤 壮
市町村の芸芸員—郷土の歴史の
エキスパートを目指して 木谷 智史
古文書から探る地域の歴史—文
献資料をあつかう芸芸員のお
しごと 小橋 勇介
お城の芸芸員—「探る」・「守る」
・「伝える」 新谷 和之
水族館の博物館のおしごと 揖 善継
ふどきのおかの芸芸員
一学校資料と民俗文化財 藤森 寛志
ふどきのおかの芸芸員—岩橋千
塚の整備と埋蔵文化財 佐々木宏治
美術館芸芸員の仕事—もの、ひ
と、ことをつなぐこと 奥村 一郎
人と物と場をつなぐ

—仏像レプリカを作る理由 大河内智之
紀の川の舟運と他所米の流通 笠原 正夫
新刊紹介 額田雅裕著『絵図で読
む荘園の立地と環境』 永田 義一
動向 2017年度和歌山県内展覧会
情報(追録)

中国・四国

◆郷土石見

〒697-0017鳥根県浜田市原井町1023-9
森脇晋平方 1976年創刊
◇106 2018.1 A5 140p 1200円
表紙写真 秦記念館の菊花展
文・永本恵子/写真・森脇晋平
石見銀山料政治の陰と陽—なぞ石
見銀山料の民は誇りを持ってい
たのか 森脇 登
中世の日原(下) 岩崎 健
石見の遺構「今福線」を探る(2) 河野 靖彦
吉賀三郎右衛門一件の謎 鍵本 俊朗
物部神社の古代史(下) 長尾 英明
富長山八幡宮別当鎮国院調査 裙坂庄之進
旧浜田藩邸の「庭園」・「掬翠亭」
及び「御便殿」関係記事集録 岩町 功
文芸 群読劇「クスの葉風」 金子サダ子
町から村から
石見国の大国のことなど 大崎 直彦
井原いきざま総合研究所 神田 恵介
郷里点描(4)—鎌手の瓦工場 田中 寿朗
久代のお大師講 山崎 重子
追悼 森脇傳先生を偲ぶ 片岡 尊宏
平成29年度石見郷土研究懇話会
美都大会 報告 岩町 功
第23回郷土石見文化賞
受賞にあたり 久守 藤男
◆大社の史話 大社史話会
〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1

稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円
1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp
◇193 2018.1 B5 48p
出雲大社の建造物シリーズ(9)
出雲大社瑞垣内の建造物について(1)一寛文度建立の建物
文化財建造物保存技術協会
日本遺産「日が沈む聖地出雲」特集(4) 蘭の長浜 昔と今 秦 和憲
大社から一記者が見たふるさと(1)
編集余話「巨大神殿のなぞ」 山崎 泰弘
消えゆくもの(57)一出雲弁(灘こ
とば) まみむめも 春木 芳子
大社の石造物(8)
安養寺の魚地藏と鯨の墓 藤原 慧
出雲と伊予の少彦名命(2) 曾根 弘輝
常設展期間限定展示「出雲の神楽
をささえる一林木屋神楽資料」
島根県立古代出雲歴史博物館
ギャラリー展「日本遺産認定記念
日が沈む聖地の考古学」
出雲弥生の森博物館
手銭記念館の四季 今年の「出雲
文化活用プロジェクト」から 佐々木杏里
ユネスコ無形文化遺産登録 戸畑
祇園山笠 奉祝吉兆行事参加記
録 水師 幸夫
平成29年(2017)7月~9月
出雲市大社町年表 編集部
◆宇喜多家史談会会報
〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
光珍寺内 TEL086-222-2028
年2000円 2002年創刊
◇65 2018.1 A4 10p
亀山城跡保存会の活動 矢部 隆正
『宇喜多秀家』執筆の背景と幾つ
かの史料紹介 大西 泰正

備前法華の成立と宇喜田家家臣団
(前号継承) 矢吹 壽年
物語直家記伝 西大寺辺の城
第36回 自立(13) 山重十五郎
秀家没後三六二年鎮魂祭
宇喜多家・前田家両当主が参列 菊池 まり
◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会
〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36
村上岳方 TEL086-942-6156 年1500円
1986年創刊
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
◇143 2017.12 B5 22p
塚村嘉伝太編著『剥復録』と西山
拙斎一備中・岡山藩における寛
政改革情報の受信をめぐって 別府 信吾
史料紹介 前田家編輯方収集にか
かる宇喜多氏関係史料について
大西 泰正
研究余録「雑事要録」に見える
備前国鹿田荘と備中国橋本荘 辰田 芳雄
安東靖雄さんをしのんで
元会長安東靖雄さんを追想する
定兼 学
安東靖雄先生の思い出 辰田 芳雄
◆岡山藩研究 岡山藩研究会
〒169-8051東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学教育学部 大橋研究室気付
okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813/
◇83 2017.11 B5 8p
〈第25回総会の記録〉 2017.7.15
報告要旨 岡山藩の自分位置と対
幕府交渉 山本 英貴
参加記
山本報告を聞いて 泉 正人
山本英貴氏の報告を聞いて 大森 映子
◇84 2018.1 B5 8p

〈第45回全体会の記録〉 2017.12.9
報告要旨 本庄宿戸谷家の小城藩
鍋島家への大名貸 大橋 毅顕
参加記
大橋毅顕氏の報告を聞いて 矢部 家崇
岡山藩研究会第45回全体会
参加記 児玉 憲治
◆岡山民俗 岡山民俗学会
〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14
難波俊成方 年4000円 1949年創刊
okayamaminzokugakkai.web.fc2.com
◇238 2017.12 B5 58p
西国三十三所巡礼開創縁起の原態
をめぐって 久下 正史
ノートルダム清心女子大学蔵「廻
国供養列絵巻」について 小嶋 博巳
資料紹介 佐藤清明宛柳田国男書
簡について 木下 浩
土佐の kappa 伝承について 永原 順子
◆岡山民俗学会会報
〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14
難波俊成方 年4000円
okayamaminzokugakkai.web.fc2.com
◇219 2017.11 B5 6p
平成29年度研究発表大会発表要旨
昭和の民謡伝承における地方と
中央一岡山民謡を事例に 山本 宏子
近世末備中大谷村における神楽
一金光教祖赤沢文治の信仰と
の関わりで 白石 淳平
岡山県における除虫菊の栽培と
蚊取り線香について 土岐 隆信
産業と信仰
一鹿兒島県のたばこ神社 加原奈穂子
学会記事 民俗歩く会：瀬戸内市
牛窓町千手 テーマ「土手山弘

法寺脚供養」、新見市新見 テ
ーマ「新見土下座祭り拝観」/
御影史学研究会との合同研究発
表会
◆きび野 岡山県郷土文化財団
〒700-0822岡山市北区表町1-7-15
TEL086-233-2505 www.o-bunka.or.jp
◇148 2018.1 A5 14p
年頭にあたって 波田 善夫
おかやま国際音楽祭 三村 晃弘
岡山の人物 熊田恰 西 雄大
岡山の自然 青木のシノキ 池田 和雄
岡山の文化財 香登教会 井上 靖子
わが町・わが村の自慢 川崎医科
大学現代医学教育博物館(倉敷
市松島)
ふるさとの思い出 世界記憶遺産
登録決定 朝鮮通信使の寄港
地・牛窓(瀬戸内市牛窓町)
石仏にいやされて 中野 英二
◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
hiroshima-u.ac.jp/geishi/
◇309 2018.2 A5 40p 600円
備後国の臨濟宗法燈派(安国寺・常
興寺・善昌寺)についての補訂 渡邊 誠
新刊紹介 青野春水『免・免相・
土免の成立と展開』 落合 功
広島史跡巡りの旅 第一回
東広島市西条地区編
新企画にあたって 文責・菊池達也
二神山城跡/鏡山城跡/三ツ城
古墳群/酒蔵通り/西国街道
四日市宿駅/安芸国分寺跡/

御建神社
 動向 広島県の地方史研究

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
 〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
 TEL084-953-6157 bingohistory.net

◇199 2017.12 A4 18p
 蔵王山に残る山城跡 会長 田口義之
 草戸千軒と水路(5) 一方居居館の
 出現と草戸千軒の滅亡 瀬良 泰三
 備後百景 世羅・甲山町 山口 哲晶
 調査報告 中世石造物の調査報告
 近世福山の歴史講座 福山城下の
 上水道 第三部 蓮池を発する
 上水路(2) 高木 康彦
 辻堂百景(15)
 福山市駅家町雨木「薬師堂」 秋山 由実
 榎木峠(5) 一天保の一揆未遂事件 根岸 尚克
 久山田村の天満祠と立花村の妙見
 神社 立花村の悲劇・その三〇
 〇年の記憶 峯松 俊彦
 田口義之の備後山城50選(22)
 三吉一族の城 丸山城跡
 郷土探訪 尾道レング建築物紀行
 岡田宏一郎
 大分便り 宗麟公まつり 後藤 匡史
 例会報告 向東を歩く2を終えて
 峯松 俊彦

◆みよし地方史 三次地方史研究会
 〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
 2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
 1987年創刊

◇104 2017.12 A4 12p
 「堀田家文書」をひも解く(6)
 酒蔵における「防火の心得」を
 読む 中畑 和彦
 近世後期、三次町における富籤興

行について(3) 天保11年(1840)
 7月の初回興行 立畑 春夫
 三次市内にある木製白馬 十日市
 若宮八幡神社に伝わる神馬 後藤千賀子
 後鳥羽上皇配流伝説と三次(下) 佐藤 功
 資料紹介 「備後国世羅郡敷名村
 尼子家文書」 編集部
 三次盆地の前方後円墳(13)
 段第四号古墳—調査報告 加藤 光臣

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
 〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32
 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇321 2017.12 B5 12p
 今月の各地 鎌ヶ谷市の市長さん
 下西 勝彦
 第39回広島県郷土史研究協議会
 三原地区大会終了 鈴木 健次
 山陽鐵道案内(完) 本郷駅 西村 雅幸
 レキカン秋の研修旅行
 黄梅院墓参の感想文(1)
 大徳寺黄梅院の小早川隆景の
 墓前にお参りして 桧山 幸三
 秋の研修旅行
 一大徳寺の勅使門を拝見 小森キヨミ
 糸崎の縄文遺跡(2) 大谷 和弘

◇322 2018.1 B5 12p
 今月の各地 新年挨拶 上田 嘉信
 三原の酒(1) 定森 總治
 糸崎の縄文遺跡(完結編) 大谷和弘
 秋のレキカン研修旅行感想文
 秋の研修旅行「京都大徳寺黄梅
 院日帰り旅行」に参加して
 余越紀之・繁美
 秋の研修旅行 京黄梅院を訪ね
 て 一瀬 尚志

◇323 2018.2 B5 12p
 今月の各地 新生の植音 山本 公恵

18代目をたずねて
 —アゼリアガイドの岡山研修 津島 敏子
 三原の酒(2) 定森 總治

◆伊予史談 伊予史談会
 〒790-0007愛媛県松山市堀之内 愛媛県立
 図書館内 1915年創刊

◇388 2018.1 A5 47p 750円
 江戸・大坂の和霊信仰 佐々木正興
 宇和島藩における正徳六年網方掟
 の成立について 山下堅太郎
 書評 四国地域史研究連絡協議会
 ・伊予史談会『四国の近世城郭』
 日和佐宣正
 新刊紹介 愛媛県歴史文化博物館
 編『高虎と嘉明—転換期の伊予
 と両雄』、一般社団法人今治文
 化振興会今治城編『今治藩の家
 臣団』、橋爪伸子著『地域名菓
 の誕生』 編集部
 郷土その日その日 自平成29年3月
 至平成29年9月 編集部(袖山俊夫)
 例会記事 第1228回～第1230回

◆小松史談 小松史談会
 〒799-1101愛媛県西条市小松町新屋敷甲
 3007-1 西条市立小松温芳図書館郷土資料
 室 TEL0898-72-5634

◇144 2018.1 A5 155p 500円
 人々の記憶「昭和の小松・町の変
 遷」 竹井 賢二
 名誉町民第一号
 医師 永野真平先生 石丸 敏信
 小松藩家老・喜多川家について 重松 二郎
 シリーズ・小松道物語(8)
 耕地整理と小松川 伊藤 敏昭
 四国遍路逆打ち体験記 般若心経
 とお大師さんと共に巡った四国

八十八ヶ所で得た心の平安と達
 成感 加藤 康明
 〈篤山遺稿〉の漢詩を読む(6) 温芳漢文学習会
 お殿様の御法事
 —佛心寺古文書より 黒河美佳子
 小松郷土史・人物雑感 越智 敏雄
 西条の甲冑
 企画展示の解説を兼ねて 友澤 明
 一条家の名刀 濱本 雄大
 「石根郷土かるた」案内 編集部
 第1回史跡巡り報告〈高知の新
 名所と市内歩き〉感想記 志賀 孝弘
 第2回史跡巡り報告
 今治方面～歴史と文化の旅 三宅 紗代
 コラム
 小松の歴史 4コマ漫画(2) 處友香(妙口)
 市指定文化財 仏心寺「絹本南
 明禅師像」(頂相) (石丸)
 市指定文化財 大頭村「佐伯大
 庄屋文書」 (石丸)
 小松の椿(2)「明石蓮」 越智 敏雄

九州・沖縄

◆季刊邪馬台国 梓書院
 〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1
 TEL092-643-7075 年5400円 1979年創刊

◇133 2017.12 A5 212p 1250円
 巻頭言
 知の統合で挑む神話の世界 編集部
 時事古論(6) 岡村秀典著『鏡が
 語る古代史』を読む 安本 美典
 〈総力特集 国津神のあしあと〉
 『出雲風土記』に現れた「古韓尺」
 新井 宏
 荒神谷遺跡再考—銅剣・銅鐸の埋
 葬法からみえること 平野 芳英
 青谷上寺地遺跡と因幡の神々 落合 久美
 淤字宿禰・野見宿禰伝承と倭王権

池淵 俊一
出雲の四隅突出型墳丘墓
一特に西谷3号墳を中心に
出雲の国の風土記の特徴について
田中 文也
(邪馬台国九州大会 in 熊本)
菊池川流域古代史サミット開催 荒木 信道
古代湖「茂賀の浦」と菊池川流域
の弥生遺跡 「狗奴国は、菊池
川流域にあったか」 中原 英
方保田東原遺跡の全容 中村幸史郎
邪馬台国と熊本 島津 義昭
菊池川流域のポテンシャル 河村 哲夫
自著を語る 『邪馬台国は熊本に
あった!』-「魏志倭人伝」後世
改ざん説で見える邪馬台国 伊藤 雅文
神社仏閣・縁起めぐり
「おいなりさま」伏見稲荷大社 編集部
世界遺跡巡り(13) 竹幕洞祭祀遺
跡-「神宿る島」宗像・沖ノ島
と関連遺産群 井上 修一
オトナ女子のコラム
晴れ、ときどき、古代史 藤江かおり
私の邪馬台国論
後漢書「狗奴国はあった。」 後藤 幸彦

◆九州史学 九州史学研究会
〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学文学部日本史学研究室内
TEL092-642-2375 1956年創刊
www2.lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/
◇178 2018.1 B5 60p
天智・天武朝の氏上制について 竹井 良介
寛政期朱子学者の教学思想の論理
と意義-広島藩儒頼春水の主張 伊藤 大輔
書評
小川弘和著『中世的九州の形成』

渡邊 誠
森弘子・宮崎克則著『鯨取りの
社会史 シーボルトや江戸の
学者たちが見た日本捕鯨』 古賀 康士

◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
◇212 2017.12 B5 20p
観音菩薩立像 東松浦郡玄海町有
浦下 東光寺 志佐 惲彦
三万年前の日本列島は?
一上場文化圏の幕開け 堀川 義英
明治維新の悲劇-佐賀と唐津(1)
“戊辰戦争は日本人同志の戦争
だった” 中里 紀元
上松浦党史料
『有浦文書』について(1) 青木 隆
上松浦に於ける松浦黨 吉村茂三郎
古文書紹介 『若殿様御直達書写』
山田 洋
読み下し
『平松儀右衛門道中日記』(3) 久我 圭子
熊野路を訪ねる旅 松本 和典

◆浜木綿 五島文化協会
〒853-0052長崎県五島市松山町604-10
筑田俊夫方 TEL0559-74-2667
◇104 2017.11 A5 140p
五島における戦後と米軍占領行動
について 深尾 裕之
父の復員が終戦 巨海 基代
新「図書館」に望む 坂井 淳
京の片隅で 伴 靖子
五島藩の大坂蔵屋敷一五島と上方
のモノ・カネ・人の往き来をた
どる 内海 紀雄
酷寒のカナダに五十年・回顧(2) 比留木忠治

五島を通った遣唐使(7)-旻楽埼
を目指した最後の承和の遣唐使
櫻井 隆
資料編 富江城下古語 崎 修

◆石の証言 「八紘一宇」の塔を考える会
〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方
年2000円 1995年創刊
https://hakkouitiunotoujimdo.com
◇81 2017.11 A4 12p
石の証言 東京海軍協会 60×60
安山岩
「共謀罪」と密告社会(4) 「R帝
国」に見る恐怖の“近未来” 南 邦和
「八紘一宇」の塔見学者から寄せ
られた感想 土岐 宗春
書籍の紹介 安食文雄『歴史家に
なる方法 昭和モダンの歴史家
に学ぶ』 追立 敏弘
紀元二千六百年、「八紘一宇」を
問う 反骨のジャーナリスト
桐生悠々(2) 野崎 眞公
◇82 2018.1 A4 12p
石の証言
朝鮮癩子防協会 45×60
日中友好民間交流のちから 追立 敏弘
広島 ノーモア 九条 土岐 宗春
出水戦跡交流集會に参加して 佐藤 文則
雑感・写真のこと 黒木 憲夫
紀元二千六百年、「八紘一宇」を
問う 反骨のジャーナリスト
桐生悠々(3) 野崎 眞公

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方 TEL099-253-1775
年4000円 1950年創刊
◇152 2017.12 B5 104p

表紙絵解説 五家荘太鼓踊の天保
年間の絵図 松原 武実
種子島チクテン踊りのルーツを求
めて 松原 武実
悪石島で行われていた古代漁法
一しら網曳き 渡山 恵子
ガックイの井川のガックイについ
て、と国分八幡の馬踊りにつ
ての考察 石野 宣昭
「ホトケバアサン(仏婆様)」を母
とする「隠れ念仏」-シャーマ
ンと「内の如様(にようさん)」
一第九回 森田 清美
第21回かごしま郷土芸能報告 所崎 平
節折目(シチウンミ)の行事、節浴
(シチャミ) 牧島 知子
小正月の行事
一伊佐市大口での調査報告 牧島 知子
東北の道祖神と南日本および韓国
の境界神 下野 敏見
霧島修験 「異賊調伏御祈禱日帳」
読み解き(第六回) 森田 清美
徳之島井之川島口の位置資料覚書
(3) 本田 碩孝
資料 安永二年 次渡日帳 川邊
前床重治・編
みんぞく・かわらばん
進化した太田太鼓踊の古い仕方
の道具作り 所崎 平
イオオケ(魚桶) 牧島 知子
宗像大社と大山祇神社/別子銅
山と芹ヶ野金山 所崎 平

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
年3000円 1977年創刊
◇223 2017.11 B5 8p

11月定例会レジュメ 『宮古史伝』
90年、『宮古島庶民史』60年(2)
—その偉大さに向き合い、改めて見直す 下地 和宏

12月定例会レジュメ 「宮金氏系
図家譜」と富盛寛卓のこと 仲宗根將二
「グスクナギ(城邊)」の地名(呼称)
を考える—9月定例会のまとめ 下地 利幸

中村十作生誕一五〇周年記念ミニ
展示「宮古・八重山の歴史を変
えた男一人頭脱廃止運動の立役
者とは」の紹介 與那覇史香

10月定例会のまとめ
宮古島の争乱—与那覇原軍 久貝 弥嗣
シンポジウム 浦底遺跡の発掘調
査にみる無土器期研究の新展開 久貝 弥嗣

図書館主催「郷土史講座」閉講—
郷土史の学び舎として四四年 下地 和宏
「河充氏系図」への回想 仲宗根將二

◇224 2018.1 B5 8p
1月定例会レジュメ
上野の戦争遺跡について 久貝 弥嗣

2月定例会レジュメ 『宮古列伝』
90年、『宮古島庶民史』60年(3)
—「与那国の鬼虎征討」の年代 下地 和宏
長間村の創立と伝承 下地 和宏
—11月定例会を終えて 下地 和宏
「宮金氏系図家譜支流」と富盛寛
卓—12月定例会のあらまし 仲宗根將二

秀作展「日本の伝統と技の世界」與那覇史香
「ミヤーツ墓」及び、「旧西中共同
製糖場跡」 市文化財に指定さ
れる 久貝 春陽

シンポジウム「宮古の人類史を探
る！」の開催 久貝 弥嗣

郷土史研究会産みの親

「北分館」七〇年の歴史に幕
池間文化協会設立20年記念 「恐
怖の漂流八時間」など特集
「落書事件」研究等の上江洲均名
誉教授を悼む 仲宗根將二
沖縄県文化協会賞に輝く
下地和宏郷土史研究会会長 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆民俗選挙のゆくえ 津軽選挙 vs 甲州選挙
杉本仁著 梶社 (〒113-0033 東京都文京区
本郷2-6-12-203 TEL03-3812-1654) 発売：新
泉社 (〒113-0033 東京都文京区本郷2-5-12
TEL03-3815-1662) 2017年9月 B6 348頁
2600円
津軽の激烈な民俗選挙に翻弄され、大地主の
父祖累代の富を蕩尽しつくした太宰治の長
兄、津島文治。一方、義理と贈与と相互扶助
の甲州選挙を身をもって生きた政界のドン、
金丸信。カネと盲動、中傷と謀略が渦巻く、
津軽と甲州の選挙祭りが行きつきた対照的な
悲喜劇。そのゆくえてに、ありうべきポスト近
代選挙を模索する。選挙楽しや牛馬にゆられ
／津軽と甲州—その気質／津軽選挙の発生—
金木町長選挙不正開票事件／二人町長と代理
選挙—鯨ヶ沢選挙と大泉村長選／出稼ぎと行
商—不在者投票／神仏の力と選挙タタリ／カ
ネの力と悪銭／飲食の力と食物禁忌／無尽と
葬式／村八分と地域ぐるみ／オヤコ選挙と骨
肉の戦い／口碑と文芸／二人の政治家—津島
文治と金丸信／民俗選挙のゆくえ—柳田国男
をめぐって／甲州選挙 vs 津軽選挙 対比表

◆宮城縣登米高等學校所蔵和漢古書解説
宮城縣登米高等學校編・刊 (〒 宮城縣登米
市登米町寺池桜小路3 TEL0220-52-2670)
2017年11月 A5 34頁 非売品
図版／漢籍／和古書／「四書」「五經」につい

て／藩校養賢堂について／登米伊達氏につい
て／登米伊達氏家系図／「手控帖」につい
て／参考文献

◆茅葺民家の継承と地域創成—豪雪地域にお
ける活性化の可能性 一般社団法人日本民
俗建築学会平成29年度公開シンポジウム
日本民俗建築学会編・刊 (〒162-0843 東京
都新宿区市谷田町2-33 法政大学デザイン工
学部建築学科内) 2017年10月 A4 16頁
2017年10月21日に秋田県羽後町で開催された
日本民俗建築学会シンポジウムの記録。シン
ポジウムの趣旨(相模誓雄・神邊和夫)／基調
講演 茅葺民家の保存、継承—出羽の国の事
例から(温井亨)／報告 茅葺き、人、暮らし
(中田一彦)、茅葺民家活用の課題と自治体の
役割(阿部久夫)／パネルディスカッション
(パネリスト：温井亨・中田一彦・阿部久夫、
コーディネーター：相模誓雄)

◆はたごまち文庫1

後藤又兵衛氏／田畑實氏追悼記念号
里之宮 湯殿山神社編・刊 (〒990-0047 山
形市旅竜町3-4-5 TEL023-633-1810) 2017年5
月 B6 96頁
明治9年(1876)、山形県初代県令 三島通庸
(1885~88)により創建された里之宮 湯殿山
神社の140年記念事業の一環として刊行され
た「はたごまち文庫」第1冊。長く神社の責
任役員総代を務めた後藤又兵衛氏と、三島通
庸の大土木遺産「万世大路」の保存活用に尽
力した田畑實氏を追悼する。追悼のことば・
略歴 後藤又兵衛様(誄詞 渋谷宣寛、後藤
又兵衛様を悼む 渋谷宣寛、略歴)、田畑實
先生(田畑實会長を悼む 梅津幸保、略歴)
／論文・資料紹介 地方知識人の形成—医師
工藤満寿司が残した資料を見る(小形利彦)、
鹿兒島から山形へ—野村綱雄著「山形流鏑日
誌」を読む(小形利彦)／里之宮 湯殿山神社
歴史文庫について

◆江戸時代の下総国相馬郡守谷町

—茨城県守谷市本町 斎藤一彦家文書
近江礼子著 (〒300-1536 茨城県取手市光風
台2-4-13 TEL0297-83-4662) 2017年7月 B5
160頁
下総国相馬郡守谷町(茨城県守谷市本町)で守
谷町の名主、関宿藩の大庄屋、守谷町組合の
大総代を務めた斎藤一彦家所蔵の1万点に及
ぶ史料の中から、元禄13年(1700)から明治4
年(1871)までの文書53点を選び翻刻する。そ
して、江戸小石川本法寺末の廓然寺四世 十
方庵(1762?~1832)が記した紀行文「遊歴
雜記」の中から、文政3年(1820)に守谷を訪
れた際の守谷町の該当部分を抜粋して翻刻・
収録する。解説 江戸時代の守谷町(守谷町
の歴史と町況、支配、人々の生活、助郷と守
谷町組合、寺社と文化)、醸造業(酒造、醬
油造)、絞油、信仰(百万遍念仏縁起、疱瘡
神の誤り証文、遊行上人、伊勢参宮)、文政
三年「遊歴雜記」に見る守谷／史料 守谷町、
醸造業、絞油、信仰、文政三年「遊歴雜記」
に見る守谷

◆弘化元年(弘化二年写)

御水家中御屋敷割圖
齋藤郁子作成 水戸史学会 (〒310-0852 茨
城県水戸市笠原町979-42 但野正弘方 TEL
029-243-6910) 2017年7月
水戸藩士の屋敷割を記した茨城県立歴史館蔵
『御水家中御屋敷割圖』(弘化元年(1844))を、
『水戸の町名』『江水御規式帳』(茨城県発行)
で確認しつつ編修・作成する。
「山野辺八十六人 鈴木五十人／中山二百人
松平二十人／太田十二人／弘化乙巳年秋
七月良日寫之／御水家中御屋敷帳／弘化乙巳
士分千六百人足輕千人／孟秋吉辰寫之／吉
田造酒之介 年十七才敬書／外、新屋敷二百
軒江都永詰数百人也」

◆没後50年記念 近代黒羽の画人関谷雲崖

大田原市黒羽芭蕉の館 平成29年度企画展
図録

大田原市黒羽芭蕉の館・刊 (〒324-0234 栃
木県大田原市前田980-1 TEL0287-54-4151)

2018年1月 A4 66頁

黒羽芭蕉の館の平成29年度企画展(2018年1月
24日～3月18日)の展示図録。小泉斐(1770～
1854)、石川寒巖(1890～1936)とともに大田
原市黒羽地区を代表する画人 関谷雲崖(18
80～1968)の没後50年を記念して、大正から
昭和にかけて日本南画院などで活躍した雲崖
の初公開作品を中心に、関係資料約80点を紹
介する。関谷雲崖の生涯と雅号の表記につい
て(新井敦史)／作品・資料解説／画家雲崖翁
のうしろ姿を偲ぶ(渡邊康夫)／関谷雲崖印譜

◆『歴史だより』一〇〇号の軌跡

創立二十五周年記念事業

栃木県歴史文化研究会編・刊 (〒320-0865
栃木県宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内
TEL028-634-1313) 2017年7月 A4 410頁

1991年(平成3)12月発足以来、栃木県の歴史
と文化に関する研究の推進を目的とし、会誌
『歴史と文化』(年刊)や会報『歴史だより』(年
4回刊)を発行するなど、活発な活動を続け
ている栃木県歴史文化研究会の創立25周年記
念事業。『歴史だより』創刊号(1991年11月)
から100号(2016年7月)までを復刻・収録する。

◆下総原氏・高城氏の歴史 上

その系譜関係と支配構造 第一部原氏
手賀沼ブックレット10

千野原靖方著 たけしま出版 (〒277-0005
千葉県柏市柏762 柏グリーンハイッ C204
TEL04-7167-1381) 2017年7月 A5 139頁
1200円

両総に一大勢力を形成した下総千葉氏の最有
力の重臣・原氏について、各地の原氏一族の
系譜を追い、その権力基盤・支配構造を明ら

かにする。原氏の系譜と勢力分布(出自と系
統、後期原氏の発展、原氏庶流の形勢)／戦
国期原氏の動向と権力基盤(原氏宗家の勢力
伸張、臼井原氏と臼井領の成立、佐倉原氏と
北条氏の佐倉領支配)／付 原氏関係年表

◆地域史の再検討

村田一男先生喜寿記念論集

村田一男先生喜寿記念論集編集委員会編・刊
(〒660-0063 兵庫県尼崎市大庄北2-1-1-702
村上昭彦方 TEL06-4869-4771) 2017年7月
A5 263頁

千葉県八千代市郷土歴史研究会を立ち上げ、
初代会長として地域史研究を牽引してきた村
田一男氏の喜寿記念論集。巻頭祝言 村田一
男先生の喜寿をお祝いして(鎬木行廣)／喜寿
記念論文「壺挺切念佛」考(村田一男)／考
古資料の諸様相 新川流域の縄文時代遺跡
(2)(常松成人)、八千代市浅間内遺跡の前方
後円墳(高花宏行)、考古学からの古代郡郷把
握(石戸啓夫)、八千代市の中世遺跡(道上文)
／史・資料の再検討 千田合戦と千葉結城浜
(丸井敬司)、中世房総の霜月祭(外山信司)、
山頂の宝篋印塔と千葉・信濃に残る武石氏の
足跡(藤由美)、香取神宮の八龍神(木村修)、
佐倉藩城付領における組合議定について(長
谷川佳澄)、牧士の新規任用の一事例(菅野貞
男)、江戸時代の村絵図渉猟(野中政博)、明
治一七年の印旛沼掘割調査報告書について
(鎬木行廣)、船橋浦の漁業(高林直樹)、幻の
「利根川放水路」について(中村政弘)／民俗
・文化・地域の再考 佐山の彼岸獅子(奥
山けい子)、地域俳諧略史(村上昭彦)、地域
の寺院のあり方(京極勇剛)、研究余滴「半
檀家」(村田一男)／村田一男先生著作論文一
覧／あとがき 村田一男先生喜寿記念論集を
刊行して(村上昭彦)

◆空襲被災者運動関連資料目録3 杉山千佐
子・全国戦災傷害者連絡会関係資料目録

大岡聡・植野真澄・山辺昌彦・赤澤史朗・松
田英里編 東京大空襲・戦災資料センター
戦争災害研究室(〒136-0073 東京都江東区
北砂1-5-4 TEL03-5857-5631) 2017年12月 A
4 173頁

共同研究「戦後都市社会における空襲被害者
運動の歴史学的研究」の成果のひとつとし
て、東京大空襲・戦災資料センターが収集し
てきた空襲被災者運動関連資料の目録第3
集。空襲被災者運動の中でも最も活発な運動
を続けてきた全国戦災傷害者連絡会の故杉山
千佐子氏(1915～2016)のもとにあった資料目
録である。杉山千佐子氏資料目録凡例(山辺
昌彦)／杉山千佐子・全国戦災傷害者連絡会
関係資料について(植野真澄)／文書資料目録
(678点、解説(植野真澄)、資料目録)／新聞
記事目録(275点、解説(植野真澄)、資料目録)
／実物資料目録(12点、解説(植野真澄)、
資料目録)／写真資料目録(146点)・写真アル
バム資料目録(45点)・写真パネル資料目録
(54点)(解説(松田英里)、資料目録)／映像
・音声資料目録(88点、解題、資料目録)
／全国戦災傷害者連絡会製作の映画『傷痕』
について(解説・凡例(植野真澄)、フィルム
映像内容目次、映画『傷痕』書き起こし)

◆新版武蔵府中くらやみ祭—国府祭から都市
祭礼へ 府中市郷土の森博物館ブックレッ
ト20

府中市郷土の森博物館編・刊(〒183-0026
東京都府中市南町6-32 TEL042-368-7921)

2017年10月 A5 64頁

府中市郷土の森博物館ブックレット5『武蔵
府中くらやみ祭』(2004年3月)の改訂新版。
毎年4月30日から5月6日まで行われる大國魂
神社の例大祭「くらやみ祭」の歴史と現在の
実像をわかりやすく紹介する。くらやみ祭の
今(くらやみ祭の次第)／くらやみ祭の歴史
(総社の祭礼—中世の面影、近世の都市祭礼

—宿場町の賑わい、新たな都市祭礼—近代化
の克服)／くらやみ祭を支える人々／結び／
くらやみ祭 歴史年表／文献案内

◆西洋を魅了した「和モダン」の世界

明治・大正・昭和に生まれた輸出工芸品
金子皓彦コレクション

金子皓彦著 三樹書房(〒101-0511 東京都
千代田区神田神保町1-30 TEL03-3295-5398)

2017年11月 A5 220頁 3000円

寄木細工、芝山細工、漆器などさまざまな近
代の輸出美術工芸品の魅力と歴史を写真とと
もに解説。金子皓彦先生と骨董市での愉快的な
時間(坂崎幸之助)／工芸品に魅せられて(金
子皓彦)／寄木細工と木象嵌 対談：鈴木康
弘／明治の輸出陶磁器 対談：花井久穂／輸
出漆器としての駿河と会津の漆工芸 対談：
小林公治／麦わら細工と貝細工 対談：藤塚
悦司／横浜芝山漆器(芝山細工) 対談：宮崎
輝性／横浜観光土産 対談：石崎康子／骨董
市主催者に学ぶ骨董の面白さとコレクション
の育て方(竹田忠芳)／特別対談 コレクター
の楽しさと使命 丘みつこ・末吉敏道・金子
皓彦／学況・金子皓彦著『西洋を魅了した
「和モダン」世界』の出版を祝って(茂木雅博)

◆特別展 大崎・五反田

—徳川幕府直轄領の村々

品川区立品川歴史館編・刊(〒140-0014 東
京都品川区大井6-11-1 TEL03-3777-4060)

2017年10月 A4 181頁

品川区立品川歴史館の平成29年度特別展(10
月8日～12月3日)の展示解説図録。江戸時代
には幕府直轄領の農村であり、多くの寺社と
門前町、武家屋敷も建てられた大崎・五反田
地域を取り上げ、関東大震災や戦災の影響を
免れた多数の個人・寺社資料や発掘調査の成
果から、徳川幕府直轄領の村々の様相を紹介
する。現在の大崎・五反田地域(大崎・五反
田地域の発展)／徳川幕府直轄領の村々(目

黒川と仲原街道、品川宿と馬込領の村々、將軍の鷹場と東海道品川宿の助郷村、村人たちの暮らし)／寺社と門前町の展開(品川台町とその周辺—了真寺・本立寺・寿昌寺、鎮守雉子宮と別当宝塔寺、桐ヶ谷村・居木橋村・上大崎村の寺社、上大崎の増上寺下屋敷)／大崎の大名屋敷(岡山藩池田家下屋敷と三日月藩森家上屋敷、松平不昧の樂園—松江藩大崎屋敷、樂園から御台場附属陣屋への転換—鳥取藩大崎屋敷、大崎屋敷の終焉—御殿山外国公使館建設計画、発掘された大崎屋敷—御殿山遺跡の成果から)／コラム／付録

◆図書館情調 紙礫9

日比嘉高編 皓星社(〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10 TEL03-6272-9330) 2017年6月 B6 273頁 2000円

さまざまなテーマにそって文学作品などを集めたアンソロジー「紙礫」シリーズ第9弾。図書館という「物語の空間」に魅入られた作家詩人たちによる「図書館文学」14篇を収める。「図書館情調」萩原朔太郎／「出世」菊池寛／「図書館」宮本百合子／「文字禍」中島敦／「世界地図を借る男」竹内正一／「柴笛詩集」(抄) 渋谷駿／「少年達」新田潤／「司書の死」中野重治／「図書館の秋」小林宏／「深夜の道士」富永太郎／「S倉極楽図書館」笹野頼子／「図書館幻想」宮沢賢治／「図書館あるいは紙魚の吐く夢」高橋睦郎／「図書館」三崎亜記／解説(日々嘉高)／参考文献

◆第36回全国地名研究者武蔵野大会資料集

日本地名研究所編(〒213-0001 川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館 TEL044-812-1106) 日本地名研究所・川崎市刊 2017年5月 B5 86頁

2017年5月27日・28日に開催された全国地名研究者武蔵野大会の講演・討論要旨を収録する。開催の挨拶—武蔵野市の地名文化(関和彦)／基調講演 古代の武蔵野(関和彦)／研

究報告Ⅰ 武蔵野の地形と地名(菊地恒雄)／記念講演 地名と民俗学(新谷尚紀)／研究報告Ⅱ 伝説と地名—ダイダラボッチ伝説を中心に(長沢利明)／研究報告Ⅲ 東京の富士見地名(田代博)／研究報告Ⅳ 武蔵野の新田開発と風土—川崎平右衛門の新田経営(馬場治子)／編集後記にかえて(小田富英)

◆はるかなる白鳳のほほえみ

深大寺釈迦如来像と寺のたから
深大寺・調布市郷土博物館編(〒182-0026 東京都調布市小島町3-26-2 TEL042-481-7656) 2017年11月 A4 6頁

寺のたから—寺室からみる深大寺のあらまし(創建期、古代・中世、近世、コラム 国のたから—国宝ってなに?、コラム 『私案抄』にみる深大寺創建—歴史をひもとくヒント)／白鳳のほほえみ—深大寺釈迦如来像(まどけの姿、ほとけを形づくるもの、「白鳳」という時代、コラム 釈迦如来像厨子—奈良の漆工芸家・吉田春春が制作)／仏教関連の考古資料—市域出土の遺構と遺物からわかること(「高大寺」と書かれた墨書土器、古墳の造営から私寺の建立へ、仏教信仰の浸透、集落遺跡から出土した高級仏花器)

◆富士に祈る

城崎陽子著 大本山高尾山薬王院(〒193-8686 東京都八王子市高尾町2177 TEL042-661-1115) 2017年8月 A5 302頁
高尾山薬王院発行の機関誌『高尾山報』平成22年6月号から平成28年12月号まで、78回にわたり連載された「富士に祈る」を加筆・編集する。刊行に寄せて(大山隆玄)／富士を仰いで「修験実証」(岡野聖法)／御挨拶(宍野史生)／「富士に祈る」よせて(宮家準)／はじめに／富士信仰の成立(角行藤一『御大行の巻』から、角行からの法脈、食行身禄、富士信仰と智積院能化)／富士信仰の歴史(星行—法脈の実態、小谷三志、高田藤四郎)／

富士信仰の展開—教派神道(伊藤六郎兵衛—丸山教、宍野半—扶桑教、柴田花守—実行教)／富士信仰の行事(胎内祭・初午祭、開山祭、七富士参り・登拝行、鎮火祭)／富士信仰と新宗教—解脱会(岡野聖憲—立教への歩み、立教)／富士信仰略年譜

◆企画展 馬をめぐる武将たち

馬事文化財団編・刊(〒231-0853 横浜市中区根岸台1-3 TEL045-662-7581) 2017年11月 B5 64頁

馬の博物館企画展(2017年11月3日～12月3日)の図録。馬の博物館が収集した羽柴秀吉・黒田円清(官兵衛)・伊達政宗などが記した馬に関する書状を中心に、それらの人物を描いた肖像、所有していた映画・甲冑等を紹介する。戦国時代の書状を眺める(丸島和洋)／室町期の武将と神社／小田原北条氏と街道／今川氏と宿場の風景／馬の贈答と合戦／天下人が馬を見る／馬好きの伊達政宗／徳川家康の大切な馬／資料解説(長塚孝)／史料翻刻

◆妙好人 千代尼

西山郷史著 臥龍文庫(〒927-1214 石川県珠洲市飯田町14-71 西勝寺内 TEL090-2124-2430) 発売：法蔵館 2018年1月 B6 248頁 1200円

徳富蘇峰に、西行に匹敵する俳人と評された加賀の千代尼の、信心に生きた念仏行者ならではの深くやさしい「あるがまま」の世界を紹介する。妙好人(妙好人、千代尼句集)／蜻蛉釣り(今日はどこまで 行ったやら、童謡「赤とんぼ」、子に育てられ—障子の寒さかな、求道の歌—和泉式部)／聞法の日々(千代尼の生涯、「朝顔に……」「朝顔や……」、三十五歳の旅立ち、聞法の間、親鸞の伝承歌、弥陀ぞ恋しき—蓮如)／尼素園・千代尼(尼素園・千代尼の誕生、親鸞聖人五百回忌、別院の御遠忌参拝、吉崎詣)／「安心」に生きる(こころ、平等、安心、決定心、報謝、

領解、改悔、伝説の千代尼)／月も見て…(「紙衣」暮らし、蝶—ゆめのなごり、辞世 月も見て……、千代尼の句—春・夏・秋・冬)

◆いとしる白山御師資料集

白山山麓石徹白郷シリーズ13
上村俊邦著(〒501-5122 岐阜県郡上市白鳥町為真623-1) 2017年5月 B5 239頁
白山信仰関連の山々への自身の登頂体験をもとに郷土の山と歴史についてまとめた「白山山麓・石徹白郷シリーズ」の第13冊。日本全国に2716社祀られている白山神社の御師の果たした役割について、前白山中居神社宮司石徹白秀太郎家に所蔵される巡回帳「石徹白愛之助の檀那場巡回帳」を中心に、石徹白清住家の「定札配札帳、上杉茂夫家の「作州檀那帳」と、白鳥町史に収録されている古記録などを収録し、あわせて著者による御師関係地の現地探訪記録10篇をもとめる。

◆大野池田郡地誌(復刻版)

岐阜県大野池田郡教育会編纂 岐阜県郷土資料研究協議会(〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111) 2018年1月 A5 74頁

明治26年(1893)8月に刊行された『大野池田郡地誌』の復刻版。美濃の北西に位置し、越前・近江と接する大野郡・池田郡についての要項をまとめた小地誌。緒言／大野池田郡地誌正誤／大野池田両郡地図／大野池田郡地誌／大野平坦地方(揖斐町外三十五ヶ村)／大野藪川以東(政田村外十六ヶ村)／坂内地方(徳積村外七ヶ村)／根尾谷地方(西根尾村)／池田平坦地方(池野村外三十五ヶ村)／北山地方(徳山村外十五ヶ村)／西山地方(春日村)

◆農家副業と農民教育

—明治・大正期を中心に
松田壤司著 鹿児島学術文化出版(〒090-0052 鹿児島市上之園町17-2 TEL099-255-6099) 2017年7月 A5 261頁 1204円

静岡英和女学院で教鞭をとるかたわら近代農業についての研究をつづけ、惜しくも2016年7月に他界した著者の遺稿集。発刊によせて(藤原隆男)／本書のポイント(神田嘉延)／農家副業事業の政治経済史一日露戦争と人びとの暮らし(はじめに、世界史における日露戦争、日本の対外進出と日露戦争、「日露戦後経営」の展開と人びとの暮らし)／農家副業と農会の役割(日本資本主義確立期と展開の農家副業、農家副業とは何か、系統農会の養蚕奨励、系統農会の養鶏奨励、大正元年『農家副業二関スル調査』について、薬工品の農家副業的性格と流通、大正期秋田県における薬工品生産と流通)／農会と農民教育(農会の技術指導と農民教育、農会事業の発展と農民教育)／松田壤司に寄せて(松田愛子)／謝辞(松田愛子)／主な著書

◆平和のための富士戦争展の記録

「平和のための富士戦争展」の会編・刊(〒416-0909 静岡県富士市松岡344-7) 2017年12月 B5 60頁

1988年の第1回開催から30回目を迎えた「平和のための富士戦争展」(2017年8月11日～16日、ロゼシアター展示室)の記録集。「近代日本の戦争」から「戦争のつめあと」、「富士地域の戦争遺跡」などにスポットあてて、戦時の人々の暮らしも紹介する。平和のための富士戦争展30回記念展を終えて(「平和のための富士戦争展」の会)／二〇一七 富士戦争展から(写真・記事)／二〇一七 富士戦争展・展示品一覧／二〇一七 富士戦争展の展示内容から 戦争のつめあと—戦争が残したもの、憲法コーナー、地域の戦争記録／アンケートにみる参観者の声／二〇一七 富士戦争展・実行委員の感想／二〇一七年 活動の記録／「2017 平和のための富士戦争展」の会／富士市「核兵器廃絶平和都市宣言」

◆辛巳上京の記

一文政四年清水徳川家東海道上京旅日記 荒熊元茂編著(〒431-0211 浜松市西区舞阪町舞阪1883) 2018年1月 A5 138頁
文政4年(1821)清水徳川家四代当主斉明の正室となる伏見宮貞敬親王の第四王女英子女王の興入れ準備のため、東海道を上京した清水徳川家一行に加わった者の旅日記を翻刻。著者は不明であるが、7月21日の江戸城出立から8月12日の京到着まで、鎌倉参詣と伊勢参宮を含む22日間の道中の体験や見聞が記された道中記である。

◆知られざる郷土史 津とその周辺

浅生悦生編(〒514-2305 三重県津市安濃町清水1008 TEL059-268-2671) 2017年6月 A5 357頁

長年にわたり津市をはじめとする三重県の文化財行政に携わり、三重郷土会の常任委員もつとめる著者の、公民館における郷土史講座などの講義内容19編をもとに再編集したわかりやすい津郷土史。安濃津の変遷／古代の川と遺跡／銅鐸のなぞ—津出土の銅鐸が語るもの／「窪田」って、すごい！遺跡・遺物にみる古代の久苦多／朕、暫ク関東ニ往カントス—聖武天皇と川口関／文化財にみる祈り・仏教—津とその周辺／伊勢平氏と大河ドラマ「平清盛」／信仰の山、長谷山・経ヶ峯—とりまく古代・中世の遺跡／知略に満ちた城造り—中世の津の城跡／津のキリシタン殉教／水は命—安濃川の水争い／伊勢参宮—街道と旅／草奉行「平松楽斎」／公卿勅使御輿立雑記／津の藤枝—一身田橋心中と身売り奉公／津藩の海防／津の文明開化／津を襲った巨大地震と津波—その歴史と教訓／雲出川流域の伝説とその背景

◆私の地方史人生 滋賀県八日市に住んでいて、東京・大阪・京都のバイトが出来た一例をまとめた自分史

渡邊守順著 近江文芸会(〒527-0018 滋賀

県東近江市八日市清水1-3-11 薬師寺内) 2017年12月 A5 130頁 非売品
『滋賀の伝説と民話』(2014年3月)、『近江文芸風土記』(2015年12月)につづき、著者の地方史研究をテーマとして、これまでに発表された22篇を収録。総説(地方史研究の現状 滋賀県、私の地方史の歩み)／比叡山(もつとよく知ろう 世界文化遺産 比叡山、天台宗高僧列伝、日本の宝との出会い 比叡山の根本中堂、最澄の法灯を守りつゝ、京と関わった叡山の千二百年)／滋賀県(しが「歴史」、近江の歴史 近江の人物、琵琶湖つれづれ、歌手生活二五周年記念 三橋美智也 記念アルバムに寄せて「琵琶湖の国」、柴田勝家野洲川の勝関、近江上布と野洲晒、近江の女性、すないのさと)／東近江市(湖友録、社会科と街道風俗調査、近江偉人物語 塚本さと)／マスコミに紹介(『新入国記』滋賀県「渡辺守順の記事」、京滋各界われら六〇歳の発言「好きな研究を」、観音経のこころ、夏休み返上 先生は勉強、ミニ書架 渡辺守順『僧兵盛衰記』／編集後記にかえて

◆写真展 よみがえる明治の日本

宇治市歴史資料館編・刊(〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260) 2017年9月 A4 72頁

宇治市歴史資料館の特別展(2017年9月30日～11月19日)の図録。「明治150年」を迎えるにあたり、宇治や京都をはじめ、広く全国の風景・風俗を、写真館で撮影されたポートレート(肖像写真)、写真帖、絵はがき、ステレオグラム(立体視用写真)などにより紹介。明治の日本人／ふるさとの原風景 宇治・南山城／名所と街の近代 京都／日本一周『日本写真帖』より／資料紹介(京都の山水、京都名勝写真帖、京都府写真帖、橋梁写真帖、京都市三大事業)／撮影鑑と京都府名勝撮影帖

◆千利休とその周辺

町制50周年記念 第24回企画展 大山崎町歴史資料館編・刊(〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3 大山崎ふるさとセンター内 TEL075-952-6288) 2017年10月 A4 40頁

大山崎町歴史資料館の町制50周年記念第25回企画展(10月21日～11月26日)の図録。戦国時代、国宝の茶室 待庵を建てるなど大山崎とも密接な関わりをもっていた千利休を取り上げ、利休とその周辺の人々を通じて当時の堺と大山崎との関係、茶湯文化の広がりを考える。ごあいさつ(福島克彦)／千利休とその周辺／解説(茶湯と千利休、堺における茶湯の隆盛、利休の登場、大山崎における茶湯と利休、秀吉と利休、利休の死後)／資料解説

◆平成28年度 京都府域の文化資源に関する共同研究会報告書(丹波編)

京都府立京都学・歴史館京都学推進課編 京都府立京都学・歴史館(〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-29 TEL075-723-4835)

2017年9月 A4 327頁

『平成27年度京都府域の文化資源に関する共同研究会報告書(洛北編)』(2016年11月)に続く文化資源発掘プロジェクト第2弾として進められた「丹波の文化資源」研究プロジェクトの報告書。序文／歩く道をプラットフォームとした地域資源の可視化(原雄一)／埴輪からみた丹波の方墳(高橋克壽)／美山の仏像—平安時代を中心に(井上一稔)／明智光秀の丹波支配(山本浩樹)／亀岡市域の街道筋における民家と景観(大場修)／京都丹波蚕糸業の近現代史探訪(矢口芳生)／福知山市における鉄道資源(国鉄・JR)の影響について(久保雅義)／西田直二郎と京都府史蹟勝地調査会調査—福知山市紫宸殿田楽の映像撮影調査を中心に(齊藤利彦)／保津川下りをめぐる船頭の展開—操船技術の継承(河原典史)／丹波の森林資源の多面的な役割についての考察—生態系サ

ービスの観点から(伊勢武史)

◆楠木正成関係史料(上) 大阪市史史料85
大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会(〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333) 2017年8月 A5 128+2頁 1800円

楠木正成・正行・正儀に関する史料(本人の発給文書、古記録、軍記物等)を、既刊の刊行物や、一部所蔵機関の有する史料から採録し、それぞれに網文を付け、編年順に配列して収録。上巻には正成・正行に関わる史料を掲載する。楠木正成(楠木氏の黎明、正成の挙兵、楠木合戦、建武政権下の正成、正成の最期)／楠木正行(正行と南朝・河内、正行の戦い)／解説(生駒孝臣)／史料一覧

◆川西の歴史今昔

猪名川から見た人とくらし
小田康徳著 神戸新聞総合出版センター(〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7 TEL078-362-7140) 2018年1月 B6 216頁 2000円
川西市をはじめとする周辺地域の古代から現代までの歴史を、その中心となる猪名川に焦点を当てて見つめ直す「地域歴史講座」(2016年6月3日・10日)をもとに、近現代編を追加してまとめた川からの地域史。はじめに一問題にしようと考えているもの／古代の猪名川／中世社会の展開と猪名川(源満仲と多田盆地、多田庄支配の変化と多田院の荘厳化、村々の形成)／近世の村と猪名川(共同体としての山間部村々の成長、平地部の村々と農業水利施設の整備、氾濫防止対策の進展、猪名川の多様な価値の発見)／近現代の変化と猪名川(維新政府の出現と猪名川への新しいアプローチ、村から町へー川西村の変貌、戦後の都市化と猪名川)

◆ちりめん細工の今昔

たばこと塩の博物館(〒130-0003 東京都墨田区横川1-16-3 TEL03-3622-8801)・日本玩具

博物館(〒679-2143 兵庫県姫路市香寺町中仁野671-3 TEL079-232-4388) 2018年1月 A4 16頁

たばこと塩の博物館と日本玩具博物館との共催による「ちりめん細工の今昔」展(2018年1月23日～4月8日)の図録。江戸時代から明治・大正にかけての古作品を一同に集め、ちりめん細工の歴史と文化を紹介するとともに、日本玩具博物館の復興活動を通してよみがえった平成のちりめん細工を季節や種類に分けて展示する。江戸と明治・大正時代のちりめん細工(縮緬と「ちりめん細工」、江戸文化の薫りを伝えるちりめん細工、用と美のちりめん細工 技法のさまざま、女学生たちのちりめん細工、子育てのお細工物、子どもの祝い着)／平成のちりめん細工～再現と広がり(ちりめん細工の復興、ちりめん細工の文献、ちりめん細工の製作過程、ちりめん細工で綴る日本の四季、ちりめん細工の傘飾り、ちりめん細工のつるし飾り)

◆念仏行者徳本一行脚の足跡と女人救済

西宮市立郷土資料館第33回特別展示
西宮市立郷土資料館編・刊(〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298)

2017年7月 B5 13頁

西宮市立郷土資料館第33回特別展示(平成28年7月15日～8月27日)「念仏行者徳本一行脚の足跡と女人救済」の展示案内図録。法然の説く専修念仏を実践し江戸時代後期に庶民の絶大な支持を集めた浄土宗僧 念仏行者徳本(宝暦8年カ～文政元(1818))の没後200年にあたり、さまざまな資料から阪神地域における徳本の足跡をたどる。念仏行者徳本の誕生／徳本の念仏／徳本の救済／篤信者吉田父子／さまざまな名号／一行院の廟所

◆正倉院鏡と東アジア世界

川勝守著 汲古書院(〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-5-4 TEL03-3265-9764) 2017年

7月 A4 741頁 18000円

正倉院鏡の研究(正倉院鏡のデータベース作成と正倉院鏡の問題提起、『国家珍宝帳』鏡記事と正倉院鏡の径長・重量数値、第17号雲鳥飛仙背円鏡・第18号山水花虫背円鏡の正倉院鏡の位置、正倉院宝物平螺鈿鏡について、正倉院宝物の宝飾多彩鏡について、正倉院の海獣葡萄鏡について、正倉院の海獣鏡について、正倉院鳥獸花文背鏡四種、正倉院儒教道鏡中国思想文背鏡、正倉院漫背鏡について、正倉院鏡の蛍光エックス線分析による材質調査、第一部の結び)／正倉院鏡の源流を求めて中国出土鏡所蔵機関を訪問する／正倉院鏡・隋唐鏡のその後ー「唐宋変革と鏡」及び中華帝国の東アジア世界への拡散

◆歴史のなかの根来寺

教学継承と聖俗連環の場
山岸常人編 勉誠出版(〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10-2 TEL03-5215-9021) 2017年10月 A5 238頁 3800円
真言宗中興の祖・覚鑿の遺志を継ぎ、稀代の学僧である頼揄により根来の地に栄えた新義真言宗総本山、根来寺の中世における展開の

◆後記

寺田寅彦、中谷宇吉郎書誌研究者の大森一彦さんから、『科学』Vol.188 No.5(2001.8.5)の巻頭エッセイ「地震研究と歴史学ー異分野連携のもつ可能性」のご教示をいただいた。執筆者は東京大学史料編纂所の榎原雅治氏である。本誌p.23の『多摩のあゆみ』第168号「特集 江戸時代の日記を紐解く」で、日記の有用性を紹介したが、榎原氏は、江戸時代の藩役人、寺社役職者、庄屋、商家主人などの日記に記された地震記事に着目し、地震と日本史研究者の協力のもとで、1854年12月の安政東海・南海地震から翌年11月の安政江戸地震までの有振地震日別データベースの構築に着手した。江戸時代と現代では、時刻表記に不定時法と定時法という厄介な問題があり、同定のための検証も進められている。同氏は、これまで歴史地震研究と一般の歴史研究がクロスすることはあまりなかったが、地震学も歴史学も時間と空間を対象とした学問であり、協業できる土壌は存在し、歴史研究者として地震解明につながる貢献をしたいと述べる。かねて、地震や津波などの自然災害研究と歴史学・考古学の連動が必要と考えていた。学際的研究の大きな可能性を予感させられる。地震学の方からも歴史学、地方史研究へ声を掛けてくれることを期待するものである。(飯澤)

地方史情報 136 2018年(平成30年)7月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757